RICOH

準備 (1)

機能共通操作 2

撮影 ③

画像の再生と消去4

画像の編集と印刷 5

設定 6

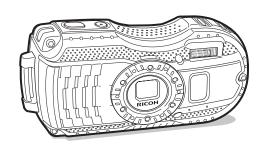
パソコンと接続する 7

付録 (8)

デジタルカメラ

RICOH WG-4 GPS RICOH WG-4

使用説明書









カメラの正しい操作のため、ご使用前に 必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、RICOH WG-4 GPS / RICOH WG-4をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を十分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

本書は「RICOH WG-4 GPS」と「RICOH WG-4」共通の説明書になっております。 本文中のイラストは、「RICOH WG-4 GPS」のものを使用しています。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

商標について

SDXCロゴは、SD-3C,LLCの商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。ArcSoft®の名称及びそのロゴは、ArcSoft Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々における、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

「Eye-Fi」、「Eye-Fi connected」およびEye-Fi口ゴはEye-Fi,Inc.の登録商標です。

Intel、Intel Core、Pentiumは、Intel Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

AMD、AMD Athlon、およびATI、ATI Radeonは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。

NVIDIA、GeForceは、米国およびその他の国におけるNVIDIA Corporationの商標または登録商標です。

本製品は、PRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンタでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンタでは、一部機能が反映されません。「PRINT Image Matching」「PRINT Image Matching III」に関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

本製品は、お客様が個人使用または報酬を受けないその他の利用で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC規格に従い動画をエンコードすること(以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます)
- (ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

http://www.mpegla.comをご参照ください。

その他、記載されている全ての商標は、その所有者に帰属します。

本機を使用するにあたって

- テレビ塔など強い電波や磁気を発生する施設の周囲や、強い静電気が発生する場所では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが誤作動を起こす場合があります。
- 画像モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび画像モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

本書ではSDメモリーカードならびにSDHCメモリーカード、SDXCカードのことを SDメモリーカードと表現しています。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。



警告

このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な 傷害を受ける可能性があることを示すマークです。



注意

このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

本体について



- カメラの分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、 感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれ ないでください。感雷の危険があります。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛 けないようにご注意ください。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐ に使用を中止し、バッテリーまたはACアダプターを取り外したうえ、サービ ス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

/!\ 注意

- フラッシュの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけど の恐れがあります。
- フラッシュの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。 変色などの恐れがあります。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時 間持ち続けると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶 が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることが あります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてく ださい。

充電用電源アダプターとACアダプターについて



- 充電用電源アダプターとACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧で ご使用ください。専用品以外をご使用になったり、指定以外の電源・電圧で ご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐ に使用を中止し、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談くだ さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、当社お客様相談センター、またはお客 様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグをはずし、使用を中止してください。 機器の破損、火災・感雷の原因となります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よくふいてください。火災の原 因となります。

/ 注意

- USBコードやACコードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理に曲げ たりしてコードを傷めないでください。もしUSBコードやACコードが傷んだ ら、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンヤントに差し込んだまま、電源アダプターやACコードの接続部を ショートさせたり、さわったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- 充電用電源アダプターで充電式リチウムイオンバッテリー D-LI92 以外のバッ テリーは充電しないでください。他のバッテリーを充電しようとすると、発 熱や爆発、充電器の故障の原因となります。

バッテリーについて



- バッテリーは乳幼児の手の届かない所に保管してください。特に、口に含む と感雷の恐れがありますのでご注意ください。
- バッテリーの液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらず にすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

/ 注意

- このカメラでは、決められたバッテリー以外は使用しないでください。バッ テリーの爆発、発火の原因となることがあります。
- バッテリーは分解しないでください。無理に分解をすると、爆発や液漏れの 原因となります。
- 万一、カメラ内のバッテリーが発熱・発煙を起こしたときは、速やかにバッ テリーを取り出してください。その際は、やけどに十分注意してください。
- バッテリーの「+」と「-」の接点に、針金やヘアピンなどの金属類が触れ ないようにご注意ください。
- バッテリーをショートさせたり、火の中へ入れないでください。爆発や発火 の原因となります。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこす恐れが ありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 発熱、発火、破裂の恐れがありますので、バッテリー使用の際は、下記注意 事項を必ずお守りください。
 - 1. 専用の充電用アダプター以外では絶対に充電しないこと。

- 2. 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないこと。
- 3. 変形や、ショートさせたり分解・改造をしないこと。

カメラや付属品は乳幼児の手の届かない場所に



- カメラや付属品を、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
 - 1.製品の落下や不意の動作により、傷害を受ける恐れがあります。
 - 2.ストラップを首に巻き付け、窒息する恐れがあります。
 - 3.バッテリーやSDメモリーカードなどの小さな付属品を飲み込む恐れがあり ます。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

取り扱い上の注意

お使いになる前に

- 毎外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行先で の問い合わせの際に役立ちますので、製品に同梱しておりますワールドワイ ド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影(結婚式、旅行など)の前には、必 ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、 カメラや記録媒体(SDメモリーカード)などの不具合により、撮影や再生、 パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証 はご容赦ください。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。

バッテリー・充電用アダプターについて

- バッテリーをフル充電して保管すると、性能低下の原因になることがありま す。特に高温下での保管は避けてください。
- ・ バッテリーを長期間カメラに入れたままにしておくと、微少の電流が流れて 過放電になり、電池寿命を縮める原因となります。
- 充電は使用する当日か前日にすることをお勧めします。
- 本製品に付属しているACプラグ D-PL135Jは、充電用電源アダプター D-PA135J専用です。他の機器に接続してお使いにならないでください。

持ち運びとご使用の際のご注意

高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを 重内に放置しないでください。

- ・ 破損や故障、また防水性能が損なわれる原因となりますので、強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動からは、クッションに包むなどして保護してください。万が一、強い振動・ショック・圧力などが加わってしまったら、当社のサービス窓口に点検にお出しください。
- カメラの使用温度範囲は-10~40℃です。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- 破損や故障の原因になりますので、画像モニターの表面を強く押さないでください。
- カメラを腰のポケットに入れた状態で椅子などに座ると、カメラが変形したり画像モニターが破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 三脚使用時は、ネジの締め過ぎに十分ご注意ください。

お手入れについて

- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- レンズのほこりは、きれいなレンズブラシで取り去ってください。スプレー 式のブロアーは、レンズを破損させるおそれがありますので、使用しないで ください。

保管について

- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。
- 高性能を保つため、1~2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。

その他

・SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチを LOCK側に切り替えると、新たにデータを 記録できなくなり、カメラやパソコンで 削除やフォーマットができなくなります。



画像モニターには覺と表示されます。

- カメラを使用した直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合があります。
- SDメモリーカードへのアクセス中は、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データやカードの破損の原因となります。
- SD メモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、 水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- SDメモリーカードのフォーマット中は絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で失われる場合がありますのでご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
 - (1) 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
 - (2) SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
 - (3) 長期間SDメモリーカードを使用しなかったとき
 - (4) SDメモリーカードのアクセス中にカードを取り出したり、電池を抜いたとき
- 長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- SDメモリーカードをご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
- 一部の書き込み速度の遅いSDメモリーカードでは、カードに空き容量があっても動画撮影時に途中で撮影が終了したり、撮影/再生時に動作が遅くなる場合があります。
- 未使用品や他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。
- フォーマットしたカードでも、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。廃棄にはSDメモリーカード本体を物理的に破壊し、譲渡の際は市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってSDメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- SDメモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

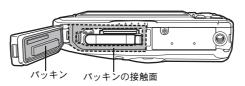
防水・防塵・耐衝撃性能についての注意

- このカメラはJIS防水保護等級8級、JIS防塵保護等級6級 (IP68) 準拠の防水・ 防塵性能を備えています。
- このカメラの耐衝撃性能は、MIL-Standard 810F Method 516.5-Shockの測定 方法に準じた、当社独自の基準(高さ:2.0m、落下面:厚さ5cm合板)での落 下テストをクリアしています。
- 本製品の防水性能・耐衝撃性能については当社試験方法によるものであり、無破損・無故障を保証するものではありません。
- 本製品をぶつけたり落下させたりなどの衝撃を与えた場合、防水性能は保証しません。

水中でお使いになる前の注意

水辺(海上・湖上・海辺・湖畔等)から離れた場所で確認してくだ さい

バッテリーカバーのパッキンにひび割れ、キズなどがないことを確認してく ださい。



- バッテリーカバーを閉じる前に、パッキンとその接触面に異物(ゴミ、ほこり、砂、髪の毛や糸くず、液体など)が付着していないことを確認してください。異物が付着している場合は繊維くずの出ない清潔な布で拭き取ってください。
- バッテリーカバーはしっかり閉じてください。カバーが確実に閉まっていないと、カメラ内部に水が入り、故障の原因となります。

水辺に来たら注意してください

• 水辺 (海上・湖上・海辺・湖畔等) でのバッテリーカバーの開け閉めや、濡れた手での開け閉めは避けてください。バッテリーやSDメモリーカードを交換する際は、完全に乾いてから、濡れたり汚れたりしやすい場所を避け、濡れた手をよく拭いてから交換してください。

- このカメラは水中では沈みますので、必ずストラップを取り付け、使用する際は腕に巻いて落ちないように注意してください。
- このカメラは、防水性能を高めるために、レンズ正面に保護ガラスを配置しています。保護ガラスが汚れていたり、水滴が付いていると、撮影した画像に影響を与えますので、保護ガラスは常にきれいな状態を保つようにしてください。

水中でご使用中の注意

- 水深14m以内の場所で使用してください。また、連続して水中で120分を超えて使用しないでください。
- 水中ではバッテリーカバーの開け閉めをしないでください。
- 温泉・温水では使用できません。
- 水中に勢いよく飛び込むなど、カメラに衝撃を与えないでください。カバー が開いたり、防水性能を保てない場合があります。
- 浜辺などでカメラを砂の上に置いたままにすると、カメラの使用温度を超えたり、スピーカーやマイクに砂が詰まることがあります。
- カメラに強い振動・ショック・圧力などが加わると、防水性能が損なわれる 原因となります。もし強い振動・ショック・圧力が加わってしまった場合は、 当社のサービス窓口に点検にお出しください。
- 日焼け止めやサンオイルが付着すると、カメラの表面が変色することがあります。万が一付着させてしまった場合は、速やかにぬるま湯で洗い流してください。
- 急激な温度変化を与えると、カメラ内外に結露し水滴が生じます。カメラを バックやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。

水中でお使いになった後の注意

- カメラが水にぬれた状態でバッテリーカバーを開けないでください。カメラがぬれているときは、繊維くずの出ない清潔な布で拭き取ってください。
- バッテリーカバーを開くとき、カバーの内側表面に水滴がつくことがあります。水滴がついているときは、必ず拭き取ってください。
- カメラに砂などがついた状態で布で拭くと、表面が傷付く恐れがあります。 バッテリーカバーが確実に閉まっていることを確認してから、水道水を少し 流しながら水洗いしてください。水洗い後には乾いたやわらかい布で水分を 十分に拭き取ってください。
- 防水パッキンやパッキンの接触面にゴミや砂が付いたときは、よく拭き取ってからご使用ください。パッキンやパッキンの接触面に傷が付いていたり、へこんだり、パッキンがはがれると防水性能が損なわれます。このような場合は、当社のサービス窓口にご相談ください。
- 汚れのひどいときや海水がかかったときは、電源が切れていること、バッテリーカバーが確実に閉まっていることを確認してから、水道水を少し流しながら水洗いするか、底の浅い洗面器などに真水をため、短時間(2~3分)でカメラをつけ置き洗いしてください。



- 石けん水・中性洗剤・アルコールなどでの洗浄は防水効果を損ないますので 避けてください。
- カメラの防水性能を維持するために、1年に1度は防水パッキンの交換をお勧めします。パッキンの交換については、当社のサービス窓口にご相談ください。(有料)
- 本製品の付属品には防水性能はありません。

目次

	ご注意ください	1
	取り扱い上の注意	
	防水・防塵・耐衝撃性能についての注意	
	水中でお使いになる前の注意	
	水中でご使用中の注意 水中でお使いになった後の注意	
	百八 本書の構成	
準備	平百01件以	18
华加		10
	主な同梱品の確認	18
	操作部の名称	
	画像モニターの表示	
	☆モードの表示	
	■ モードの表示	
	ガイド表示	27
	ヒストグラム	
	電子水準器	29
	サブディスプレイの表示(RICOH WG-4 GPSのみ)	30
	カラビナストラップを取り付ける	31
	電源を準備する	32
	バッテリーをセットする	
	バッテリーを充電する	34
	ACアダプターを使用する	36
	SDメモリーカードをセットする	38
	電源をON/OFFする	40
	再生起動モード	41
	初期設定をする	42
	言語を設定する	42
	口吐を記中する	

	ボタンの機能を使用する	47
	ロ モード時	47
	▶ モード時	
	♪ モードと▶モードの切り替え	51
	カメラの機能を設定する	
	メニューの操作のしかた	
	メニュー一覧メニュー一覧	
	/ ー 」 ^一 見	34
撮影		59
	静止画を撮影する	
	標準的な撮影のしかた	59
	ズームを使って撮影する	62
	撮影モードを設定する	65
	顔検出機能を利用する	68
	簡単撮影モードで撮影する (グリーンモード)	69
	シャッター速度を変えて撮影する(シャッター優先モード)	71
	USER (ユーザー) モードを利用する	72
	ペットを撮影する(ペットモード)	74
	デジタル顕微鏡モードで撮影する	74
	設定した時間間隔で撮影する (インターバル撮影)	
	セルフタイマーを使って撮影する	76
	連続して撮影する (連続撮影/高速連写)	
	リモコン(別売)を使って撮影する	78
	露出条件を自動で変えて撮影する(オートブラケット)	79

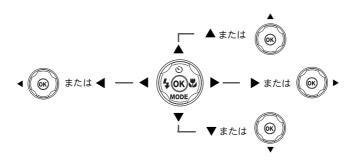
撮影のための機能を設定する	81
撮影メニューを設定する	81
フラッシュの発光方法を選択する	
ピントの合わせ方を選ぶ(フォーカスモード)	
画像仕上を設定する	
記録サイズを選択する	
静止画の画質を選択する	88
ホワイトバランスを調整する	89
測光方式を設定する	91
感度を設定する	92
感度AUTO調整範囲を設定する	93
露出を補正する	93
明るさを補正する(D-Range設定)	94
手ぶれ補正 (Shake Reduction) を設定する	95
顔検出機能を切り替える	96
まばたき検出を設定する	99
クイックビューを設定する	99
グリーンボタン機能を設定する	
シャープネスを設定する	. 103
彩度/調色を設定する	. 103
コントラストを設定する	
日付写し込みを設定する	
超解像処理を行うかどうか設定する	
マクロ照明を使うかどうか設定する	
電子水準器を表示するかどうかを設定する	
コンバージョンレンズを使うかどうかを設定する	. 106
水中で撮影する	.107
水中で撮影する(マーメード/マーメードムービーモード)	. 107
動画を撮影する	.109
動画を撮影する	. 109
動画ボタンで簡単に動画を撮影する	. 110
動画の記録サイズとフレームレートを選択する	. 111
動画の手ぶれ補正を設定する (Movie SR)	. 112
動画撮影時の風切音を低減する(風切音低減)	
動画撮影中にピントを調整し続ける	. 113
光学ズームを設定する	. 113
設定した時間間隔で動画を撮影する(インターバル動画)	
早送り動画を使用する	. 116
ハイスピードカメラを使用する	
1cmマクロ動画を使用する	
設定を保存する (モードメモリ)	.119

	再生する	121
	静止画を再生する	121
	動画を再生する	122
	複数の画像を表示する	123
	再生機能を使う	125
	スライドショウで連続再生する	128
	画像を回転表示する	130
	再生画像を拡大する	131
	消去する	132
	1画像ずつ消去する	132
	選択して消去する	133
	まとめて消去する	134
	消去できないようにする (プロテクト)	135
	AV機器と接続する	137
	ビデオ端子に接続する	137
	HDMI端子に接続する	139
画像の編	編集と印刷	140
		140
		140
	編集する 画像のサイズを変更する(リサイズ)	140 140
	編集する 画像のサイズを変更する(リサイズ) 画像をトリミングする	140 140 141
	編集する 画像のサイズを変更する(リサイズ) 画像をトリミングする 顔が小さく見えるように加工する	140 140 141 142
	編集する	140 140 141 142 143
	編集する	140 140 141 142 143 145
	編集する 画像のサイズを変更する(リサイズ) 画像をトリミングする 顔が小さく見えるように加工する デジタルフィルターを使う HDRフィルターで加工する 魚拓フィルターを使う	140 140 141 142 143 145
	編集する	140 140 141 142 143 145 145
	編集する	140 140 141 142 143 145 145 146
	編集する	140140141142145146146149
	編集する	140140140141142143145146149150
	編集する	140140141142143145146149150150
	編集する	140140141142143145145150150156

カメラを設定する1	161
設定メニューを設定する	161
フォーマットする	
サウンドの設定を変更する	163
日時を変更する	164
決まった時刻にアラームを鳴らす	
ワールドタイムを設定する [^]	167
メニューの文字サイズを設定する	169
表示言語を変更する	169
フォルダー名の付け方を変更する	170
ファイル名の付け方を変更する	172
ビデオ出力方式を選択する	
HDMI出力形式を選択する	
Eye-Fiを設定する	
画像モニターの明るさを設定する	176
節電機能を使う(エコモード)	
オートパワーオフ機能を使う	
クイック拡大を設定する <i>^</i>	177
ガイド表示を設定する	
ピクセルマッピングを行う	
起動画面を変更する	
設定をリセットする	
ダイレクト起動を設定する	
スタイルウォッチを使う	181
マクロ照明用LEDを点灯する	
画像を自動的に回転して再生する	
圧力センサーを使う	182
パソコンと接続する 1	185
パソコンと接続する1	185
カメラのUSB接続モードを設定する	185
カメラとパソコンを接続する	186
パソコンからカメラを取り外す	187
付属ソフトウェアを使用する1	188
システム環境	
ソフトウェアのインストール	
WindowsでMediaImpressionを使用する	
Windows C MediaImpressionを使用する	
Eve-Fiカードを使って画像を転送する	

各撮影モードの機能対応	198
メッセージー覧	
こんなときは?	204
初期設定一覧	
都市名一覧	
主な仕様	213
アフターサービスについて	221

本書では、十字キーの操作を次のように表記しています。



操作説明中で使用されている表記の意味は次のとおりです。

	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
XE	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 準備 ------

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作を説明しています。撮影をはじめる 前に必ずお読みになり、操作をしてください。

2 機能共通操作 -----

各ボタンの機能やメニューの設定方法など、各機能に共通する操作を説明しています。詳しい内容は、3章以降をご覧ください。

3 撮影 ----

さまざまな撮影方法や、撮影に関する機能の設定方法を説明しています。

4 画像の再生と消去 ----

静止画や動画をカメラやテレビで再生する方法とカメラから消去する方法を説明しています。

5 画像の編集と印刷 -

撮影した静止画の印刷や、カメラでの編集方法を説明しています。

6 設定 ----

カメラの機能の設定方法を説明しています。

7 パソコンと接続する-----

カメラとパソコンのつなぎ方や、付属ソフトウェアのインストール方法と概要 を説明しています。

8 付録 -----

困ったときの対処のしかたや各種資料を掲載しています。

1

2

3

5

6

7

8



本体 RICOH WG-4 GPS/ RICOH WG-4



カラビナストラップ (% 1)



ソフトウェア (CD-ROM) S-SW145



USBケーブル I-USB7 (%2)



充電式リチウムイオンバッテ 充電用電源アダプター リー D-LI92 (※2)



D-PA135J(ACプラグ D-PI 135Jつき) (※3)



マクロスタンド O-MS2

GPS機能活用ガイド(RICOH WG-4 GPSのみ) 使用説明書 (本書) 簡単ガイド 保証書

※1 カラビナストラップは、カメラの機種や本体カラーによって、以下の異なる種 類(色)のものを同梱しております。

<RICOH WG-4 GPS>

: カラビナストラップ O-ST144 (黒×白) ブラック

ブルー :カラビナストラップ O-ST145 (黒 \times ライムイエロー)

<RICOH WG-4>

: カラビナストラップ O-ST144(黒×白) シルバー

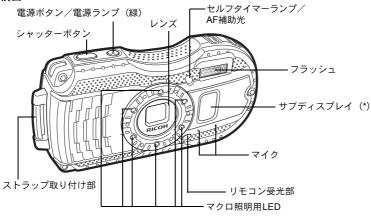
ライムイエロー : カラビナストラップ O-ST145 (黒×ライムイエロー)

※2 別売アクセサリーとしてもご用意しております。

※3 ACプラグは、電源アダプターに装着されています。

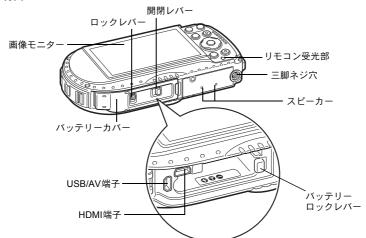
各部の名称

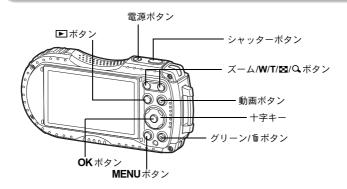
前面



(*) RICOH WG-4 GPSのみ装備されています。

背面



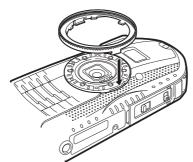




各ボタンの機能は、「ボタンの機能を使用する」(p.47~50)をご覧ください。

マクロスタンドについて

付属のマクロスタンド (O-MS2) を使うと、 (デジタル顕微鏡)、 (1cmマクロ動画) モード (p.74、p.118) での撮影時の手ぶれを防ぐことができます。2箇所のツメをマクロ照明用LED部の上下に差し込んでください。取り付け・取外しのときは、ツメのない部分を持ってください。



* マクロスタンドを使用する場合、被写体に凹凸があると、ピントが合わないことがあります。

1

ロモードの表示

OK ボタンを押すたびに、画像モニターの表示が「通常表示」「ヒストグラム+情報表示」「電子コンパス表示」「グリッド表示」「情報表示なし」「LCDオフ」に切り替わります。



- ・LCDオフの時にも、すべてのボタンは通常通り使用できます。シャッターボタンを押せば、通常通り撮影できます。
- ・ 撮影モードによっては表示を切り替えることができない場合があります。
- 電子コンパス表示はRICOH WG-4 GPSのみ表示できます。RICOH WG-4 ではヒストグラム+情報表示でOKボタンを押すと、グリッド表示に切り 替わります。

通常表示





ヒストグラム+情報表示



(OK)











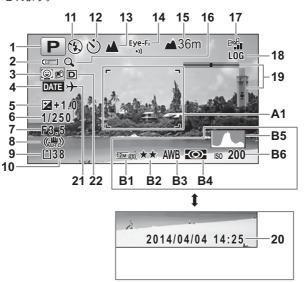






グリッド表示

「通常表示」では1~22・A1が表示されます。「ヒストグラム+情報表示」では20の位置にB1~B6が表示されます。「情報表示なし」、「グリッド表示」ではA1のみ表示されます。



- 1 撮影モード (p.65)
- 2 バッテリー残量表示 (p.36)
- 3 顔検出アイコン (p.96)
- 4 日付写し込み設定中(p.104)
- 5 露出補正値 (p.93)
- 6 シャッター速度
- 7 絞り値
- **8** Shake Reductionアイコン (p.95)
- 9 メモリー状態表示 (p.40)
- 10 撮影可能枚数
- **11** フラッシュモード (p.82)
- **12** ドライブモード (p.76∼p.79)
- **13** フォーカスモード (p.83)
- **14** Eye-Fi通信状態表示(p.175)
- **15** 高度/気圧 (p.182) (RICOH WG-4 GPSのみ)

- **16** デジタルズーム/インテリ ジェントズーム表示 (p.62)
- **17** GPS取得情報表示 (RICOH WG-4 GPSのみ)
- **18** GPSログアイコン (RICOH WG-4 GPSのみ)
- 19 電子水準器 (p.29)
- 20 現在の日時 (p.45)
- 21 ワールドタイム設定中 (p.167)
- 22 D-Range設定 (p.94)
- A1 フォーカスフレーム (p.59)
- B1 記録サイズ (p.87)
- **B2** 画質(p.88)
- **B3** ホワイトバランス (p.89)
- **B4** 測光方式(p.91)
- **B5** ヒストグラム (p.28)
- B6 感度 (p.92)

- ※ 6・7は、シャッターボタンを半押ししたときのみ表示されます。
- ※ 8は、「□撮影」メニューの「Shake Reduction」が「センサーシフト」または「デュアル」に設定されているときに、シャッターボタンを半押しすると (場)が表示されます。「Shake Reduction」が「オフ」に設定されているときは、(ペッ)が表示されます。
- ※ 13は、フォーカスモードがAFに設定されているときにオートマクロ機能が 作動すると♥が表示されます(p.83)。
- ※ 14の表示は「**₹** 設定」メニューの「Eye-Fi」の設定によって変わります。
- ※ 15の表示は、「▲設定」メニューの「圧力センサー」の設定によって変わります。
- ※ 17の表示は、「↑設定」メニューの「GPS」の設定によって変わります。 「GPS測位」がオフに設定されているときは何も表示されません。
- ※ 18の表示は、GPSログの取得中に表示されます。
- ※ 20は、電源をオンにしてから2秒間だけ表示されます。
- ※ 22の表示は、「▲撮影」メニューの「D-Range設定」の設定によって変わります。
 - 「ハイライト補正」と「シャドー補正」の両方が「オフ」に設定されているときは何も表示されません。
- ※ 撮影モードが冊(オートピクチャー)のときは「情報表示なし」でも、シャッターボタンを半押しすると、A1の位置に選択されたモードが表示されます。
- ※ 画面の中で明るすぎて白くとんでしまう部分がある場合、その部分が赤の点滅で警告表示されます。また暗すぎて黒くつぶれてしまう部分がある場合、その部分が黄色の点滅で警告表示されます。
- ※ 撮影モードによっては表示されない情報もあります。



- 1 GPS取得緯度情報
- 2 GPS取得経度情報
- 3 現在の日付
- 4 高度/気圧

- 5 GPS取得情報表示
- 6 バッテリー残量表示
- **7** レンズの向き
- 8 現在の時間
- ※ 4の表示は、「▲設定」メニューの「圧力センサー」の設定によって変わります。
- ※ 5の表示は、「◆設定」メニューの「GPS」の設定によって変わります。 「GPS測位」がオフに設定されているときは何も表示されません。
- ※ 7 の表示は、現在のレンズの向きに合わせて変わります。表示される角度とレンズの向きは、次のとおりです。

0°	レンズが北を向いているとき
90°	レンズが東を向いているとき
180°	レンズが南を向いているとき
270°	レンズが西を向いているとき

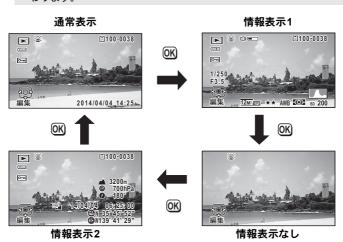
※ シャッターボタンを半押しすると、通常表示画面に切り替わります。再び電子コンパスを表示するには、**OK**ボタンを2回押します。

▶モードの表示

再生時には、撮影したときの画像の情報が表示されます。**OK** ボタンを押すと、 表示が切り替わります。



- 動画の再生中/動画の一時停止中は OK ボタンによる情報表示切り替えができません。
- 情報表示2はRICOH WG-4 GPSのみ表示できます。
 RICOH WG-4では情報表示なしで OK ボタンを押すと通常表示に切り替わります。



再生モード 通常表示/情報表示1

(説明のためにすべてを表示させたイラストで記載しています。)

撮影条件などを表示します。「通常表示」ではA1~A10が表示されます。「情報表示1」のときにはB1~B8も表示されます。

1 準備



- A1 顔検出アイコン (p.96)
- A2 再生モード表示

▶ :静止画 (p.121)

□ :動画 (p.122)

- **A3** バッテリー残量表示 (p.36)
- **A4** 画像プロテクト表示(p.135)
- A5 十字キーガイド表示
- A6 ファイル番号
- **A7** フォルダー番号 (p.170)
- **A8** メモリー状態表示 (p.40)

- **A9** Eye-Fi通信状態表示(p.175)
- A10 音量表示
- B1 シャッター速度
- **B2** 絞り値
- **B3** ヒストグラム (p.28)
- B4 感度 (p.92)
- **B5** 記録サイズ(p.87)
- **B6** 画質(p.88)
- **B7** ホワイトバランス (p.89)
- **B8** 測光方式 (p.91)
- ※ A1は、撮影時に顔検出した場合のみ表示されます。
- ※ A3は、通常表示時に2秒間何もボタン操作をしないと消えます。
- ※ A5は「情報表示なし」時でも表示されますが、2秒間何もボタン操作をしないと消えます。また「通常表示」「情報表示1」時に2秒間何もボタン操作をしないと、「編集」の文字のみ消えます。
- ※ A10は、動画再生中に音量調節をしているときのみ表示されます (p.122)。
- ※「通常表示」時には、B4~B8の位置に、現在の日時が2秒間だけ表示されます。
- ※ 画面の中で明るすぎて白くとんでいる部分がある場合、その部分が赤の点滅で表示されます。また暗すぎて黒くつぶれている部分がある場合、その部分が黄色の点滅で表示されます。

再生モード 情報表示2(RICOH WG-4 GPSのみ表示できます)



- 1 顔検出アイコン
- 2 再生モード表示
- 3 バッテリー残量表示
- 4 画像プロテクト表示
- 5 十字キーガイド表示
- 6 音量表示
- 7 Eve-Fi通信状態表示
- 8 ファイル番号

- 9 フォルダー番号
- 10 メモリー状態表示
- 11 高度
- 12 気圧
- 13 方位
- 14 GPS情報取得時刻
- 15 GPS取得緯度情報
- 16 GPS取得経度情報
- ※ 6は、動画再生中に音量調節をしているときのみ表示されます (p.122)。
- ※ 圧力センサーを「オフ」に設定している場合、11、12は「-」が表示されます (p.182)。
- ※ 圧力センサーの「使用環境」を「地上」に設定している場合、11には (高度)が、12には (気圧)が表示されます。「使用環境」を「水中」に設定している場合、11には (水深)が、12には (水中での気圧)が表示されます (p.182)。
- ※ 13 は、撮影時のレンズの向きを表示しています。レンズが北を向いていたときは「0°」になります(p.24)。
- ※ 14は、GPS時刻(GPSシステムの基準時刻)が表示されます。カメラで設定された時刻とは一致しない場合があります。

ガイド表示

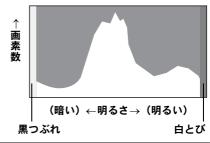
操作中は、画像モニターにボタン操作のガイドが次のように表示されます。

A	十字キー(▲)
▼	十字キー (▼)
◀	十字キー(◀)
•	十字キー(▶)
MENU	MENU ボタン

Q	ズームボタン
OK	OK ボタン
SHUTTER	シャッターボタン
◉ (緑) / 🖆	グリーン/面ボタン
◉ (赤)	動画ボタン

ヒストグラムとは、画像の明るさの 分布を表したグラフです。横軸は明 るさ(左端は黒、右端は白)を、縦 軸は各明るさごとの画素数を示し ます。

撮影前や撮影後にヒストグラムの 形状を見ることで、画像の明るさと 明暗差が適正かどうかを確認し、露 出補正や撮り直しの判断に利用で きます。



露出を補正する ☞ p.93

画像の明るさを見る

画像の明るさが適正な画像では、グラフの山は中央にあります。しかし、暗い 画像ではグラフの山は左側に偏り、明るい画像では右側に偏ります。

暗い画像

適正な明るさの画像

明るい画像







また、画像の中で、暗過ぎてヒストグラムの左端よりも左になる部分は真っ黒になり(黒つぶれ)、明る過ぎてヒストグラムの右端よりも右になる部分は真っ白になってしまいます(白とび)。

このカメラには黒つぶれ部分を黄色く、白とび部分を赤く点滅表示させる機能 があります。

明暗差のバランスを見る

明暗差のバランスが取れた画像では、グラフの中央部がなだらかな山のピークになります。しかし、明暗差が激しく、中間的な明るさの部分が少ない画像では、左右に山のピークがあり、中央部分がくぼんだグラフになります。

電子水準器

このカメラには、カメラの傾きを検知する電子水準器が搭載されています。

「▲撮影」メニューの「電子水準器」を▼(オン)に設定しておくと、電子水準器が表示され、カメラの傾き具合を確認できます(p.106)。

横のバーグラフで左右の傾き(水平に対する傾き)、縦のバーグラフで上下の傾き(垂直に対する傾き)を表します。バーグラフの目盛の数と表示色で傾きの度合いを示します。

表示例



左右・上下傾きなし(緑)



右へ1°傾き(黄) 上下傾きなし(緑)



左右傾きなし(緑) 上へ2.5°傾き(赤)



左右指標表示外(赤) 上下指標表示外(赤)



- 傾きが検出できないときは、バーグラフの両端・中央が赤で点滅します。
- 電子水準器の表示は目安です。精密な表示を保証するものではありません。

1 準備

電源がオフのとき、前面のサブディスプレイに現在の時刻や気圧などの情報が 表示されます。



- 1 現在の時間
- 2 高度/気圧
- ※ 2の表示は、「♣設定」メニューの「圧力センサー」の設定によって変わります (p.182)。

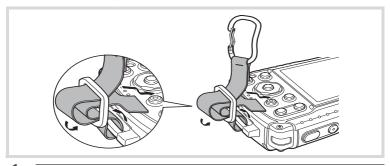


- ・ シャッターを全押しすると、5秒間バックライトが点灯します。
- ズームボタンを押して、表示内容を変更できます。右(T)を押すたびに、 時刻→時刻+高度→時刻+気圧と切り替わります。左(W)を押したとき は、反対の順番で切り替わります。「圧力センサー」の設定がオフのとき は、ズームボタンを押しても2には何も表示されません。
- •「使用環境」で「地上」を選択しているとき、表示できる高度は -300 ~ 4000mです。また高度が-300mまたは4000mに達すると、高度の表示が 点滅します。

「水中」を選択しているときは、-15~0mです(サブディスプレイには「-」の代わりに「d」が表示されます)。また高度(水深)が-15mに達すると、水深の表示が点滅します。

カラビナストラップを取り付ける

付属のカラビナストラップを取り付けます。

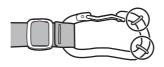


- カストラップの先端を、本体のストラップ取り付け部に通す
- **2** ストラップの先端を留め具の内側に固定する

防傷ゴムリングについて

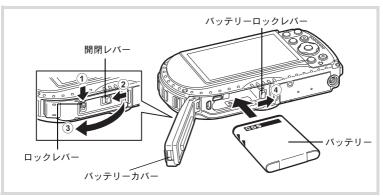
付属のカラビナストラップのカラビナ部には、画像モニターと接触した際の衝撃をやわらげ、モニター表面に傷がつきにくくするための、防傷ゴムリングが取り付けられています。

防傷効果を高めるために、ご使用前には必ず、ゴムリングを下図のように位置 調整してください。



バッテリーをセットする

付属の充電式リチウムイオンバッテリー(D-LI92)をセットします。



- 1 ロックレバーを①の方向にスライドさせて、ロックを解除する
- 開閉レバーを②の方向にスライドさせ、③の方向にバッテリーカバーを開ける
- イッテリーのPENTAXロゴ面をカメラのレンズ側に向け、バッテリーの側面でバッテリーロックレバーを矢印④の方向に押しながら挿入する

ロックされるまでバッテリーを挿入してください。



逆向きに挿入すると、カメラの電源が入らないだけでなく、故障の原因にもなります。

4 バッテリーカバーを閉じ、開閉レバーを②と反対方向にスライド させる

黄色の指標が見えなくなり、カバーが確実に閉じていることを確認します。

5 ロックレバーを①と反対方向にスライドさせる 黄色の指標が見えなくなり、確実にロックされていることを確認します。

1 バッテリーカバーを開ける

バッテリーロックレバーを矢印4の方向に押す

バッテリーが少し飛び出します。落とさないように気をつけて引き抜いてくだ さい。



- ・バッテリーカバーを開閉するときは、防水パッキンが外れるおそれがあり ますので、カメラの前後方向に無理な力を加えないでください。防水パッ キンが正しい位置から外れると、カメラの防水性能が発揮できなくなりま す。
- バッテリーカバーを閉じるときは、ロックがしっかりされていないと、カ メラ内部に水・砂・泥が入る原因となります。
- 充電式リチウムイオンバッテリーD-LI92が、このカメラの専用バッテリー です。他のバッテリーを使用すると、カメラが破損し作動しなくなること があります。
- バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入れると故障の原因 になります。
- 電源がONのときはバッテリーを取り出さないでください。
- ・バッテリーを半年以上長期保存する場合は、充電用電源アダプターで30分 程度充電し、本体から外した状態で保管してください。 その後、半年から1年ごとに再充雷してください。また、高温になる場所 は避け、できるだけ室温以下を保持できるような場所に保管してくださ (1,
- 長期間本体にバッテリーをセットしないと、日時の設定がリセットされる ことがあります。
- カメラを長時間連続で使用した場合、本体やバッテリーが熱くなっている ことがありますので、ご注意ください。
- ・バッテリーを交換する際は、カメラが完全に乾いてから、濡れたり汚れた りしやすい場所を避け、濡れた手をよく拭いてから行ってください。

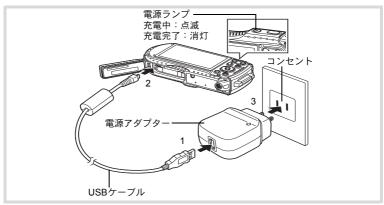
リサイクルについて

ださい。



このマークは小型充電式電池のリサイクルマークです。 ご使用済みの小型充電式電池を廃棄するときは、端子部に絶縁 テープを貼って、小型充電式電池リサイクル協力店へお持ちく

はじめてご使用になるときや長時間使用しなかったとき、「電池容量がなくなりました」というメッセージが表示されたときは、付属の充電用電源アダプター(D-PA135J)を本機に接続して充電してください。



- カメラの電源が切れていることを確認してから、バッテリーカバーを開ける
- 2 充電用電源アダプターにUSBケーブルを接続する
- 3 USBケーブルを本体に接続する
- **電源アダプターをコンセントに差し込む**

充電中は電源ランプが点滅します。

充電が完了すると、電源ランプが消灯します。

充電中は、バッテリーカバーは閉じなくなります。充電中はカバーを開けたまま、無理に閉じないでください。

- **5** 充電終了後、コンセントから電源アダプターを外す
- ★体からUSBケーブルを外す
- 7 バッテリーカバーを閉じる



- ・付属の充電用電源アダプター(D-PA135J)では、充電式リチウムイオンバッテリー D-LI92以外のバッテリーは充電しないでください。充電器の破損や発熱の原因となります。
- ・正しく充電しても使用できる時間が短くなったらバッテリーの寿命です。 新しいバッテリーと交換してください。
- カメラをコンセントに接続しても、インジケーターランプが点灯しない場合は、バッテリーの異常です。新しいバッテリーと交換してください。
- 充電用電源アダプター接続時は、USBケーブルがカメラ底面から引き出されるため、卓上などにカメラを立てて置くことができません。
- バッテリーカバーを開閉するときは、防水パッキンが外れるおそれがありますので、カメラの前後方向に無理な力を加えないでください。防水パッキンが正しい位置から外れると、カメラの防水性能が発揮できなくなります。



- 充電時間は、最大で約180分です(周囲の温度や充電状態によって異なります)。周囲の温度が0~40℃の範囲で充電してください。
- カメラ本体で充電中は、カメラの電源は入りません。

静止画撮影可能枚数と動画撮影、再生時間の目安 (23℃・画像モニター点灯・専用バッテリーフル充電時)

静止画撮影可能枚数 ^{※1} (フラッシュ使用率50%)	動画撮影時間 ^{※2}	再生時間 ^{※2}
約240枚	約65分	約200分

- ※1 撮影可能枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。(CIPA規格抜粋:画像モニターON、フラッシュ使用率50%、23℃)
- ※2 時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。



- 使用環境温度が下がると、バッテリーの性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備のバッテリーを用意して衣服の中で保温するなどしてご使用ください。なお、低温によって低下した電池の性能は、常温の環境で元に戻ります。
- ・設定メニューの「GPS」で「GPS 測位」をオンに設定していると、電源を切っていても測位が行われているため、バッテリーも消耗します。 圧力センサーを利用して、現在地の気圧や高度を測定している場合は、バッテリーの消耗が早くなることがあります。
- 海外旅行など長期のお出かけ、寒冷地で撮影する場合や、大量に撮影する場合は、予備のバッテリーをご用意ください。

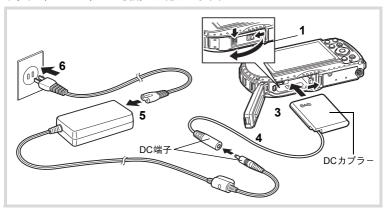
• バッテリーの残量表示

画像モニターの表示で、バッテリーの残量が確認できます。

	画像モニター表示	バッテリーの状態
	(緑)	バッテリーがまだ十分に残っています。
(1111	(緑)	少し減っています。
	(黄)	だいぶ減っています。
	(赤)	残量がほとんどありません。
「電池	容量がなくなりました」	メッセージ表示後、電源が切れます。

ACアダプターを使用する

長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、別売のACアダプターキット(K-AC117)のご使用をお勧めします。



1 カメラの電源が切れていることを確認してから、バッテリーカ バーを開ける

2 バッテリーを取り出す

バッテリーカバーの開け方と、バッテリーの取り出し方は、p.32~p.33を参照してください。

3 DCカプラーを挿入する

DCカプラーの側面でバッテリーロックレバーを押しながら挿入し、挿入後は DCカプラーがロックされたことを確認してください。

DCカプラーを挿入すると、バッテリーカバーは閉じなくなります。ACアダプター使用中は開けたまま、無理に閉じないでください。

4 DCカプラーのDC端子に、ACアダプターのDC端子を接続する

5 ACコードをACアダプターに接続する

電源プラグをコンセントに差し込む



- ACアダプターの接続/取り外しは、必ずカメラの電源を切った状態で行ってください。
- ・電源と接続ケーブルはしっかりと差し込んでください。SD メモリーカードまたは内蔵メモリーにデータを記録中にケーブルが外れると、データが破壊されることがあります。
- ・ACアダプターを使用する場合は、火災や感電に十分ご注意ください。 ご使用の前に、必ず「充電用電源アダプターとACアダプターについて」 (p.2) をお読みください。
- ACアダプターをご使用になるときは、ACアダプターキットK-AC117の使用説明書をあわせてご覧ください。
- ACアダプター接続時は、DCカプラーのコードがカメラ底面から引き出されるため、卓上などにカメラを立てて置くことができません。
- バッテリーカバーを開閉するときは、防水パッキンが外れるおそれがありますので、カメラの前後方向に無理な力を加えないでください。防水パッキンが正しい位置から外れると、カメラの防水性能が発揮できなくなります。

SDメモリーカードをセットする

1 準備 このカメラでは、SDメモリーカード、SDHCメモリーカードまたはSDXCカードが使用できます。撮影した画像はカメラにセットしたSDメモリーカードに記録されます。SDメモリーカードをセットしていないときは、内蔵メモリーに記録されます(p.40)。



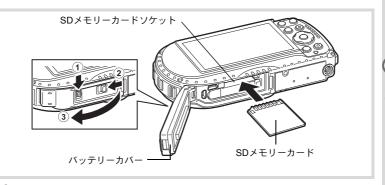
- ・未使用または他のカメラやデジタル機器で使用した SD メモリーカードは、必ずこのカメラでフォーマット(初期化)してからご使用ください。フォーマットについては「フォーマットする」(p.162)をご覧ください。
- SDメモリーカードのセット/取り出しは、必ずカメラの電源を切った状態で行ってください。
- SDメモリーカードを交換する際は、カメラが完全に乾いてから、濡れたり汚れたりしやすい場所を避け、濡れた手をよく拭いてから行ってください。
- バッテリーカバーを開閉するときは、防水パッキンが外れるおそれがありますので、カメラの前後方向に無理な力を加えないでください。防水パッキンが正しい位置から外れると、カメラの防水性能が発揮できなくなります。



- ・撮影できる静止画の枚数は、使用する SDメモリーカードの容量と画像の 記録サイズ・画質によって異なります (p.214)。
- ・SDメモリーカードにアクセス中(データの記録や読み出し中)は、電源ランプが点滅します。

データバックアップのお勧め

内蔵メモリーに記録されたデータは、故障などの原因でまれに読み出しができなくなることがあります。大切なデータは、パソコンなどを利用して、内蔵メモリーとは別の場所に保存しておくことをお勧めします。



- 1 ロックレバーを①の方向にスライドさせて、ロックを解除する
- **別** 開閉レバーを②の方向にスライドさせ、③の方向にバッテリーカバーを開ける
- 3 SDメモリーカードのラベル面をカメラのレンズ側に向け、カメラのSDメモリーカードソケットに挿入する

カードは奥までしっかり押し込んでください。カードがしっかり入っていないと、画像が正常に記録されないことがあります。

取り出すときは、SDメモリーカードをさらに押し込むとSDメモリーカードが少し飛び出すので、引き抜いてください。

- 4 バッテリーカバーを閉じ、開閉レバーを②と反対方向にスライド させる
- **5** ロックレバーを①と反対方向にスライドさせる カチッと音を立ててロックされたことを確認します。



バッテリーカバーを閉じるときは、ロックがしっかりされていないと、カメラ内部に水・砂・泥が入る原因となります。



- 撮影した画像の記録サイズなどによって画像のファイルサイズは異なり、 SDメモリーカードに記録できる枚数は異なります。
- 静止画の記録サイズの設定は「□ 撮影」メニューで、動画の記録サイズの設定は「□ 動画」メニューで行います。
- SDメモリーカードに記録できる撮影可能枚数/時間の目安については、「主な仕様」(p.213) をご覧ください。



1 電源ボタンを押す

電源が入り、電源ランプと画像モニターが点灯します。 カメラの電源を入れたときに、「言語設定」あるいは「日時設定」の画面が表示された場合は、p.42の手順に従って設定してください。

2 もう一度電源ボタンを押す

電源が切れ、電源ランプと画像モニターが消灯します。

静止画を撮影する ☞ p.59

カードチェック

電源を入れると、カードチェックが行われ、メモリーの状態が表示されます。

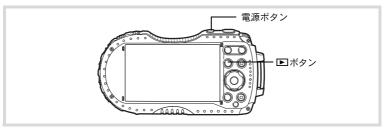
- SDメモリーカードがセットされています。画像は、SDメモリーカードに記録されます。
- SDメモリーカードがセットされていません。画像は、内蔵メモリーに記録されます。
- SDメモリーカードのライトプロテクト スイッチがLOCKになっています (p.6)。 画像の記録はできません。



メモリー状態表示

再生起動モード

再生起動モードは、撮影をしないで、すぐに画像を再生したいときに使用します。



画像モニターが点灯し、再生モードで起動します。



- 再生モードで起動後に撮影モードへ切り替えるときは、 ► ボタンを押す かシャッターボタンを半押ししてください。
- ・ 再生起動モードをオフにしたいときは「****設定」メニューの「ダイレクト 起動」で「再生起動」を「□ (オフ)」に設定します。(p.180)

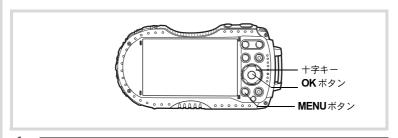
静止画を再生する ☞p.121

カメラの電源を入れて「Language/言語」画面が表示されたら、下記の「言語を 設定する」の手順で言語を「日本語」に、「日時を設定する」(p.45) の手順で 現在の日時を設定してください。

設定した「言語」と「日時」はあとから変更することもできます。操作方法は 下記のページをご覧ください。

言語を変更したいとき:「表示言語を変更する」(☞p.169)日時を変更したいとき:「日時を変更する」(☞p.164)

言語を設定する



1 十字キー (▲▼◀▶) で「日本語」を選ぶ

2 OKボタンを押す

日本語の「初期設定」画面が表示されます。 「現在地」が東京、「夏時間」が SS に設定 されていたら、手順9に進みます。



3 十字キー(▼)を押す

選択枠が「公現在地」に移動します。



4 十字キー (▶) を押す

「△現在地」画面が表示されます。

5 +字キー(◀▶)で「東京」を選ぶ



6 十字キー (▼) を押す

選択枠が「夏時間」に移動します。

- 8 OK ボタンを押す

「初期設定」画面が表示されます。

- **9** +字キー (▼) で「設定完了」を選ぶ
- **10** OK ボタンを押す

「日時設定」画面が表示されます。引き続き、日付と時刻を設定します。

もし誤って日本語以外の言語を選んで次に進んでしまったら、あわてず下記の操作で、日本語の表示に設定し直してください。

- ●「Language/言語」画面で、日本語以外の言語を選んで OK ボタンを押してしまった!
- 1 十字キー (▶) を押す
- **2** 十字キー (▲▼ ◀▶) で「日本語」を選んで、OK ボタンを押す 日本語の「初期設定」画面が表示されます。
- 手順2で外国語の設定のまま次の画面を表示させてしまった!
- MENUボタンを押す

設定画面を終了させて、一旦、撮影できる状態にします。

2 MENUボタンを押す

「□撮影」メニューが表示されます。

- 3 十字キー (▶) を2回押す
- **4** 十字キー (▼▲) を押して、「Language/言語 」を選ぶ
- **5** 十字キー (▶) を押す 「Language/言語」画面が表示されます。
- f +字キー(▲▼◀▶)で「日本語」を選ぶ
- **ア**OK ボタンを押す

日本語の「┪設定」メニューが表示されます。

ここまでの操作で、「Language/言語」の設定が「日本語」に設定し直されました。「現在地」と「日時」を設定し直す必要がある場合は、下記のページを参照してください。

- 現在地を変更したいとき:「ワールドタイムを設定する」(☞p.167)
- 日時を変更したいとき:「日時を変更する」(☞p.164)

初期設定で「現在地」を変更すると、ビデオ出力方式(NTSC/PAL)が選んだ都市の方式に自動的に設定されます。設定されるビデオ出力方式と、初期設定後の変更のしかたについては下記のページをご覧ください。

- 初期設定で設定されるビデオ出力方式:「都市名一覧」(FSP.212)
- ・ ビデオ出力方式を変更したいとき:「ビデオ出力方式を選択する」(☞p.174)

日時を設定する

日付の表示スタイルと現在の日付・時刻を設定します。

1 十字キー (▶) を押す

選択枠が「年/月/日」に移動します。

2 十字キー (▲▼) で日付の表示スタ イルを選ぶ

「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選択します。



3 +字キー (▶) を押す

選択枠が「24h」に移動します。

- 4 十字キー (▲▼) で「24h」(24時間表示) または「12h」(12時間表示) を選ぶ
- **5** +字キー(▶)を押す

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

6 十字キー (▼) を押す

選択枠が「日付」に移動します。

7 +字キー(▶)を押す

選択枠が「西暦年」に移動します。

194-(▲▼)で西暦年を設定する

同様に「月」「日」を設定します。

続いて時刻を設定します。

手順4で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM/PMが切り替わります。

- **9** +字キー (▼) で「設定完了」を選ぶ
- **10** OK ボタンを押す

日時が確定します。

手順10で**OK**ボタンを押すと、0秒にセットされます。時報に合わせて**OK**ボタンを押すと、秒単位まで正確に日時が設定できます。



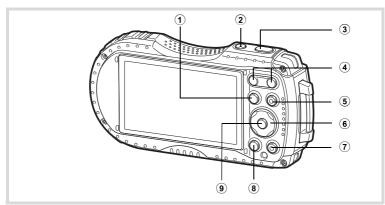
初期設定の途中でMENUボタンを押すと、それまで設定した内容がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。

1 準備

設定した「言語」「日時」「現在地」「夏時間」はあとから変更することができます。操作方法は下記のページをご覧ください。

- 言語を変更したいとき:「表示言語を変更する」(☞p.169)
- 日時を変更したいとき:「日時を変更する」(☞p.164)
- ・現在地、夏時間のオン/オフを変更したいとき:「ワールドタイムを設定する」(☞p.167)

▲モード時



▶モードに切り替えます(p.51)。

② 電源ボタン

電源を切ります (p.40)。

③ シャッターボタン

静止画撮影モードでは、半押しするとピント合わせを行います(フォーカスモードが、**PF、▲、MF**のときを除く)(p.60)。

全押しすると、静止画を撮影します (p.60)。

僧(動画)、 (マーメードムービー)、 へいイスピードカメラ)、 へ(早送り動画)、 (1cmマクロ動画) モードでは、全押しすると動画の撮影を開始、終了します (p.107、p.109、p.116、p.117、p.118)。

④ ズーム/W/Tボタン

撮影する範囲を変えます (p.62)。

⑤ 動画ボタン

静止画撮影モードのときに押すと、動画の撮影が始まります(p.110)。 Tv (シャッター優先) モードでは、シャッター速度を調整する画面を表示します。

(6) 十字キー

- (▲) : ドライブモードを切り替えます (p.76~p.79)。
- (▼) :撮影モードパレットを表示します(p.66)。
- (◀) : フラッシュモードを切り替えます (p.82)。
- (▶) :フォーカスモードを切り替えます (p.83)。
- (▲▼) : フォーカスモードがMFのときにピントを調整します (p.84)。

⑦ グリーンボタン

● (グリーン) モードに移行します (p.69)。特定の機能をすばやく呼び出します (p.100)。

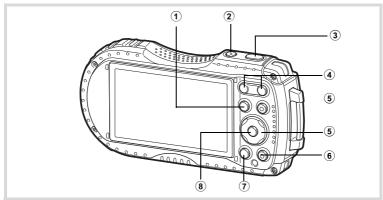
® MENUボタン

静止画撮影モードのときは、「▲撮影」メニューを表示します。動画モードのときは、「★動画」メニューを表示します (p.52)。

9 OK ボタン

画像モニターに表示される情報を切り替えます (p.21)。

▶モード時



1 トボタン

▲モードに切り替えます(p.51)。

② 電源ボタン

電源を切ります (p.40)。

- ③ シャッターボタン
 - ▲モードに切り替えます (p.51)。
- ④ ズーム/■/Qボタン

1画面表示時に■側を押すと6画面表示になります。もう一度 ■側を押すと12 画面表示になります (p.123)。 Q.側を押すと、前の表示に戻ります。

1画面表示時にQ側を押すと画像が拡大表示されます。■側を押すと前の表示に戻ります(p.131)。

12 画面表示時に **図** 側を押すと、フォルダー表示またはカレンダー表示になります (p.124)。

フォルダー表示時/カレンダー表示時にQ側を押すと、12画面表示になります (p.124)。

動画再生中は音量調節をします (p.122)。

⑤ 十字キー

(▲) : 動画を再生/一時停止します (p.122)。

(▼) : 再生モードパレットを表示します (p.127)。

再生中の動画を停止します (p.122)。

(◀▶) : 1画面表示時は、前後の画像を表示します (p.121)。

動画再生時は、早送り/早戻し/コマ送り/コマ戻しをします (p.122)。

(▲▼◀▶) :拡大表示時は、表示範囲を移動します (p.131)。

6画面表示/12画面表示時は画像、フォルダー表示時はフォルダー、カレンダー表示時は日付を選択します(p.123、p.124)。 オリジナルフレーム時は、フレームや画像の位置を調整します (p.152)。

⑥ グリーン/ 恒ボタン

1画面表示時は、消去画面に移行します (p.132)。 6画面表示/12画面表示時は、選択消去画面に移行します (p.133)。 フォルダー表示時は、カレンダー表示画面に移行します (p.124)。 カレンダー表示時は、フォルダー表示画面に移行します (p.124)。

7 MENUボタン

1画面表示時は、「↑設定」メニューを表示します (p.52)。 再生モードパレット表示時は、1画面表示に戻ります (p.126)。 拡大表示/6画面表示/12画面表示時は、1画面表示に戻ります。 カレンダー/フォルダー表示時は、最新画像にカーソルを合わせた12画面表示に変わります (p.124)。

⑥ OK ボタン

画像モニターに表示される情報を切り替えます (p.25)。 拡大表示/6画面表示/12画面表示時は、1画面表示に戻ります (p.123、p.131)。 フォルダー表示時は、選択フォルダーの12画面表示に変わります (p.124)。 カレンダー表示時は、選択日付の1画面表示に変わります (p.124)。

ロモードと▶モードの切り替え

本書では、静止画や動画の撮影を行うモードを「▲モード」(撮影モード)と表記します(静止画を撮影するモードは「静止画撮影モード」、動画を撮影するモードは「動画モード」と表記します)。また、撮影して記録した画像を画像モニターに表示するなど再生を行うモードを「▲モード」(再生モード)と表記します。 ▲モードでは、再生した画像に簡単な画像処理を加えることもできます。

▲モードと▶モードの切り替えは、次のように行います。

□モードから □モードへ切り替える

▶モードに切り替わります。

▶モードから▲モードへ切り替える

1 ▶ ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする **△** モードに切り替わります。

内蔵メモリー内のデータの表示について

SDメモリーカードがセットされているときは、SDメモリーカード内の画像、動画が表示されます。内蔵メモリー内の画像、動画を表示する場合は、SDメモリーカードを取り出してください。



SDメモリーカードは、必ずカメラの電源が切れた状態で取り出してください。

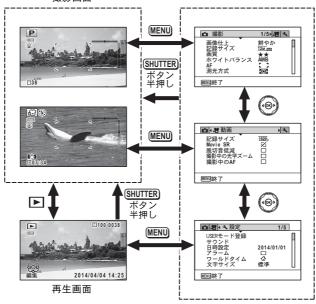
カメラの機能を設定する

カメラの設定を変更するときは、MENUボタンを押して、「□撮影」メニューまたは「N設定」メニューを呼び出します。また、画像の再生/編集に関する機能は、再生モードパレットから呼び出します。

2 メニューの操作のしかた

メニューは、「□撮影」/「増動画」/「N設定」の3種類があります。静止画撮影モードでMENUボタンを押すと、「□撮影」メニューが表示されます。動画モードでMENUボタンを押すと、「増動画」メニューが表示されます。 □ モードでMENUボタンを押すと、「N設定」メニューが表示されます。 ○ 各メニューは、十字キー(◀▶)で切り替えることができます。

撮影画面





- メニュー操作中は、使用するボタンやキーの機能が画像モニターに表示されます。
- MENUボタンの機能は、画面の状態によって異なります。ガイド表示を参照してください。

MENU 終了 メニュー操作を終了し、元の画面に戻ります。

MENU

現在の設定のまま、ひとつ前の画面に戻ります。

MENU 取消 現在の選択を保存しないでメニュー操作を終了し、ひ

とつ前の画面に戻ります。

メニュー画面で設定できる項目とその内容を示します。カメラの電源を切ったときに設定を維持するかどうか、リセットしたときに初期設定に戻るかどうかは、付録の「初期設定一覧」(p.206)をご覧ください。

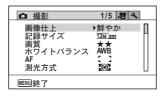
「凸撮影」メニュー

撮影に関するメニューです。

	項目	内容	参照
画像仕上		画像仕上がりを設定します。	p.86
記録サイズ		静止画像の記録サイズを選びます。	p.87
画質		静止画像の画質を設定します。	p.88
ホワイト	バランス	撮影時の光の状態に合わせて色を調整します。	p.89
	AFエリア	AF (標準)、 ਡ (マクロ)、 <mark>陽</mark> (1cmマクロ) 時のAF エリアを設定します。	p.85
AF	オート マクロ	オートマクロ機能を使うかどうかを設定します。	p.85
	AF補助光	AF補助光を発光させるかどうかを設定します。	p.86
測光方式	•	どの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定 します。	p.91
感度		感度を設定します。	p.92
感度AUT	O調整範囲	感度がAUTOのときの調整範囲を設定します。	p.93
露出補正		撮影する画像全体の明るさを調整します。	p.93
D-Range	ハイライト 補正	白とび補正の機能を設定します。	p.94
設定	シャドー 補正	黒つぶれ補正の機能を設定します。	p.94
Shake Reduction		手ぶれ補正機能を設定します。	p.95
顔検出		人物の顔を検出してピントや露出を合わせる機能 や、自分撮りアシストの機能を設定します。	p.96
まばたき	検出	顔検出したときに、まばたき検出を行うかどうか設 定します。	p.99
デジタル	·ズーム	デジタルズームを使うかどうかを設定します。	p.63
クイックビュー		クイックビューを表示するかどうかを設定します。	p.99
モードメモリ		電源を切ったときに撮影機能の設定値を保存するか、初期設定に戻すかを設定します。	p.119
グリーンボタン		▲ モード時にグリーンボタンで呼び出す機能を設定します。	p.100
シャープネス		画像の境界をシャープまたはソフトにします。	p.103
彩度(調	 色)	色の鮮やかさを設定します。画像仕上で「モノトーン」が選択されていると、項目が「調色」になります。	p.103

項目	内容	参照
コントラスト	画像の明暗差の度合いを設定します。	p.104
日付写し込み	静止画撮影時に日付と時刻の写し込みをするかどうかを設定します。	p.104
超解像	超解像処理を行うかどうか設定します。	p.105
マクロ照明	マクロ撮影用のLEDを点灯するかを設定します。	p.105
電子水準器	カメラの傾きを検知する電子水準器を表示するか どうかを設定します。	p.106
コンバージョン レンズ	RICOH ワイドコンバージョンレンズ DW-5(別売) を装着するときに設定します。	p.106

●「□撮影」メニュー1



●「凸撮影」メニュー 2

▲ 撮影	2/5
感度 感度AUTO調整範囲	PAUTO
露出補正	ISO125-1600 ±0.0
D-Range設定 Shake Reduction	センサーシフト
顔検出	<u> </u>
MENU終了	

●「凸撮影」メニュー3



●「凸撮影」メニュー 4

□ 撮影	4/5 😢 🔧
彩度 コンドラスト 日付保像 昭学の マクル 電子水準器	(三) オフ ダ ロ ダ
MENU終了	

●「□撮影」メニュー 5





- ・「□撮影」メニューの設定に関係なく、標準設定で手軽に撮影を楽しみたいときは、■(グリーン)モードを利用してください(p.69)。
- よく使う機能は、グリーンボタンに登録しておくと、すばやく呼び出せます (p.100)。

「詹動画」メニュー

項目	内容	参照
記録サイズ	動画の記録サイズとフレームレートを選びます。	p.111
Movie SR	手ぶれ補正を使うかどうかを設定します。	p.112
風切音低減	風の音を低減して録音します。	p.112
撮影中の AF	動画の撮影中でもピントを調整し続けるかどうか を設定します。	p.113
撮影中の光学ズーム	動画の撮影中に光学ズームを使うかどうかを設定 します。	p.113

●「鷽動画」メニュー

△ 增動画		1
記録サイズ Movie SR 風切音低減 撮影中のAF 撮影中の光学ズーム	▶ 1926 ☑ □ □	
MENU終了		

「へ設定」メニュー

項目	内容	参照
USERモード登録	現在のカメラの設定を登録し、USERモードで呼び出せるようにします。	p.72
サウンド	操作音量・再生音量・起動音・シャッター音・操作音・セルフタイマー音を設定します。	p.163
日時設定	日付と時刻を設定します。	p.164
アラーム	アラームを設定します。	p.165
ワールドタイム	現在地と目的地を設定します。	p.167
文字サイズ	メニューの文字サイズを設定します。	p.169
Language/言語	メニューやメッセージを表示する言語を設定します。	p.169
フォルダー名	画像を保存するフォルダーの命名方法を設定します。	p.170

項目		内容	参照	
ファイル名		画像ファイルの命名方法を設定します。	p.172	
USB接続		USB ケーブルでカメラをパソコンに接続する方法 (MSCまたはPTP) を設定します。	p.185	
ビデオ	出力	AV機器へのビデオ出力形式を設定します。		
HDMI出	力	AV機器への出力解像度を設定します。	p.174	
Eye-Fi		Eye-Fi通信を行うかどうかを設定します。	p.175	
LCDの	明るさ	画像モニターの明るさを設定します。		
エコモ・	ード	節電モードになるまでの時間を設定します。	p.176	
オート	パワーオフ	自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。	p.177	
クイッ:	ク拡大	画像の再生時にクイック拡大機能 (p.131) を使う か使わないかを設定します。	p.177	
ガイド	表示	撮影モードパレットや再生モードパレット表示時 に、選択項目説明を表示するかしないかを設定しま す。	p.178	
リセッ	٢	日時設定・言語・ワールドタイム・ビデオ出力以外 の設定内容を工場出荷時の状態に戻します。	p.180	
全画像流	肖去	保存されているすべての画像を消去します。	p.134	
ピクセル	レマッピング	撮像素子の画素に欠けがあった場合に補完処理を 行います。	p.178	
	再生起動	再生起動を行うかどうか設定します。	p.180	
ダイレ クト起	LEDライト	電源がオフの状態でLEDライトの点灯を行うかど うか設定します。	p.180	
動	スタイル ウォッチ	電源がオフの状態でスタイルウォッチを表示させるかどうか設定します。	p.180	
フォー	マット	SDメモリーカード/内蔵メモリーをフォーマット します。	p.162	
画像の	自動回転	画像を再生するときに、自動的に回転するかどうかを設定します。	p.182	
	GPS測位	GPS情報を撮影した画像に記録するかしないかを 設定します。		
GPS (*)	GPSログ	GPSログを取得する間隔・時間を設定します。取得 したログの保存・破棄を行います。	GPS ガイド	
	自動時刻修正	GPS情報を取得して自動的にカメラの時刻を修正するかどうかを設定します。		
電子コンパス (*)		電子コンパスを調整します(キャリブレーション)。	GPS ガイド	
圧力センサー(*) 気		サブディスプレイと画像モニターに、時刻、時刻+ 気圧、または時刻+高度を表示するように設定します。	p.182	
	(A) DIOCULATO 4 ODO 07			

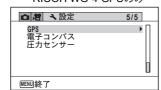
^(*) RICOH WG-4 GPSのみ

□増へ設定	1/5
USERモード登録 サウンド 日時設定 アラールドタイム 文字サイズ	2014/01/01 口
MENU終了	

●「****設定」メニュー 3

△灣~設定		3/5
Eye-Fi LCDの明るさ エコモード オートパワーオフ クイック拡大 ガイド表示	◆ □ 5秒 3分 □	
MENU終了		

●「\設定」メニュー 5 * RICOH WG-4 GPSのみ



● 「\設定」メニュー 1 ● 「\設定」メニュー 2

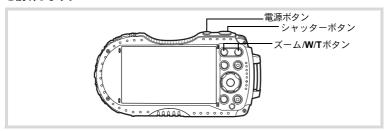
△灣~設定	2/5
Language/言語 フォルダー名 ファイル名 USB接続 ビデオ出力 HDMI出力	日本語 日付 RIMG MSC NTSC オート
MENU終了	

● 「҈、設定」メニュー 4



標準的な撮影のしかた

このカメラには、被写体やシーンに応じた多彩な撮影モードや機能が備わっています。ここでは最も標準的な設定(工場出荷時の初期設定)で撮影する手順を説明します。



1 電源ボタンを押す

電源が入り、静止画が撮影できる状態になります。本書ではこの状態を「静止 画撮影モード」と表記します。

2 画像モニターを確認する

画像モニター中央のフォーカスフレーム の中が、自動でピントが合う範囲です。



フォーカスフレーム

カメラが人物の顔を検出すると、顔検出機能が働き、顔検出枠が表示されます(p.68)。



顔検出枠

右 (T) 被写体を拡大して写す

左 (W) 被写体を広い範囲で写す

3 シャッターボタンを半押しする

周囲が暗い場合はAF補助光が発光します。

ピントが合った位置で、フォーカスフレーム (または顔検出枠) が緑色に変わります。



4

3

シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

フラッシュは、明るさに応じて自動的に発光します。

撮影した画像は画像モニターに一時的に表示(クイックビュー、p.61) された後、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに保存されます。



- グリーンボタンを押すと、すべての撮影条件をカメラが自動設定する
 (グリーン)モードに切り替わります(p.69)。
- 手ぶれの危険がある場合には、シャッターボタンを半押ししたときに AU
 が表示されます。

シャッターボタンの押しかた

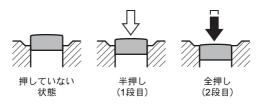
シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

半押し

シャッターボタンを1段目まで軽く押した状態です。ピント位置と露出がロックされます。半押しのときにピントが合うと、画像モニターに緑色の枠が点灯します。ピントが合っていないときは、白い枠が点灯します。

全押し

シャッターボタンを2段目まで押しきった状態です。撮影が行われます。



ピント合わせの苦手な条件

写したいものが下の例のような条件にある場合は、ピントが合わないことがあります。その場合はいったん撮りたいものと同じ距離にあるものにピントを固定(シャッターボタン半押し)し、その後撮りたい位置に構図を戻してシャッターを切ります。

- 青空や白壁など極端にコントラストが低いもの
- 暗い場所、あるいは真っ暗なものなど、光の反射しにくい条件
- ・ 細かい模様の場合
- 非常に速い速度で移動しているもの
- ・ 遠近のものが同時に存在する場合
- 反射の強い光、強い逆光(周辺が特に明るい場合)

クイックビューとまばたき検出

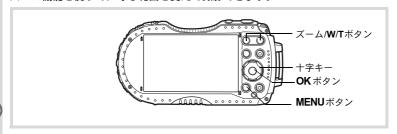
撮影直後には、撮影した画像が画像モニターに一時的に表示(クイックビュー)されます。顔検出機能(p.96)が働いているときに、被写体が目を閉じたとカメラが認識すると、「目を閉じていました」というメッセージが3秒間表示されます(まばたき検出)。



- 顔検出が行われなかったときは、まばたき検出も行われません。また顔検 出した場合でも、検出した顔の条件によってまばたき検出ができないこと があります。
- まばたきを検出しないように設定することもできます(p.99)。

ズームを使って撮影する

ズーム機能を使って、写る範囲を変えて撮影できます。



ロモードでズーム/W/Tボタンを押

ズーム倍率

す

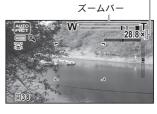
左 (**W**) 広角:

被写体を広い範囲で写す

右(**T**) 望遠:

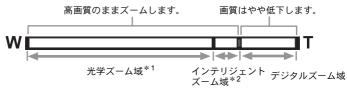
被写体を拡大して写す

右(T)を押し続けると、自動的に光学ズームからインテリジェントズームに切り替わり、デジタルズームの切り替わり点で止まります。



いったんボタンを離して、もう一度押すとデジタルズームになります。 メニュー内でデジタルズームをオフにすると、光学ズーム+インテリジェント ズームの領域が使用可能です。記録サイズによりインテリジェントズームの倍 率は異なります。

ズームバーは、次のように表示されます。



- *1 光学4倍までズームできます。
- *2 記録サイズにより、インテリジェントズーム域は変化します。次の表をご覧ください。

記録サイズと最大ズーム倍率

記録サイズ	インテリジェントズーム (倍率は光学4倍を含む)	デジタルズーム
16M / 12M (52) / 12M (63)	不可(光学4倍のみ)	
7m / 5m (50)	約6倍	
5m / 4m (m)	約7.1倍 約28.8億	
3м	約9倍	
2м 1659	約9.6倍	
1280 (※)	不可(光学4倍のみ)	
1024	約18倍	約28.8倍相当
640	約28.8倍(デジタルズームと同じ)	

(※) **||| (CALS)** モード設定時のみの記録サイズ



- 高倍率の撮影では、手ぶれを防止するため三脚などのご利用をおすすめします。
- デジタルズーム領域で撮影すると、光学ズーム領域で撮影したときよりも 画像が粗くなります。
- 設定できる機能について、詳しくは「各撮影モードの機能対応」(p.198)を ご確認ください。
- インテリジェントズームで高倍率に拡大すると、画像モニターの画像が粗く見えることがあります。撮影した静止画の画質には、影響はありません。
- デジタルズームの設定(オン/オフ)に関係なく、インテリジェントズームは使用可能です。

デジタルズーム機能を設定する

初期設定では、デジタルズームは ☞ (オン) に設定されています。光学ズームとインテリジェントズーム領域だけを使って撮影したい場合は、□ (オフ) に設定します。

1 ロモードでMENUボタンを押す

「▲撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー (▲▼) を押して「デジタルズーム」を選ぶ

イ 十字キー(◀▶)で ☑ (オン) / □ (オフ)を切り替える

□ (オフ) 光学ズームとインテリ ジェントズームだけを使 用する 設定が保存されます。

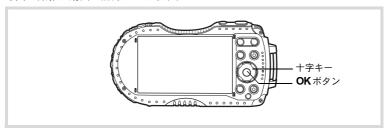
4 MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

デジタルズーム機能の設定を保存する ☞p.119

撮影モードを設定する

このカメラには、多彩な撮影モードが用意されています。撮影モードパレットで撮影するシーンに合った撮影モードを選ぶだけで手軽にぴったりの雰囲気の写真の撮影、動画の記録ができます。



- - 撮影モードパレットが表示されます。
- **2** +字キー (▲▼ **◆**▶) で撮影モード を選択する

画像モニターの下部に、選んだ撮影モードの説明が表示されます。



3 OK ボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

	項目	内容		参照	
		カメラが以下の15個のシーンから適切なシーン を自動的に判断して撮影します。			
		標準	企 無 夜景	を を ポートレート	
		風景	花	ポートレート	
AUTO PICT	オートピクチャー	スポーツ	キャンドル ライト	青空	_
		人物×青空	人物×逆光	夕焼け	
		人物×夕焼け	集合写真	テキスト	
		撮影されます	t.	場合は、自動的に	
P	プログラム	一般的な撮影に適しています。シャッター速度と絞り値はカメラが自動的に設定して撮影しますが、フラッシュの発光方式や記録サイズなどその他の機能は自由に設定できます。			
Tv	シャッター優先	シャッター速度 す。	を任意の値に設	定して撮影しま	p.71
USER	USER	任意に登録した	設定で撮影しま	す。	p.72
HDR	HDR	3枚撮影して合 クレンジを表現		広いダイナミッ	
	手持ち夜景	手ぶれの少ない	夜景を撮影しま	す。	_
,2	動画	動画を撮影します。音声も同時に記録されます。 ょ		p.109	
•	マーメード	水中での撮影に	適しています。		p.107
£	マーメード ムービー	水中での動画撮	影に適していま	す 。	p.107
<u>\$</u>	デジタル顕微鏡	定)		ます。(2m 🔞 固	p.74
	風景	風景の撮影に適 をより鮮やかに		々の緑と空の青	_
类	花	花の撮影に適し に表現します。	ています。花の	輪郭を柔らかめ	_

	項目	内容	参照
2	ポートレート	人物の撮影に適しています。肌色を健康的に仕 上げます。	_
9	インターバル撮影	設定した間隔で自動的に撮影します。	p.75
.2 %	インターバル動画	設定した間隔で自動的に静止画を撮影し、動画 として記録します。	p.114
HS	ハイスピードカメ ラ	スローモーションの動画を撮影します。	p.117
, \$ \$	早送り動画	早送りで再生される動画を撮影します。	p.116
	1cmマクロ動画	近距離での動画撮影に適しています。	p.118
(2)	高感度	ぶれを軽減して撮影するために、より高い感度 を使用します。	
•	サーフ&スノー	砂浜や雪山など、背景の明るい場所での撮影に適しています。	_
Ŷ	キッズ	動きの多い子供を撮影するのに適しています。 肌色を健康的に仕上げます。	
*	ペット	動き回るペットの撮影に適しています。	p.74
×	スポーツ	スポーツなど動きの速い被写体の撮影に適しています。撮影するまでピントを合わせ続けます。	_
7	夜景	夜景の撮影に適しています。ぶれに注意して三 脚などで固定して撮影してください。	_
A	夜景ポートレート	夜景での人物撮影に適しています。ぶれに注意 して三脚などで固定して撮影してください。	_
*	花火	花火の撮影に適しています。ぶれに注意して三 脚などで固定して撮影してください。	_
¥1	料理	料理の撮影に適しています。より鮮やかに仕上げます。	
	CALS	建設CALSに準拠した電子納品に適したサイズ (1280×960)で記録します。	_

[※] 上記の他にグリーンモード (p.69) があります。



- ・ ② (プログラム)、Tv (シャッター優先)、『(夜景)、常 (動画)、 ⑥ (デジタル 顕微鏡)、 (三) (手持ち夜景)、 ◎ (インターバル撮影)、 ^(本) (インターバル 動画)、 (高) (高感度)以外の撮影モードでは、彩度、コントラスト、シャープネ ス、ホワイトバランスなどが自動的に各モードに最適な値に設定されてい ます。
- 撮影モードによっては、一部の機能が設定できなかったり、設定できても動作に反映されない場合があります。詳しくは、「各撮影モードの機能対応」(p.198)をご確認ください。
- 選択した撮影モードの説明を表示させないようにすることができます (p.178)。
- 暗いシーンの撮影は、シャッター速度が遅くなります。手ぶれを防ぐには、 手ぶれ補正機能(Shake Reduction)(p.95)を設定するか、カメラを三脚に 取り付け、セルフタイマー(p.76)もしくはリモコン(p.78)を使った撮影が 有効です。

顔検出機能を利用する

顔検出機能は、カメラが人物の顔を検出すると、画像モニター上の顔の位置に黄色の顔検出枠を表示し、ピント合わせ(顔検出AF)と露出補正(顔検出AE)を行います。

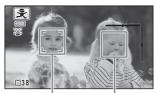
顔検出枠は、被写体の人物が動くと、顔を追 尾して位置や大きさが変化します。

人物の顔は最大32人まで検出できます。複数の顔を検出した場合は、メインの顔に黄色の枠が表示され、他の顔には白い枠が表示されます。枠は、メイン枠・白い枠を合わせて最大31個まで表示できます。

顔検出機能を設定する ☞ p.96



複数の顔を検出した場合



メイン枠 白い枠

簡単撮影モードで撮影する(グリーンモード)

- (グリーン) モードでは、「**△**撮影」メニューの設定に関係なく、標準設定で 手軽に撮影を楽しめます。
- ●モードの設定値は、以下のとおりです。

フラッシュモード	⅓ (オート)
ドライブモード	□ (標準)
フォーカスモード	AF(標準)
情報表示	通常表示
Shake Reduction	センサーシフト
記録サイズ	<u>12м</u> (4608 × 2592)
ホワイトバランス	AWB (オート)
AFエリア	[](マルチ)
オートマクロ	☑ (オン)
AF補助光	☑ (オン)
測光方式	◎ (分割測光)
画像仕上	鮮やか
画質	★★ (ファイン)
ハイライト補正	オート
シャドー補正	オート

感度	AUTO (125-1600)
露出補正	±0.0
まばたき検出	☑ (オン)
デジタルズーム	☑ (オン)
クイックビュー	☑ (オン)
シャープネス	 - - - - - - - - - -
彩度	 (標準)
コントラスト	 (標準)
日付写し込み	オフ
超解像	☑ (オン)
マクロ照明	□ (オフ)
顔検出	②(顔検出オン)
電子水準器	□ (オフ)
コンバージョン レンズ	□ (オフ)

ロモードでグリーンボタンを 押す

●モードに切り替わります。 もう1回グリーンボタンを押すと、■モー ドに入る前の撮影モードに戻ります。 カメラが人物の顔を検出すると、顔検出機 能が働き、顔検出枠が表示されます。



2 シャッターボタンを半押しする

(p.68)

ピントが合った位置で、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わりま す。

3 シャッターボタンを全押しする 撮影されます。



- モードを利用する場合は、「「撮影 |メニューの「グリーンボタン」に● モードを登録しておきます(p.100)(初期設定では ■ モードに設定されて います)。
- モードで MENU ボタンを押すと、「→ 設定」メニューが表示されます。 「▲撮影」メニューは表示できません。
- ・ 撮影モードを モードにしたまま電源を切ると、次回も モードで起動 します。

シャッター速度を変えて撮影する(シャッター優先 モード)

シャッター速度を任意に変更し、被写体の動きを表現したいときに使用します。

- 撮影モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で「V(シャッ ター優先) を選ぶ
- 2 OK ボタンを押す Tv モードになります。



3 動画ボタンを押す

シャッター速度を調整する画面が表示されます。

4 十字キー(▲▼)でシャッター速度 を変更する



5 OK ボタンを押す

シャッター速度が決定し、撮影できる状態になります。



- 感度はAUTOに固定されます。
- 感度AUTO調整範囲は125-1600に固定され、変更できません。
- フラッシュモードの $\mathbf{4}^{A}(\mathbf{1}-\mathbf{1})/\mathbf{4}^{A}(\mathbf{1}-\mathbf{1}+\mathbf{1}+\mathbf{1})$ は選択できません。



シャッター速度が1/4秒より遅い値に設定された場合には、画像のざらつき やムラを減らす処理(ノイズリダクション)が行われます。

USER(ユーザー)モードを利用する

USERモードを登録する

現在のカメラの設定を登録し、撮影モードをUSERに設定するだけで簡単に呼び出すことができます。

登録できる設定は以下の通りです。

- 撮影モードP(初期設定)/Tv
- 露出補正値
- シャッター速度(**Tv**モードのときのみ)
- 「□撮影」メニューの設定
 - フラッシュモード
 - ドライブモード
 - フォーカスモード
 - MF位置

3

- オートブラケットの露出補正値幅
- 測距点位置
- 感度
- 画像モニターの情報表示
- **1** 撮影モードを**P**またはTvに設定する (p.65)



撮影モードが上記以外に設定されているときは、USERモード登録はできません。

- 2 登録する機能を設定する
- **3** 「****設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「USERモード登録」 を選び、十字キー(▶)を押す

「USERモード登録」画面が表示されます。

4 十字キー(▲)で「登録」を選ぶ

USERモード登録 現在の撮影設定を USERモードに登録します 登録 キャンセル

OK決定

5 OK ボタンを押す

登録処理が開始されます。 登録が終わると、撮影モードに戻ります。

USERモードで撮影する

1 撮影モードパレットから、十字キー (▲▼ **∢**▶) でUSERを選ぶ



2 OKボタンを押す

登録されている設定が呼び出されます。 設定は必要に応じて変更します。

3 撮影する



USERモードで変更した設定は、撮影モードがUSERのときだけ有効です。他の撮影モードに変更したり、電源を切ると「USERモード登録」で登録した設定に戻ります。USERモードの登録内容を変更する場合は、再度「USERモード登録」で登録してください。

♥ (ペット) モードでは、ペットを検出すると、自動的にシャッターが切れます。

- **1** 撮影モードパレットから、十字キー(▲▼ ◀▶)で [®] (ペット)を選ぶ
- 2 OK ボタンを押す

®。(ペット) モードが選択され、撮影できる状態になります。 カメラがペットを検出すると、自動で撮影されます。

デジタル顕微鏡モードで撮影する

● (デジタル顕微鏡) モードでは、最短1cmの至近距離まで被写体に近づくことができ、またレンズ周囲に配置されたマクロ照明用LEDが常に発光するので、活字や葉脈、小さな昆虫標本などを細密に撮影することができます。



3

撮影

撮影環境によっては、マクロ照明用LEDの照明にムラが生じたり、光量が不 足することがあります。

- **1** 撮影モードパレットから、十字キー(▲▼ ◀▶)で<u>嗡</u> (デジタル 顕微鏡)を選ぶ
- **OK ボタンを押す** デジタル顕微鏡モードになり、撮影できる状態になります。
- 3 ズーム/W/Tボタンを押す

T側を押すと拡大します。

最大で9.6倍(*) まで拡大できます。

- (*) インテリジェントズーム含む。光学ズームは4倍まで
- 左(W) 広角 被写体を広い範囲で写す
- 右(T) 望遠 被写体を拡大して写す



付属のマクロスタンド (O-MS2) を取り付けて撮影すると、手ぶれを防ぐことができます (p.20)。

設定した時間間隔で撮影する(インターバル撮影)

設定した時刻から、設定した時間間隔で、設定した枚数を自動的に撮影します。

撮影間隔	10秒~99分	10秒から4分までの間は1秒単位で、4分から99分までの間は1分単位で設定できます。9秒以下に設定することはできません。
撮影枚数	2枚~ 撮影可能枚数	最大で1000枚まで設定できます。ただし撮影可能枚数以上 は設定できません。
撮影開始 時間	0分後~ 24時間後	1分単位で設定できます。撮影開始時間を0分後に設定すると、シャッターボタンを押してすぐに1枚目の画像が撮影されます。

- 1 撮影モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で、型(インタ・ バル撮影)を選ぶ
- 2 OK ボタンを押す

現在のインターバル撮影設定内容が約1分間表示されます。現在の設定のまま 撮影をする場合は手順10に進みます。

- 3 設定内容表示中に OK ボタンを押す インターバル撮影設定画面が表示されます。このとき、「撮影間隔」に選択枠 がついた状態になっています。
- 4 撮影間隔を設定する
 - 1 十字キー (▶) を押す
 - 2 十字キー (▲▼) で「分」を設定し、 十字キー(▶)を押す
 - 3 十字キー(▲▼)で「秒」を設定し、 十字キー(▶)を押す

選択枠が「撮影間隔」に戻ります。

- 5 十字キー (▼) を押す 選択枠が「撮影枚数」に移動します。
- ĥ 撮影枚数を設定する
 - 1 十字キー (▶) を押す
 - 2 十字キー (▲▼) で「撮影枚数」を設定し、十字キー (▶) を押す 選択枠が「撮影枚数」に戻ります。
- 十字キー(▼)を押す 選択枠が「撮影開始時間」に移動します。

撮影開始時間を設定する

- 1 十字キー (▶) を押す
- 2 十字キー (▲▼) で「時」を設定し、十字キー (▶) を押す
- 3 十字キー (▲▼) で「分」を設定し、十字キー (▶) を押す 選択枠が「撮影開始時間」に戻ります。
- 9 MENUボタンを押す

インターバル撮影機能の設定が保存され、撮影できる状態になります。

111

3

撮影

シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

11 シャッターボタンを全押しする

インターバル撮影を開始します。

撮影と撮影の間(撮影待機中)は、LCDオフになります。撮影待機中に雷源ボ タンを押すと、画像モニターに残りの撮影枚数と撮影間隔が表示されます。 撮影待機中に電源ボタンを押して、**MENU**ボタンを押すと、「インターバル撮 影を中止しますか?」とメッセージが表示されます。**OK** ボタンを押すと、イ ンターバル撮影が中止されます。

注意

- インターバル撮影を実行している間は、アラームが設定されていても、ア ラームは鳴りません。
- 撮影待機中に SD メモリーカードの抜き差しを行うと、インターバル撮影 は中止されます。

セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを押してから、10秒後または2秒後に撮影されます。 セルフタイマーを使って撮影するときは、カメラを三脚等に固定してください。

- シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影されます。撮影者も含めて (%) 集合写真を撮る場合などに利用できます。
- シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影されます。手ぶれを避けるた (%) めに利用できます。
- 1 ▲ モードで十字キー (▲) を押す

「ドライブモード」画面が表示されます。

2 十字キー(◀▶)でぐを選択し、十字キー(▼)を押す

3 十字キー(◀▶)で◎/◎を選択し、 OK ボタンを押す

セルフタイマーを使って撮影できる状態 になります。

カメラが人物の顔を検出すると、顔検出機能が働き、顔検出枠が表示されます。 (p.68)



4 シャッターボタンを押して撮影する

カウントダウンを開始し、画像モニターに残りの秒数が表示されます。

心の場合

セルフタイマーランプと、マクロ照明用LEDのすべてが点灯します。 撮影5秒前以降、マクロ照明用LEDが右上から順に消灯していきます。 撮影3秒前以降は、マクロ照明用LEDの消灯と同時に、セルフタイマーラン プが点滅します。

◎の場合

セルフタイマーランプ、マクロ照明用LEDとも点滅します。

10秒または2秒のカウントダウン後、撮影されます。

注意

静止画撮影の場合、セルフタイマーランプの点滅中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。



- 増(動画)、 (マーメードムービー)、 橋。 (ハイスピードカメラ)、 (早 送り動画)、 (1cmマクロ動画) モードでは、10秒後または2秒後に動画 撮影が始まります。
- ・カウントダウン中にシャッターボタンを半押しするとカウントダウンを中止し、全押しするとカウントダウンをやり直します。
- ・ ③ は ■(グリーン)モードの初期設定では選べません。ただし、他の撮影 モードで③を選んでから、撮影モードを ■ モードに切り替えると、選べる ようになります。
- [®] (ペット)モードでは、セルフタイマーランプやマクロ照明用 LED は点 灯・点滅しません。
- ・以下の場合は、カウントダウンに関係なく、マクロ照明用 LED は点灯し続けます。
 - ・ 撮影モードが 🚳 (デジタル顕微鏡)、🍇 (1cmマクロ動画)モードの場合
 - ・ 撮影メニューの「マクロ照明」を ☑ (オン)に設定している場合
- 撮影モードによっては、心/② は選択できません。詳しくは、「各撮影モードの機能対応」(p.198)をご確認ください。

9	連続撮影	1枚撮影するごとに、画像をメモリーに書き込み、続いて次の静 止画を撮影します。高画質の画像ほど、撮影間隔が長くなります。
THS	高速連写	記録サイズを 5M (2592×1944) / 4Mm (2592×1464) に固定し、「連続撮影」より速い速度で撮影します。

※連続して撮影できる枚数と撮影コマ速度は、撮影条件により変わります。

「ドライブモード」画面が表示されます。

2 十字キー (◀▶) を押して、□/ 喩を選択し、OK ボタンを押す 連続撮影/高速連写できる状態になります。

3 シャッターボタンを押して撮影する

シャッターボタンを押し続けている間、連続して写真が撮影されます。

注意

3

撮影モードによっては、□」/刪は選択できません。詳しくは、「各撮影モードの機能対応」(p.198) をご確認ください。



- はSDメモリーカードまたは内蔵メモリーがいっぱいになるまで、連続撮影できます。
- □の撮影間隔は、記録サイズや画質の設定によって異なります。
- ・ ピント・露出・ホワイトバランスは、1枚目で固定されます。
- 顔検出機能(p.96)がオンの場合は、1枚目の撮影時のみ顔検出機能が働きます。
- まばたき検出は、最後に撮影された画像に対して行われます。
- ・ 鴨の記録サイズは、 SM / 4MBの に固定されます。ただし、撮影モードが (CALS) に設定されているときは、「280 に固定されます。

リモコン(別売)を使って撮影する

リモコン(別売)を使用して、カメラから離れたところからの撮影をします。

a 3S	リモコンのシャッターボタンを押すと、約3秒後にシャッターが切れます。
ê	リモコンのシャッターボタンを押すと、すぐにシャッターが切れます。

1

ロモードで十字キー(▲)を押す

「ドライブモード」画面が表示されます。

2

十字キー(◀▶)でὧsを選択し、十字キー(▼)を押す

3 十字キー(◀▶)でἷss / ἷ を選択し、 OK ボタンを押す

セルフタイマーランプがゆっくり点滅を始め、リモコンを使って撮影できる状態になります。

カメラが人物の顔を検出すると、顔検出機能が働き、顔検出枠が表示されます(p.68)。



4 リモコンをカメラ正面のリモコン受光部に向け、リモコンの シャッターボタンを押す

ピントが合った位置で、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に変わり、 以下のタイミングで撮影されます。

■ss:セルフタイマーランプとマクロ照明用LEDが速く点滅し、約3秒後に 撮影されます。

:すぐに撮影されます。



- ・ リモコン撮影は、カメラの正面側/背面側のどちらからでもできます。
- リモコン撮影ができる距離は、カメラの正面から約4m、背面から約2mです。
- ・ 増(動画)、 (マーメードムービー)、 構。(ハイスピードカメラ)、 株(早 送り動画)、 ★(1cmマクロ動画)モードでは、もう1度シャッターボタンを押すと撮影が終了します。
- ピントが合わなかったときでも、撮影されます。
- カウントダウン中にカメラのシャッターボタンを半押しするとカウント ダウンを中止し、もう一度リモコンのシャッターボタンを押すと、カウントダウンをやり直します。
- 撮影モードによっては、fis/fi は選択できません。詳しくは、「各撮影モードの機能対応」(p.198)をご確認ください。
- % (ペット)モードでは、セルフタイマーランプやマクロ照明用 LED は点 灯・点滅しません。

露出条件を自動で変えて撮影する(オートブラケット)

1回シャッターボタンを押すと、露出を自動的に変えた3枚の写真を連続して撮 影します。撮影した後に、写りのいい画像を選ぶことができます。

撮影の順番は、適正露出→ -1.0EV→+1.0EVとなります。

ロモードで十字キー(▲)を押す

「ドライブモード」画面が表示されます。

2 十字キー (◀▶) を押して、図 (オートブラケット) を選択し、 OK ボタンを押す

オートブラケット撮影できる状態になります。



- クイックビューがオンに設定されている場合(p.99)、撮影後に撮影された 画像がクイックビュー表示されます(p.61)。
- 撮影モードによっては、オートブラケットは選択できません。詳しくは、 「各撮影モードの機能対応」(p.198)をご確認ください。

撮影のための機能を設定する

撮影メニューを設定する

撮影のための設定は主に「☎ 撮影」メニューから行います。機能の設定方法は 各機能の説明を参照してください。

- # 静止画撮影モードでMENUボタンを押す
 - 「□撮影」メニューが表示されます。

動画モード時に**MENU**ボタンを押すと、「**2**動画」メニューが表示されます。

2 十字キーで設定する項目を選び、設定をする

設定を保存して撮影をしたいとき

3 設定完了後、MENUボタンを押す

撮影画面に戻ります。

設定が保存され、前の画面に戻ります。

Χŧ

▶モードから「N設定」メニューを表示した場合は、
・下がらいることもできます。

設定を保存して再生をしたいとき

- **3** ▶ボタンを押す
 - ▲モードからメニュー画面を表示した場合は、設定が保存され、再生できる状態になります。

変更を取り消してメニュー操作を続けたいとき

3 設定の途中でMENUボタンを押す

変更が取り消されメニュー項目を選択できます。

MENUボタンの機能は、画面の状態によって異なります。ガイド表示を参照してください。

MENU 終了 メニュー操作を終了し、元の画面に戻ります。

MENU

現在の設定のまま、ひとつ前の画面に戻ります。

MENU 取消 現在の選択を保存しないでメニュー操作を終了し、ひとつ前の画面に戻ります。

こり前の画面に戻りより

フラッシュの発光方法を選択する

4 _A	オート	暗いときや逆光のときにフラッシュが自動的に発光します。
•	発光禁止	暗いときや逆光のときでも発光しません。フラッシュが使 えない場所での撮影にご利用ください。
4	強制発光	明るさにかかわらず、常にフラッシュを発光します。
® A	オート+赤目	フラッシュの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。 自動的にフラッシュを発光します。
® ⁄	強制+赤目	フラッシュの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。 常にフラッシュを発光します。



- 撮影モードや設定したフォーカスモード、ドライブモードによっては選択できる機能が異なります。詳しくは、「各撮影モードの機能対応」(p.198)をご確認ください。
- ¼のときに顔検出された場合、自動的に®になります。
- ・赤目軽減機能を使用した場合は、本発光の前にプリ発光(予備発光)を行います。

注意

近距離撮影時にフラッシュを発光させると、フラッシュの配光にムラができる場合があります。

「フラッシュモード」画面が表示されます。 押すたびに発光方法が切り替わります。十 字キー (▲▼) でも切り替えられます。



3 撮影

2 OK ボタンを押す

設定が保存され、撮影できる状態になります。

フラッシュ撮影の赤目現象について

フラッシュ撮影で人物の目が赤く写ることがあります。これは、目の網膜にフ ラッシュの光が反射して発生する現象です。赤目現象は、人物の周りを明るく したり、撮影距離を近くして広角側で撮影すると、発生しにくくなります。ま た、フラッシュの発光方法を® (オート+赤目)や® (強制+赤目)にするの も有効です。

それでも赤目になってしまった画像は、赤目補正機能 (p.149) を使って修正 できます。

フラッシュ発光方法の設定を保存する ISF p.119

ピントの合わせ方を選ぶ(フォーカスモード)

AF	標準	被写体までの距離が40cm~∞の範囲でピント調整を行います。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
*	マクロ	被写体までの距離が10cm〜50cmの範囲でピント調整を 行います。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエ リアにあるものにピントを合わせます。
icm	1cmマクロ	被写体までの距離が1cm~30cmの範囲でピント調整を行います。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
PF	パンフォーカス	他の人に撮ってもらうときや、車や電車の窓越しに外の 風景を撮るときなどに使用します。手前から奥までピン トが合うようになります。
A	無限遠	遠くにあるものを撮影するときに使用します。フラッシュは®(発光禁止)となります。
MF	マニュアル フォーカス	手動でピントを合わせます。

ロモードで十字キー(▶)を押す

「フォーカスモード」画面が表示されます。 押すたびにフォーカスモードが切り替わ ります。十字キー(▲▼)でも切り替えら れます。



2 OK ボタンを押す

設定が保存され、撮影できる状態になります。



- ・撮影モードによって、選択できる機能が異なります。詳しくは、「各撮影モードの機能対応」(p.198)をご確認ください。
- ・ 僧(動画)、 (□ (マーメードムービー)、 橋 (ハイスピードカメラ)、 (株 (早送り動画)、 (1cmマクロ動画)モードでフォーカスモードの (1cmマクロ動画)モードでフォーカスモードの (1cm) トラスモードの (1cm) と選択した場合、撮影中のピント合わせ時の作動音が音声録音に入ります。
- オートマクロをオンのときにるを選択して撮影する場合、被写体までの距離が50cmより遠いと、自動的に∞(無限遠)までのピント合わせが行われます。

フォーカスモードの設定を保存する ISF p.119

手動でピントを合わせる(マニュアルフォーカス)

MFでのピント合わせを説明します。

- **2** +字キー(▶)を押してMFを選ぶ
- 3 OK ボタンを押す

画面中央部が画像モニターいっぱいに拡大して表示されます。

十字キー (▲▼) を押す画像モニターにMFバーが表示され、おおよその距離が表示されます。これを目安に 十字キー (▲▼) でピントを合わせます。

- ▲ 遠くにピントが合う
- ▼ 近くにピントが合う



MFバー

5 OK ボタンを押す

フォーカス位置が決定し、撮影できる状態になります。 フォーカス位置を決定させた後、もう一度十字キー(▶)を押すと、**MF**バーが表示され、ピントを合わせ直すことができます。



MFバーが表示されている間は、撮影モードやドライブモードを変更できません。





MFから他のフォーカスモードに切り替えるときは、MFバーが表示されている間に十字キー(▶)を押してください。

オートフォーカス範囲を設定する(AFエリア)

オートフォーカスの対象となる範囲(AFエリア)を設定します。

Γ	7	マルチ	通常範囲に設定します。
[]]	スポット	フォーカスが合う範囲を狭くします。
≡ €	3	自動追尾	動き回る被写体にフォーカスを合わせ続けます。

- **1** 「**□**撮影」メニューから、十字キー(▲▼)で「AF」を選ぶ
- **2 十字キー(▶)を押す** 「AF」画面が表示されます。
- **4 十字キー (▶) を押す** ポップアップが表示されます。
- **5** 十字キー (▲▼) でAFエリアを選ぶ
- **OK ボタンを押す** 設定が保存されます。



撮影モードによって、選択できる機能が異なります。詳しくは、「各撮影モードの機能対応」(p.198) をご確認ください。

オートマクロを設定する

オートマクロを ♥ (オン) に設定すると、フォーカスモードが **AF** (標準) のときでも、必要に応じてマクロ域(被写体までの距離が 10cm ~ 50cm) までのピント調整を行います。

オフに設定すると、フォーカスモードが**AF**(標準)の場合、AF動作は標準域のみとなり、マクロ域でのピント調整は行いません。

フォーカスモードが**3** (マクロ)、**3** (1cmマクロ) の場合、それぞれのマクロ域 のみのピント調整になり、標準域でのピント調整は行いません。

- ¶
 「□撮影」メニューから、十字キー(▲▼)で「AF」を選ぶ

3

撮影

4 十字キー(◀▶)で「☑(オン)/□(オフ)」を切り替える 設定が保存されます。

AF補助光を設定する

AF補助光は、周囲が暗い場合に自動的に発光します。AF補助光のオン/オフを設定します。

- **1** 「ロ撮影」メニューから、十字キー(▲▼)で「AF」を選ぶ
- **3** 十字キー (▲▼) で「AF補助光」を選ぶ
- AF補助光を直接見ても安全上の問題はありませんが、多少まぶしく感じますので、発光部を至近距離から直接のぞきこむことはしないでください。
- 選択した撮影モード、フォーカスモードによってはAF補助光は発光しません。詳しくは、「各撮影モードの機能対応」(p.198)をご確認ください。

画像仕上を設定する

画像仕上がりを設定します。

「鮮やか」「ナチュラル」「モノトーン」の3種類から選択します。 初期値は「鮮やか」です。

- **1** 「□撮影」メニューから、十字キー(▲▼)で「画像仕上」を選ぶ
- **2** 十字キー (▶) を押す ポップアップが表示されます。
- **3** +字キー(▲▼)で仕上がりを選ぶ
- **OK ボタンを押す** 設定が保存されます。



「モノトーン」を選択すると、「彩度」の代わりに色の感じを設定する「調色」が撮影メニューに表示されます。

記録サイズを選択する

静止画像の記録サイズ(横×縦の画素数)を選択します。

記録サイズが大きいほど、プリントしたときに、より鮮明な画像が得られます。ただし、写真の美しさ、鮮明さは画質や露出制御、使用するプリンターの解像度なども関係するので、むやみに大きくする必要はありません。はがきサイズにプリントする場合は、「3MI 程度が目安です。記録サイズが大きくなるほど、画像が大きくなりファイルサイズも増えます。

次の表を参考に、用途に応じて適切な「記録サイズ」を設定してください。

記録サイズ		用途
16м 4608×3456	A	、フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリ
12м 📺 3456×3456		ント、画像編集などの加工用など
12м 📾 4608×2592		
7m 3072×2304		
<u>5м</u> छ 3072×1728	ج	
5м 2592×1944	まれ	
4м 📾 2592×1464		
зм 2048×1536	鮮明	はがきサイズプリントなど
<u>2м</u> гозо 1920×1080		
1280× 960		
1024 1024× 768		
640× 480		ホームページ掲載、電子メール添付など

- 初期設定は、<u>12mm</u>です。
- 1280 は (CALS) モード設定時だけの記録サイズです。メニューには表示されません。



3

|16M / 7M / 5M / 3M / 1024 / 640 を選ぶと、画像の横縦比が4:3になり、撮影/再生時の画像モニターの表示は右のようになります。



1 「□撮影」メニューから、十字キー(▲▼)で「記録サイズ」を選ぶ

2 +字キー (▶) を押す

ポップアップが表示されます。

- **3** +字キー (▲▼) で記録サイズを選ぶ
- **OK ボタンを押す** 設定が保存されます。

撮影モードによって、設定できるサイズが異なります。詳しくは、「各撮影 モードの機能対応」(p.198) をご確認ください。

静止画の画質を選択する

用途に合わせて、静止画の画質を選びます。

★が多いほど画像はきれいですが、画像データのサイズも増えます。データのサイズは、選んだ記録サイズによっても異なります (☞p.87)

画質

***		圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。
**	ファイン	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適し ています。(初期値)
*	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作 成用に適しています。

- **1** 「□撮影」メニューから、十字キー(▲▼)で「画質」を選ぶ
- **2** 十字キー (▶) を押す ポップアップが表示されます。

- 3
- 十字キー(▲▼)で画質を切り替える

上部の撮影可能枚数に、選んだ画質で撮影できる枚数が表示されます。

4 OK ボタンを押す

設定が保存されます。

ホワイトバランスを調整する

撮影時の光の状態に応じて、画像を自然な色合いに調整する度合いを設定しま す。

AWB	オート	カメラが自動的に調整します。
崇	太陽光	太陽の下で撮影するときに設定します。
<u> </u>	日陰	日陰で撮影するときに設定します。
<i>-</i> ጱ-	白熱灯	蛍光灯以外の照明器具や白熱灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
黨D	昼光色蛍光灯	
Ψ̈́Ν	昼白色蛍光灯	それぞれの種類の蛍光灯で照明されたものを撮影すると きに設定します。
祟w	白色蛍光灯	
D	マニュアル	手動で調整して撮影するときに設定します。



- ・ ホワイトバランスを AWB に設定して撮影した画像がお好みの色合いでない場合には、ホワイトバランスを AWB以外に設定してください。
- ・撮影モードによっては、ホワイトバランスが変更できない場合があります。詳しくは「各撮影モードの機能対応」(p.198)をご覧ください。
- 1 「凸 撮影」メニューから、十字キー (▲▼) で「ホワイトバランス」を選ぶ
- 2 十字キー (►) を押す
 「ホワイトバランス」画面が表示されます。
- **オ字キー (▲▼) で設定を選ぶ**設定を切り替えるたびに、選んだ色合いで
 画像モニターが表示されます。



OKボタンを押す

設定が保存されます。

蛍光灯の種類に合わせたり、マニュアルで設定する場合は、以下をご覧くださ (1)



「ホワイトバランス」の設定をよく変更する場合は、グリーンボタンのFn設 定に登録しておくとすぐに呼び出せます (p.100)。

ホワイトバランスの設定を保存する ISP.119

蛍光灯の種類を設定する

蛍光灯の種類に合わせて、 ※D(昼光色蛍光灯)、 ※N(昼白色蛍光灯)、 ※W (白色蛍光灯) から選択します。

- 「ホワイトバランス」画面で十字キー(▲▼)を押して、「※D(昼 光色蛍光灯)」を選ぶ
- 2 十字キー(▶)を押す
- 3 十字キー(▲▼)で蛍光灯の種類を選ぶ
- 4 OK ボタンを押す 設定が保存されます。



蛍光灯の種類を変更したときは、ホワイトバランス画面に表示されるアイコ ンも変更されます。

マニュアルで設定する

あらかじめ、白い紙などホワイトバランスの調整に用いる素材を用意しておき ます。

- 1 「ホワイトバランス」画面で十字キー(▲▼)を押して □(マニュアル)を選ぶ
- 2 ホワイトバランスの調整に用いる素材(白い紙など)にレンズを 向け、画像モニター中央に表示されている枠の中いっぱいに素材 が入るよう、カメラを構える

3 シャッターボタンを全押しする

ホワイトバランスが自動的に調整されます。

4 OKボタンを押す

設定が保存され、「▲撮影」メニューに戻ります。

測光方式を設定する

画面のどの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定します。

0	分割測光	画面内を256分割して明るさを測り、露出を決めます。
0	中央重点測光	画面の中央に重点を置きつつ、画面全体の明るさを均等に 測って露出を決めます。
•	スポット測光	画面の中央だけの明るさを測り、露出を決めます。

- **1** 「**□**撮影」メニューから、十字キー (▲▼) で「測光方式」を選ぶ
- **3** 十字キー (▲▼) で測光方式を選ぶ
- 4 OK ボタンを押す

設定が保存されます。



- ・測光は、シャッターボタンを半押ししたときに行われ、露出が決定されます。
- ・ 画面の中央にない被写体を「スポット測光」を利用して適正露出で撮影したいときは、いったん被写体を画面中央に置き、シャッターボタンを半押しして露出を固定してからカメラを動かし、撮りたい構図を決めます。
- ・撮影モードによっては、測光方式が変更できない場合があります。詳しくは「各撮影モードの機能対応」(p.198)をご覧ください。

測光方式の設定を保存する ☞p.119

感度を設定する

撮影する場所の明るさに応じて、感度を設定することができます。

AUTO	設定をカメラにまかせます(初期値: 感度 125~1600)。
125	
200	■ 感度が低い(数字が小さい)ほど、ノイズの少ない画像が得られます。暗い場所ではシャッター速度が遅くなります。
400	- よう。 HEV 7000 C162 イラン
800	
1600	
3200	感度が高い(数字が大きい)ほど、暗い場所でもシャッター速度▼ を速くできます。画像にはノイズが増えます。
6400	▼ と述べてにより。国際には2 「八が相だより。

- **1**「□撮影」メニューから、十字キー(▲▼)で「感度」を選ぶ。
- **2** 十字キー(▶)を押す
 ポップアップが表示されます。
- **3** +字キー(▲▼)で感度を選ぶ
- 4 OKボタンを押す

設定が保存されます。



- ・撮影モードによっては感度の選択ができません。詳しくは、「各撮影モードの機能対応」(p.198)をご確認ください。
- ・撮影モードが (CALS)に設定されているとき、感度 AUTO 調整範囲は 125~6400に固定されます。
- ・「手ぶれ補正(Shake Reduction)」を「デュアル」に設定している場合は、 3200/6400は選択できません。
- ・「ハイライト補正」をオンに設定すると、最低感度が2倍になります。

感度の設定を保存する ☞p.119

感度AUTO調整範囲を設定する

感度でAUTOを選択した場合の感度の範囲設定を行います。

選択できるのは125-200、125-400、125-800、125-1600、125-3200、125-6400の6種類です。

- **1** 「**△** 撮影」メニューから、十字キー(▲▼)で「感度 AUTO 調整 範囲」を選ぶ
- **2** 十字キー (▶) を押す ポップアップが表示されます。
- 3 十字キー (▲▼) で感度調整範囲を選ぶ
- 4 OK ボタンを押す

設定が保存されます。



- ・撮影モードによって、設定できる感度調整範囲が異なります。詳しくは、 「各撮影モードの機能対応」(p.198)をご確認ください。
- 「手ぶれ補正(Shake Reduction)」を「デュアル」に設定している場合は、 125-3200、125-6400は選択できません。
- ・「ハイライト補正」をオンに設定すると、最低感度が2倍になります。

露出を補正する

撮影する画像全体の明るさを調整します。

意図的に露出をオーバー(明るく)やアンダー(暗く)にして撮影するときに 利用します。

- **1** 「□撮影」メニューから、十字キー (▲▼) で「露出補正」を選ぶ
- 2 十字キー (◀▶) を押して、補正量を選ぶ
 明るくする場合は+側に、暗くする場合は-側に設定します。



- 静止画撮影/再生モードでヒストグラムを表示すると、露出が適切かどうかを確認できます(p.28)。
- ・撮影モードによっては、露出補正ができないことがあります。詳しくは、 「各撮影モードの機能対応」(p.198)をご確認ください。

露出補正の設定を保存する ☞ p.119

表現できる階調の幅を広げて白とび・黒つぶれを防ぎます。明るすぎる部分を 補正して白とびを防ぐ「ハイライト補正」と、暗すぎる部分を補正して黒つぶ れを防ぐ「シャドー補正」があります。

オート	必要に応じて、カメラが自動的に補正を行います。
オン	常に補正を行います。
オフ	補正を行いません。

「凸撮影」メニューから、十字キー(▲▼)で「D-Range設定」を選ぶ

2 十字キー(▶)を押す 「D-Range設定」画面が表示されます。

3 十字キー(▲▼)でハイライト補正 /シャドー補正を選ぶ

D-Range設定 ハイライト補正 ▶オート オート シャドー補正 MENU 🗢

- 4 十字キー(▶)を押す ポップアップが表示されます。
- 5 十字キー(▲▼)で設定を選ぶ
- OK ボタンを押す 設定が保存されます。

画像モニターにはD-Range設定のアイコ ンが表示されます。

- 「ハイライト補正」がオートまたは L: オンに設定されているとき
- 「シャドー補正」がオートまたはオ Ę, ンに設定されているとき
- 「ハイライト補正」と「シャドー補 D |正|の両方がオートまたはオンに設 定されているとき



ĥ



- ハイライト補正をオンに設定すると、最低感度が2倍になります。
- ハイライト補正/シャドー補正の設定をよく変更する場合は、グリーンボタンに登録しておくとすぐに呼び出せます(p.100)。



撮影モードによってはD-Range設定は行えません。詳しくは、「各撮影モードの機能対応」(p.198) をご確認ください。

手ぶれ補正(Shake Reduction)を設定する

撮影時の手ぶれを補正します。光学補正のみ(センサーシフト)、もしくは光学 補正と電子補正の両方を使って手ぶれを補正できます(デュアル)。初期設定は、 センサーシフトです。

センサーシフト	光学式で手ぶれを補正します。
デュアル	光学式、電子式の両方で手ぶれを補正します。
オフ	光学手ぶれ補正も電子手ぶれ補正も行いません。

- **1** 「□撮影」メニューから、十字キー(▲▼)で「Shake Reduction」を選ぶ
- **2 十字キー (▶) を押す** ポップアップが表示されます。
- 3 十字キー (▲▼) で設定を選ぶ
- **OK ボタンを押す** 設定が保存されます。



- 撮影モードが●(グリーン)モードの場合は、「センサーシフト」固定になります。
- 撮影モードが配(手持ち夜景)モードの場合は、「デュアル」固定になります。
- 次の場合、「デュアル」に設定されていると自動的に「センサーシフト」に切り替わります。また「デュアル」の設定もできなくなります。
 - ・ドライブモードが □(連続撮影)、□(高速連写)、○(セルフタイマー)のとき
 - ・ 感度が3200/6400のとき
 - フラッシュを発光するとき
 - シャッターボタンの半押しを行わずに撮影したとき
- 撮影モードが(≜)(高感度)、※(花火)、HDR (HDR)のとき
- ・ 増(動画)、(マーメードムービー)、場(早送り動画)、場(1cm マクロ動画)の手ぶれ補正設定は、Movie SR(p.112)で行います。
- 「デュアル」に設定した場合、光学式で手ぶれを補正できる場合は、光学式 手ぶれ補正が有効になります。
- 撮影モードによっては手ぶれ補正を設定できません。詳しくは、「各撮影モードの機能対応」(p.198)をご確認ください。



夜景撮影などシャッター速度が遅くなる条件では、手ぶれ補正の効果が十分に現れないことがあります。その場合は、「Shake Reduction」を「オフ」に設定し、三脚などを利用して撮影することをお勧めします。

顔検出機能を切り替える

人物の顔を検出してピントや露出を合わせます。被写体が笑顔になると自動で 撮影するように設定することもできます。初期設定は、②(顔検出オン)です。

<u>@</u>	(顔検出オン)	カメラが人物の顔を検出します。
<u>@</u>	(スマイルキャッ チ)	被写体が笑顔になると自動で撮影します。
	(自分撮りアシス ト)	カメラが人物の顔を検出すると、マクロ照明用LEDが点滅します。画面内のどの位置で顔検出をしているか、LEDの点滅位置で示します。
<u></u>	(自分撮りアシス ト + ス マ イ ル キャッチ)	カメラが人物の顔を検出すると、マクロ照明用LEDが点滅します。また、被写体が笑顔になると自動で撮影します。
	(顔検出オフ)	カメラが人の顔を検出しません。

1「□撮影」メニューから、十字キー(▲▼)で「顔検出」を選ぶ

2 +字キー(▶)を押す。

ポップアップが表示されます。

3

十字キー(▲▼)で設定を選ぶ

4

OKボタンを押す

設定が保存されます。

画像モニターには、顔検出設定のアイコンが表示されます。

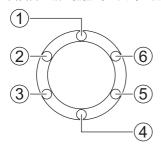


- サングラスなどで被写体の顔の一部がさえぎられている場合や、顔の向きが正面ではない場合は、顔検出AFと顔検出AEが働かないことがあります。
- 被写体の顔が検出できない場合は、選択されている AF エリアでピントを 合わせます。
- 「スマイルキャッチ」機能がオンの場合、検出した顔が小さすぎるなどの条件によっては「スマイルキャッチ」機能が働かず、自動的にシャッターが切れないことがあります。その場合はシャッターボタンを押すと、シャッターが切れます。
- ♥ (ペット)モードでは、ペット検出に切り替わります(1匹のみ)。
- ・撮影モードによっては顔検出機能を選択することができません。詳しくは、「各撮影モードの機能対応」(p.198)をご確認ください。

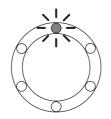
自分撮りアシスト機能を利用する

⑤(自分撮りアシスト)または
②
⑥(自分撮りアシスト+スマイルキャッチ)では、カメラが顔を検出するとLEDが点滅します。また、画面内のどの位置で顔検出をしているか、LEDの点滅位置で示します。

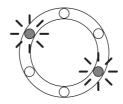
画面内の顔の位置(エリア)と点滅するLEDは次のように対応しています。



2	1	6
3	4	5



例2. 画面内の②と⑤のエリアで2人を検出したとき





- ・同じエリア内で2人を検出した場合は、隣のエリアでより近い方のLEDが 点滅します。
- ・ LEDの点滅で位置を示せるのは、3人までです。
- 4人検出した場合は4つ、5人検出した場合は5つ、6人以上検出した場合は6つLEDが点滅します(検出した位置は示しません)。
- ・ **圏**(オートピクチャー)モードの場合、シャッターを半押しした後に顔検出をしないモードと判定されると、LEDは消灯します。
- 自分撮りアシスト機能をオンにしている場合、エコモードの設定時間を過ぎてもLEDは消灯しません。
- ・ 検出した顔が小さすぎると、LEDは点滅しません。

まばたき検出を設定する

顔検出機能が働いたときに、まばたき検出を行うかどうかを設定します。初期 設定は☞ (オン) です。

¶
「□撮影」メニューから、十字キー(▲▼)で「まばたき検出」を選ぶ

2 +字キー (◀▶) で☑ (オン) /□ (オフ) を切り替える

☑ (オン) まばたき検出する

□ (オフ) まばたき検出しない

設定が保存されます。

まばたき検出 ☞p.61



撮影時にまばたき検出が行われた場合は、クイックビュー時に「目を閉じていました」と3秒間表示されます。

クイックビューを設定する

撮影直後に画像を表示するクイックビューを表示するかしないかを設定します。初期設定は♥(オン:表示する)です。

- **1**「□撮影」メニューから、十字キー(▲▼)で「クイックビュー」
 を選ぶ
- **2** +字キー (◀▶) で☑ (オン) /□ (オフ) を切り替える

☑ (オン) クイックビューを表示する

□ (オフ) クイックビューを表示しない

設定が保存されます。

クイックビュー ☞p.61

グリーンボタンに「グリーンモード」(p.69)、「Fn設定」(p.100) のいずれかの機能を登録できます。グリーンボタンを押すだけで、登録されている機能に切り替わります。



3

撮影

撮影モードが

(グリーン) モードの場合は、撮影メニューの「グリーン ボタン」の設定ができません。

以外の撮影モードに切り替えてから設定
をしてください。

グリーンボタンに機能を登録する

- 1 「□撮影」メニューから、十字キー(▲▼)で「グリーンボタン」 を選ぶ
- **2 +字キー (▶) を押す** ポップアップが表示されます。
- オ字キー (▲▼) で登録する機能を 選ぶ



4 OK ボタンを押す

設定が保存されます。



初期設定では、グリーンモードが登録されています。

よく使う機能を十字キーに設定する(Fn設定)

よく使う機能を十字キーに登録します。撮影時にメニューを表示しなくても、十字キーを押すことで直接機能を設定することができます。

「Fn設定」は静止画撮影モードと動画モードで設定が異なります。動画モードでの「Fn設定」を行うには、p.100の手順1の前に、動画モードで**MENU**ボタンを押し、十字キー(◀▶)で「増撮影」メニューを表示させてください。

3 +字キー(▲▼)で「Fn設定」を選ぶ

4 OK ボタンを押す

Fn設定画面が表示されます。

5 +字キー (▲▼) で登録するキーを 選ぶ

グリーンボタン ■ ▶回Fn設定

- + ④ 図露出補正 + ⑦ □記録サイズ + ④ ♣ 画質
- + ④ ≛画質 + ⊙ WBホワイトバランス

MENU 🛨

- **6 十字キー(▶)を押す**ポップアップが表示されます。
- 7 十字キー (▲▼) で登録する機 能を選ぶ



OK ボタンを押す 設定が保存されます。



この機能は、グリーンボタンにFn設定を割り当てたときにのみ有効です。



各キーに登録できる機能は、ひとつだけです。

	静止画撮影	動画撮影
初期設定	(▲)露出補正	(▲)Movie SR
	(▼)記録サイズ	(▼)露出補正
	(◀)画質	(◀)記録サイズ
	(▶)ホワイトバランス	(▶)ホワイトバランス

Fn設定の設定可能項目

	静止画撮影	動画撮影
設定項目	露出補正	記録サイズ
	記録サイズ	Movie SR
	画質	ホワイトバランス
	ホワイトバランス	AFエリア
	感度	顔検出
	AFエリア	露出補正
	顔検出	シャープネス
	オートマクロ	彩度(調色)※
	測光方式	コントラスト
	ハイライト補正	
	シャドー補正	
	シャープネス	
	彩度(調色)※	
	コントラスト	

※撮影メニューの「画像仕上」の選択状態により、表示される項目が切り替わります。「鮮やか」か「ナチュラル」が選択されていると「彩度」、「モノトーン」が選択されていると「調色」が表示されます。

登録した機能の変更方法

撮影モードでグリーンボタンを押すと、Fn設定画面が表示されます。十字キー (extstyle lappa extstyle lappa extstyle lappa) で設定したい項目を選び、十字キー (extstyle lappa extstyle lappa) または十字キー (extstyle lappa extstyle lappa) で設定を変更します。

シャープネスを設定する

画像の輪郭をシャープまたはソフトにします。

1 「凸撮影」メニューから、十字キー(▲▼)で「シャープネス」を選ぶ

2 十字キー(◀▶)でシャープネスの強さを切り替える

<u>- · · · </u> ソフト - <u>- · · · </u> 標準

彩度/調色を設定する

色の鮮やかさ(彩度)か、色の感じ(調色)を設定します。 撮影メニューの「画像仕上」の選択状態により、表示される項目が切り替わり ます。

選択されている画像仕上	表示される項目
鮮やか、ナチュラル	彩度
モノトーン	調色

1「□撮影」メニューから、十字キー (▲▼) で「彩度 (調色)」を選ぶ

2 十字キー(◀▶)で彩度の高さ(調色では色の感じ)を切り替える

<u>---</u>* 低 (調色では青) -<u>-</u>--* 標準 (調色では白黒)

 1 「□撮影 |メニューから、十字キー(▲▼)で「コントラスト |を選ぶ

2 十字キー(◀▶)でコントラストの高さを切り替える

標進

高

3 撮影

日付写し込みを設定する

静止画撮影時に日付と時刻を写し込むかどうかを設定します。

1 「□撮影」メニューから、十字キー(▲▼)で「日付写し込み」を選ぶ

2 十字キー (▶) を押す ポップアップが表示されます。

3 十字キー(▲▼)で写し込む内容を選ぶ 「日付」「日付&時刻」「時刻」「オフ」から選択します。

 $\boldsymbol{\Delta}$ OK ボタンを押す

設定が保存されます。



- 「日付写し込み」で画像に写し込んだ日付/時刻は、あとから消去できませ
- 日付/時刻を写し込んだ画像を印刷するときに、プリンターや画像編集ソ フトで日付を印刷するように設定すると、日付/時刻が重なって印刷され ます。



- に四面と表示されます。
- 日付/時刻は、「日時設定」(p.45)で設定した表示スタイルで写し込まれま す。

超解像処理を行うかどうか設定する

超解像技術を応用した画像処理によって、より解像感のある画像を撮影できま す。

1 「□撮影」メニューから、十字キー(▲▼)で「超解像」を選ぶ

2

十字キー(◀▶)で☑(オン)/□(オフ)を切り替える

☑ (オン) 超解像処理をする

□ (オフ) 超解像処理をしない

設定が保存されます。



以下の場合は、招解像はオフ固定となります。

- ・ ドライブモードが 帰(高速連写)のとき
- 撮影モードが (手持ち夜景)のとき

マクロ照明を使うかどうか設定する

レンズ周りのマクロ照明用LEDを点灯するか設定します。

☑ (オン) のとき、LEDを点灯します。

初期設定は□(オフ:消灯)です。

1 「□撮影 | メニューから、十字キー (▲▼) で「マクロ照明 | を選ぶ

2

十字キー(◀▶)で☑(オン)/□(オフ)を切り替える

▼ (オン) LEDを点灯する

□ (オフ) LEDを消灯する

設定が保存されます。



- ⑥(デジタル顕微鏡)、● (1cm マクロ動画)モードではこの設定に関係な くマクロ照明用LEDが点灯します。
- エコモードが設定されている場合、設定時間が経過するとLEDは消灯しま
- ・
 ダ(デジタル顕微鏡)、株(1cm マクロ動画)モードでビデオ出力している 場合を除き、再生モード時およびUSB接続時はマクロ照明の設定にかかわ らずLEDが消灯します。
- マクロ照明をオンにしている場合は、(自分撮りアシスト)、(自分量 撮りアシスト+スマイルキャッチ)は選択できません。



「マクロ照明」を反(オン)に設定して、セルフタイマー(♡、◎)または リモコン(fiss、fi)での撮影を行う場合、マクロ照明用LEDは、カウントダ ウンに関係なく、点灯を続けます。

撮影

本機には、カメラの傾きを検知する電子水準器が搭載されています。

「▲撮影」メニューの「電子水準器」を 🗹 (オン) にすると、画像モニターに電子水準器を表示できます。

初期値は☑(オン)です。

1「□撮影」メニューから、十字キー(▲▼)で「電子水準器」を選ぶ

2 +字キー(**∢**▶)で**▽**(オン)/□(オフ)を切り替える

☑ (オン) 電子水準器を表示する

□ (オフ) 電子水準器を表示しない

設定が保存されます。

電子水準器 ☞p.29

コンバージョンレンズを使うかどうかを設定する

このカメラは、RICOHワイドコンバージョンレンズ DW-5 (別売)を取り付けて、0.8倍のレンズ倍率(35mm換算=広角側で20mm相当)で撮影できます。 DW-5を使用するときは、撮影メニューの「コンバージョンレンズ」を ♥ (オン) に設定しておきます。

1 「凸 撮影」メニューから、十字キー (▲▼) で「コンバージョンレンズ」を選ぶ

2 +字キー (◀▶) で☑ (オン) /□ (オフ) を切り替える

設定が保存されます。



- DW-5を装着するには、別売のレンズアダプター O-LA135が必要です。
- ・取り付け方など詳しくは、レンズアダプターO-LA135の使用説明書をご覧ください。
- ・

 (デジタル顕微鏡)、

 (1cm マクロ動画)、

 (グリーン)モードのときは、

 (オン)に設定できません。
- ・ ☑ (オン)に設定したとき、下記のように機能が制限されます。
 - ズーム:広角側固定
 - フォーカスモード:10cm~∞
 - フラッシュ:⑤固定
 - ・リモコン:使用できません
 - ・ A F 補助光:□(オフ)固定
 - ・ マクロ照明:□(オフ)固定

水中で撮影する(マーメード/マーメードムービーモード)

このカメラはJIS防水保護等級8級、JIS防塵保護等級6級(IP68)に準拠した防水・防塵性能を備えており、水深14mで連続2時間撮影できます。

- 水中で静止画を撮影するときに使います。水の青さを美しく撮影できます。☆ 水中で動画を撮影するときに使います。
- **1** 撮影モードパレットから、十字キー (▲▼ **◆**▶)で (マーメード) / (マーメードムービー) を選ぶ
- 2 OK ボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

- **3** シャッターボタンを全押しする
 - を選んだときは、静止画が撮影されます。
 - を選んだときは、動画の撮影が開始されます。録画は最大で25分まで可能です。動画の撮影を終了するときは、シャッターボタンを全押しします。 ★ (動画) モードと同様の操作で動画を撮影することができます。

動画を撮影する ☞p.109



- ・水中で撮影するときは、バッテリーカバーの防水パッキンにゴミや砂などが付着していないことを十分に確認し、バッテリーカバーをしっかりとロックしてご使用ください。
- ご使用後にバッテリーカバーを開けるときは、バッテリーカバーを含むカメラ全体に水やゴミ、砂などが付着していないことを十分に確認してください。もし付着していたら、よく拭き取ってから、カバーを開けてください。
- で撮影をするときは、SDメモリーカードはスピードクラスがClass4以上のものを使用してください。

防水・防塵・耐衝撃性能についての注意 ☞p.7



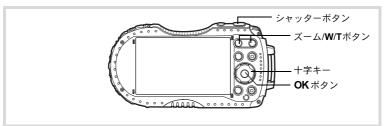
- でフォーカスモードをMFに設定している場合は、撮影開始前にも撮影中にもピントを調整することができます。
- ごの光学ズームとデジタルズームは、撮影開始前に使うことができます。
 デジタルズームは撮影中にも使うことができます。
- では、静止画を撮影するモードと写る範囲が異なります。

このカメラは防水・防塵性能を備えていますが、以下のような使い方は避けてください。瞬間的に、このカメラが保証する以上の強い水圧がかかり、内部に水が入ることがあります。

- カメラを持って水中に飛び込む
- カメラを手に持って水中を泳ぐ
- 河川の急流や滝など、勢いよく水がかかる環境で使用する

動画を撮影する

動画を撮影します。音声も同時に記録されます。



撮影モードパレットから、十字キー(▲▼ ◀▶)で、曾(動画)を選ぶ

2 OK ボタンを押す

★書(動画)モードが選択され、撮影できる 状態になります。

画像モニターに次の情報が表示されます。

- 1 動画モードアイコン
- 2 手ぶれ補正アイコン
- 3 撮影可能時間
- 4 録画中アイコン (録画中に点滅)
- **5** フォーカスフレーム(録画中は表示されません)
- 6 静止画撮影アイコン (録画中に表示されます)
- 7 電子水準器 (録画中は表示されません)

ズーム/W/Tボタンを押すと、被写体の写る範囲が変わります。

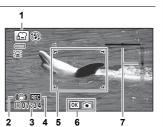
- T 被写体を拡大して写す
- W 被写体を広い範囲で写す

3 シャッターボタンを全押しする

録画が開始されます。録画は最大で25分まで可能です。

動画撮影中の静止画保存機能について

- 動画撮影中に**OK**ボタンを押すと、ボタンを押したときの映像を静止画として記録できます。
- 静止画は「▲撮影」メニューの初期値の設定で撮影されます(p.206)。



- 静止画として切り抜いた画像は、動画撮影終了後に保存されます。
- 橋 (ハイスピードカメラ)、**場** (早送り動画) のとき、または記録サイズと フレームレートを128%に設定しているときは、**OK** ボタンを押しても静止画 を撮影できません。
- 動画記録サイズにより、画角が変わる場合があります。
- 撮影条件により、画像がひずむ場合があります。

シャッターボタンを全押しする

録画が終了します。

動画を再生する ☞p.122



3

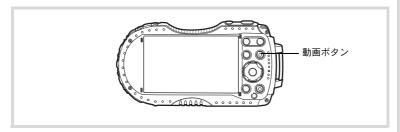
- フォーカスモードは、撮影開始前に変更することができます。
- フォーカスモードを MF (マニュアルフォーカス)に設定している場合は、 撮影開始前にも撮影中にもピントを調整することができます。
- ・撮影モードを 僧(動画)にすると、顔検出機能がオンになります。動画の撮影を開始する前にスマイルキャッチ機能を選択するか、または顔検出機能をオフにできます(p.96)。スマイルキャッチ機能が選択されている場合は、笑顔を検出すると自動的に動画の撮影が開始されます。ただし検出した顔の条件によっては「スマイルキャッチ」機能が働かず、自動的に動画の撮影が開始されないことがあります。その場合は、シャッターボタンを押すと撮影が開始されます。
- リモコン(別売)を使って撮影することもできます(p.78)。
- ・SD メモリーカードはスピードクラスが Class 4 以上のものを使用してく ださい。
- 増では、静止画を撮影するモードと写る範囲が異なります。

シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている間だけ動画が撮影されます。シャッターボタンから指を離すと撮影が終了します。

動画ボタンで簡単に動画を撮影する

このカメラでは、撮影モードパレットで **営**(動画)モードを選択しなくても、動画ボタンを押すだけで簡単に動画撮影を開始/終了することができます。撮りたいものをすぐに撮影したいときに便利です。



動画ボタンを押す

録画が開始されます。録画は最大で25分まで可能です。

2 動画ボタンを押す

録画が終了されます。



- 撮影中にシャッターボタンを押しても、撮影を終了することはできませ ん。撮影を終了するときは、必ず動画ボタンを押してください。
- 撮影モードが Tv (シャッター優先)、 (マーメードムービー)、 ラ)、 🗣 (早送り動画)、 🕾 (インターバル動画)、 🏶 (1cm マクロ動画)、 🐿 (ペット)のとき、および ▶ モードのときは、動画ボタンを押しても撮影が 開始されません。
- 動画ボタンで撮影するときは、「骨動画」メニューの初期値の設定で撮影さ れます(p.207)。

動画の記録サイズとフレームレートを選択する

動画の記録サイズとフレームレートを選択できます。

「記録サイズ」が大きいほど鮮明な画像になりますが、ファイルサイズが増えま す。また、「フレームレート」が大きい方が滑らかな動きになりますが、ファイ ルサイズが増えます。

設定	記録サイズ	フレーム レート	用途
1920gg	1920x1080	30fps	フルハイビジョンサイズ (16:9) で記録されます。 動きが滑らかに記録されます。(初期設定)
1286	1280x720	60fps	ハイビジョンサイズ (16:9) で記録されます。すば やい動きも滑らかに記録されます。
128@	1280×720	30fps	ハイビジョンサイズ (16:9) で記録されます。動き が滑らかに記録されます。

※ フレームレート (fps) は1秒あたりの画面数を表します。

「糟動画」メニューから、十字キー (▲▼)で「記録サイズ」を選ぶ

2 十字キー(▶)を押す ポップアップが表示されます。

3 十字キー(▲▼)で記録サイズとフ レームレートを選ぶ

🗅 撮影可能時間	02:26
記録サイズ 1928 Movie SR 1286 風切音低減 1288 撮影中のAF 口 撮影中の光学ズーム □	
MENU取消	OK決定

OK ボタンを押す

設定が保存されます。

以下の制限があるため、記録サイズを選択する際に表示される撮影可能時間 と、実際の連続撮影可能時間が異なる場合があります。

・1ファイルあたりの撮影可能時間は最大で25分です。

動画の手ぶれ補正を設定する(Movie SR)

(動画)、(マーメードムービーモード)、(株) (1cmマクロ動画)では、Movie SR (動画手ぶれ補正)を使って動画撮影中の手ぶれを補正することができます。

1 「増動画」メニューから、十字キー (▲▼)で「Movie SR」を選ぶ

2 十字キー (◀▶) で☑ (オン) /□ (オフ)を切り替える

☑ (オン) 自動で手ぶれ補正する □ (オフ) 手ぶれ補正しない 設定が保存されます。

□暑動画		3
	1920 ₀ ✓	•
風切音低減 撮影中のAF 撮影中の光学ズーム		
販影中の元子 ス ーム		
MENU終了		

動画撮影時の風切音を低減する(風切音低減)

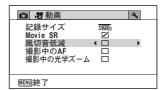
風切音を低減して録音します。 初期値は□(オフ)です。

「糟動画」メニューから、十字キー(▲▼)で「風切音低減」を選ぶ

十字キー(◀▶)で☑(オン)/□ (オフ) を切り替える

✓ (オン) 風切音を低減する

□ (オフ) 風切音低減を設定しない 設定が保存されます。



動画撮影中にピントを調整し続ける

動画の撮影中、自動で被写体にピントを合わせ続けます。動きのある被写体を 撮影するときに便利です。

初期値は□(オフ)です。

「糟動画」メニューから、十字キー (▲▼) で「撮影中の AF」を選ぶ

十字キー(◀▶)で☑(オン)/□ (オフ) を切り替える

- ☑ (オン) 常にピントを被写体に合わ せ続ける
- 動画撮影前にシャッターを □ (オフ) 半押ししてピントを固定す

☎ 糟動画 2 記録サイズ 1920 Movie SR \square 風切音低減 撮影中のAF 4 □ 撮影中の光学ズーム MENU終了

設定が保存されます。



- 動画を撮影中にピントを調整すると、動作音が録音されます。
- ♥ (オン)に設定されていると、動画撮影中の AFエリアは[](マルチ)に なります。

光学ズームを設定する

動画の撮影中に光学ズームを使用できます。 初期値は□(オフ)です。

「増動画」メニューから、十字キー(▲▼)で「撮影中の光学ズー ムーを選ぶ

2 十字キー(◀▶)で☑(オン)/□ (オフ) を切り替える

> ☑ (オン) 光学ズームを使用する □ (オフ) 光学ズームを使用しない 設定が保存されます。

☎■■	4
記録サイズ 1935 Movie SR ☑ 風切音低減 □ 撮影中のAF 撮影中のAF	
(MENII) 女 了	



設定した時間間隔で動画を撮影する(インターバル 動画)

設定した時刻から、設定した時間間隔で自動的に撮影した複数の静止画をひと つの動画ファイルとして記録します。

撮影間隔	1分、5分、10分、30分、1時間のいずれかに設定できます。
撮影所要時間	10分~359時間の間で設定できます。撮影間隔での設定によって、設定できる撮影所要時間と設定単位が変わります。撮影間隔の設定値により、1分単位、5分単位、10分単位、30分単位、1時間単位で設定できます。
撮影開始時間	0分後〜24時間後の間で1分単位で設定できます。撮影開始時間を0分後に設定すると、シャッターボタンを押してすぐに1枚目の画像が撮影されます。

- 1 撮影モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で 尽(インター バル動画)を選ぶ
- 2 OK ボタンを押す

現在のインターバル動画設定内容が約1分間表示されます。現在の設定のまま 撮影をする場合は手順10に進みます。

- 3 設定内容表示中に OK ボタンを押す インターバル動画設定画面が表示されます。このとき、「撮影間隔」に選択枠 がついた状態になっています。
- 4 撮影間隔を設定する
 - 1 十字キー (▶) を押す ポップアップが表示されます。
 - 2 十字キー (▲▼) を押して 「撮影間 隔」を設定し、OKボタンを押す 選択枠が「撮影間隔」に戻ります

5

十字キー (▼) を押す 選択枠が「撮影所要時間」に移動します。

撮影所要時間を設定する

- 1 十字キー (▶) を押す
- 2 十字キー (▲▼) で「時」を設定し、十字キー (▶) を押す
- **3 十字キー (▲▼) で「分」を設定し、十字キー (▶) を押す** 選択枠が「撮影所要時間」に戻ります。
- **7** 十字キー(▼)を押す

選択枠が「撮影開始時間」に移動します。

- 8 撮影開始時間を設定する
 - 1 十字キー (▶) を押す
 - 2 十字キー (▲▼) で「時」を設定し、十字キー (▶) を押す
 - 3 十字キー (▲▼) で「分」を設定し、十字キー (▶) を押す 選択枠が「撮影開始時間」に戻ります。
- **9** MENUボタンを押す

インターバル動画機能の設定が保存され、撮影できる状態になります。

10 シャッターボタンを押して撮影する

インターバル動画を開始します。

撮影と撮影の間(撮影待機中)は、LCDオフになります。撮影待機中に電源ボタンを押すと、画像モニターに残り撮影時間と撮影間隔が表示されます。 撮影待機中に電源ボタンを押して、MENUボタンを押すと、「インターバル撮影を中止しますか?」とメッセージが表示されます。OKボタンを押すと、インターバル動画が中止されます。



- インターバル動画撮影の前に、バッテリーが十分に充電されていることを確認してください。バッテリーが十分に充電されていないと、インターバル動画撮影中にバッテリーが消耗し、インターバル動画撮影が終了することがあります。
- インターバル動画撮影時は、記録サイズ: 1926。フレームレート: 30fps、画質: ★★★、Movie SR:□(オフ)、フラッシュモード: ③で固定されます。
- 撮影待機中に SD メモリーカードの抜き差しを行うと、インターバル動画 撮影は中止されます。
- インターバル動画では音声は記録されません。
- SDメモリーカードはスピードクラスが Class 4 以上のものを使用してください。



- 撮影開始時間を設定している間は、現在の時刻と設定した撮影開始時間に 対応した撮影開始時間がリアルタイムで表示されます。
- 撮影間隔によって設定可能な撮影所要時間は異なります。撮影間隔ごとの 設定可能な撮影所要時間は下表の通りです。

撮影間隔	設定可能な撮影所要時間
「取ぶ」り附	30fps
1分	10分~5時間59分 (1分単位で設定)
5分	30分~29時間55分 (5分単位で設定)
10分	1時間〜59時間50分 (10分単位で設定)
30分	3時間〜179時間30分 (30分単位で設定)
1時間	6時間〜359時間 (1時間単位で設定)

• インターバル動画では、日付写し込み(p.104)が可能です。

早送り動画を使用する

早送りで再生される動画を撮影します。

- 撮影モードパレットから、十字キー(▲▼ ◀▶)で祭(早送り動画)を選ぶ
- **OK ボタンを押す** 撮影できる状態になります。



- 3 シャッターボタンを全押しする 録画が開始されます。録画は連続で25分まで可能です。
- 4 シャッターボタンを全押しする 録画が終了します。





- 記録サイズは640×360固定となります。
 - フレームレートは録画するときは 15fps で固定となります。再生するとき は、240fpsで再生されます。
 - 撮影中はズームできません。
 - フラッシュは⑤固定です。
 - ・ まばたき検出、撮影中のAF、撮影中の光学ズームは□(オフ)固定です。
 - ・ g(自分撮りアシスト)、gg(自分撮りアシスト+スマイルキャッチ)は 使用できません。

ハイスピードカメラを使用する

高速で動画を撮影し、再生時にはスローで再生をします。

- 1 撮影モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で 穏。(ハイス ピードカメラ)を選ぶ
- 2 OK ボタンを押す 撮影できる状態になります。



- 3 シャッターボタンを全押しする 録画が開始されます。録画は1ファイルあたり15秒まで可能です。
- 4 シャッターボタンを全押しする 録画が終了します。



- 記録サイズは1280×720固定となります。
- フラッシュは⑤固定です。
- Movie SR、撮影中のAF、撮影中の光学ズームは□(オフ)固定です。
- SD メモリーカードはスピードクラスが Class 4 以上のものを使用してく ださい。
- 撮影中はズームできません。
- ・ ⑤(自分撮りアシスト)、② ⑤(自分撮りアシスト+スマイルキャッチ)は 使用できません。

最短1cmの至近距離まで被写体に近づいて、動画を撮影することができます。また、レンズ周囲に配置されたマクロ照明用LEDが常に発光するので、活字や葉脈、小さな昆虫標本などを綿密に撮影することができます。

注意

3

撮影環境によっては、マクロ照明用LEDの照明にムラが生じたり、光量が不 足することがあります。

- **1** 撮影モードパレットから、十字キー(▲▼ ◀▶)で № (1cm マクロ動画)を選ぶ
- **2 OKボタンを押す** 撮影できる状態になります。
- 3 ズーム/W/Tボタンを押す

T側を押すと拡大します。

最大で8倍(*)まで拡大できます。

- (*) インテリジェントズーム含む。光学ズームは4倍まで
 - 左 (W) 広角被写体を広い範囲で写す
 - 右 (T) 望遠被写体を拡大して写す
- 4 シャッターボタンを全押しする 録画が開始されます。録画は最大で25分まで可能です。
- **5** シャッターボタンを全押しする 録画が終了します。



- フラッシュは⑤固定です。
- ・ 顔検出機能、まばたき検出機能はオフ固定です。
- ・ 付属のマクロスタンド (O-MS2) を取り付けて撮影すると、手ぶれを防ぐことができます (p.20)。

設定を保存する(モー<u>ドメモリ)</u>

カメラの電源を切っても、カメラの諸設定を維持する機能を「モードメモリ」と呼びます。

撮影のための設定には、モードメモリが常に ☑ (オン) のもの (電源を切っても常に設定を維持するもの) と、モードメモリの ☑ /□ (オフ) が選べるもの (電源を切ったときに設定を維持するかどうかを選べるもの) があります。モードメモリの ☑ /□が選べる項目を表に示します (ここに示した項目以外は、電源を切っても常に設定が保存されます)。

☑ を選ぶと、電源を切る直前の設定状態が保存されます。□を選ぶと、電源を切ったときにその項目の設定が工場出荷時の状態に戻ります。表では、モードメモリの初期設定が☑ か□かも示しています。

項目	内容	初期設定	参照
顔検出モード	「▲撮影」メニューの「顔検出」で設定した 顔検出モード		p.96
フラッシュモード	十字キー(◀)で設定したフラッシュモード	¥	p.82
ドライブモード	十字キー(▲)で設定したドライブモード		p.76 ∼p.79
フォーカスモード	十字キー(▶)で設定したフォーカスモード		p.83
ズーム位置	ズーム W/T ボタンで設定したズーム位置		p.62
MF位置	十字キー (▲▼) で設定したマニュアル フォーカスでのピントの合う距離		p.84
ホワイトバランス	「 ♪ 撮影」メニューの「ホワイトバランス」 の設定		p.89
感度	「◘撮影」メニューの「感度」で設定した値		p.92
露出補正	「 ♪ 撮影」メニューの「露出補正」で設定した値		p.93
測光方式	「◘撮影」メニューの「測光方式」の設定		p.91
デジタルズーム	「 △ 撮影」メニューの「デジタルズーム」の 設定	¥	p.63
DISPLAY	OK ボタンで設定した画像モニターの情報 表示状態		p.21
ファイルNo.	オンにすると、SDメモリーカードを入れ替 えた場合でも連続したファイル番号を使用	¥	_

「モードメモリ」画面が表示されます。

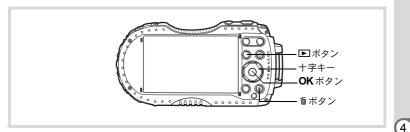
3 +字キー (▲▼) で項目を選ぶ

┦ 十字キー(◀▶)で☑(オン)/□(オフ)を切り替える

3

夫

静止画を再生する



1 撮影後に **▶** ボタンを押す

▶モードになり、撮影した画像が画像モニターに表示されます。また、▶モード時に画像が1枚だけ表示されている状態(初期状態)を「1画面表示」と呼びます。

ファイル番号



前後の画像を再生する

表示した画像を消去する

画像表示中に fi ボタンを押すと、表示中の画像を消去する画面が表示されます。十字キー(▲)を押して「消去」を選び **OK** ボタンを押すと、表示中の画像を消去できます。



その他の消去のしかた ☞p.132

動画を再生する

動画を再生します。動画再生時には、音声も同時に再生されます。

2 十字キー (▲) を押す 再生が開始します。



再生中にできる操作

十字キー(▲)

ズーム/図/Qボタン(Q) ズーム/図/Qボタン(図)

十字キー (▶) 長押ししている間

十字キー (◀) 長押ししている間

一時停止中にできる操作

十字キー (◀)

十字キー (▶)

十字キー (▲)

一時停止

音量を大きくする 音量を小さくする

早送り再生 早戻し再生

コマ戻しする(*)

コマ送りする

再生を再開

(*) コマ戻しで戻るコマの位置は、30コマごとの先頭のコマになります。例えば、2~31コマ目からコマ戻しした場合は1コマ目に、32~61コマ目からは31コマ目に戻ります。

3 +字キー (▼)を押す

再生が停止します。

注意

動画はこのカメラで撮影したもののみ再生できます。他のカメラなどで撮影した動画は再生できません。

去

4

複数の画像を表示する

6画面表示/12画面表示

複数の画像を同時に6枚または12枚ずつ画像モニターに表示します。

1 ▶ モードで、ズーム/国/スポタンの国側を押す

6画面表示になり、画像が6コマずつ1ページに表示されます。もう一度ズーム /■/Qボタンの■側を押すと、12画面表示になります。

画像は6コマまたは12コマずつ1ページに 表示され、ページ単位で表示される画像が 切り替わります。

十字キー(▲▼◀▶)で選択枠が移動しま す。1ページに表示されていない画像がある 場合は、①の画像を選択しているときに十 字キー(▲ ◀)を押すと前のページが表示 され、②の画像を選択しているときに十字 キー (▼▶) を押すと次のページが表示さ れます。

◆はその前後の画面が、別のフォルダーに 格納されていることを示しています。



6画面表示

フォルダー区切りアイコン



12画面表示

画像に表示される記号の意味は次のとお りです。

(無印)	静止画
,2	動画(1コマ目の画像を表示)
HS	ハイスピード動画(1コマ目の画像を表示)
*	早送り動画(1コマ目の画像を表示)

OK ボタンを押すと、選択した画像の1画面表示に切り替わります。 ▶ボタンを押すと、 ●モードに切り替わります。

フォルダー表示/カレンダー表示

12画面表示でズーム/図/Q ボタンの 図 側を押すと、フォルダー表示またはカレ ンダー表示に切り替わります。フォルダー表示とカレンダー表示は、グリーン ボタンで切り替えます。

1 ▶ モードで、ズーム/■/Qボタンの■側を2回押す

画面が12画面表示に切り替わります。

2 ズーム/国/Qボタンの回側を押す

画面がフォルダー表示またはカレンダー表示に切り替わります。

フォルダー表示

画像が記録されているフォルダーが一覧 表示されます。

十字キー (▲▼ ◀▶) で選択枠が移動しま す。

フォルダーを選択してズーム/■/Qボタ ンのQ. 側を押すか **OK** ボタンを押すと、 フォルダー内の画像が12画面表示されま す。

101 102 103 104 101 0707

カレンダー表示

撮影した画像が、日付ごとにカレンダー形 式で表示されます。

カレンダーには、各日付で撮影された最初 の画像が表示されます。

十字キー (▲▼◀▶) で選択枠が移動しま す。

日付を選択してズーム/M/Q ボタンのQ 側を押すと、その日付に撮影した画像が12 画面表示されます。

日付を選択して**OK**ボタンを押すと、その

日付で最初に撮影した画像の1画面表示に切り替わります。



- ・フォルダー表示/カレンダー表示でMENUボタンを押すと、12画面表示 に切り替わります。
- フォルダー表示/カレンダー表示で ID ボタンまたはシャッターボタンを 半押しすると、▲モードに切り替わります。



再生機能を使う

1 ▶ モードで十字キー (▼)を押す

再生モードパレットが表示されます。

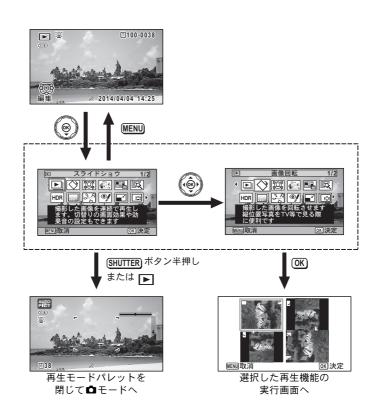
2 +字キー (▲▼ **◆**▶) でアイコンを 選ぶ

選択した機能の説明が下に表示されます。



3 OKボタンを押す

再生機能が呼び出されます。





- 再生モードパレットの各アイコンに選択枠を合わせると各機能の説明が ガイド表示されます。
- ・選択した機能の説明を表示させないようにすることができます (p.178)。

再生モードパレット一覧

再生モード			内容	参照
Þ	スライドショウ		撮影した画像を連続で再生します。切り替わりの画面効果や効果音の設定もできます。	p.128
♦	画像回	1転	撮影した画像を回転させます。縦位置写真を TVなどで見る際に便利です。	p.130
19	小顔フ	7ィルター	検出した顔が小さくなるように画像を加工し ます。	p.142
4	魚拓フ	ィルター	撮影した画像を魚拓風に仕上げます。	p.145
	コラー	-ジュ	撮影した複数の画像を1枚の画像にします。	p.146
Щ	デジタ	'ルフィルター	撮影した画像にカラーフィルターやソフト フィルターをかけて仕上げます。	p.143
HDR	HDR	フィルター	ハイダイナミックレンジ画像のような加工を します。	p.145
	オリジ	ジナルフレーム	枠の種類や色を選んで作成します。文字も入 力できます。	p.150
	動画編集	静止画保存	動画の1コマを静止画として保存します。	p.154
عرد		動画分割	1つの動画を2つに分割します。	
- 20		タイトル画像 追加	動画にタイトル画像を追加します。	
• /	赤目補正		赤目になった画像を修正します。元画像に よっては正しく補正できない場合がありま す。	p.149
	リサイ	<i>"</i> ズ	撮影した画像の記録サイズと画質を変更して、ファイルサイズを小さくします。	p.140
	トリミ	ング	画像の不要な部分を削除して好みの大きさに 変更します。新規保存されます。	p.141
D No.	画像二	ピー	内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像 のファイルをコピーします。	p.156
о-п	プロテ	-クト	消したくない画像を保護します。ただし フォーマットを行うと、消去されます。	p.135
DPOF	DPOF		撮影した画像の印刷設定をします。お店でプリントする際に便利です。	p.158
	起動画面設定		撮影した画像をカメラの起動時に表示するよう設定します。	p.179

<u>スライ</u>ドショウで連続再生する

保存されている画像と動画を連続して再生します。

- 1 ■モードに入り、十字キー(◀▶)でスライドショウを開始する 画像を選ぶ
- **2** 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で □ (スライドショウ) を選ぶ
- **3** OK ボタンを押す スライドショウの設定画面が表示されます。
- 4 十字キー (▲▼) で「スタート」を 選ぶ



5 OK ボタンを押す

スライドショウがスタートします。 スライドショウの途中で**OK** ボタンを押すと、一時停止します。もう一度 **OK** ボタンを押すと再開します。

のK ボタン以外のどれかのボタンを押す スライドショウが終了します。

スライドショウの条件を設定する

再生時の表示間隔と画像切り替え時の画面効果・効果音を設定します。

1 p.128の手順4の画面で、十字キー (▲▼)で「表示間隔」を選ぶ



2 +字キー (▶) を押す ポップアップが表示されます。

3 十字キー (▲▼) で「表示間隔」を選び、OK ボタンを押す
「3秒」「5秒」「10秒」「20秒」「30秒」から選択します。

4 十字キー(▲▼)で「画面効果」を選ぶ

「画面効果」を選択後、十字キー (▶) を押すと、次の内容がポップアップで表示されます。十字キー (▲▼) で選択し、**OK** ボタンを押すと決定します。

ワイプ	左から右へ画面が流れる効果
チェッカー	小さな四角のモザイク状のブロックで画面が切り替わる効果
フェード	現在の画像が徐々に消え、そこに次の画像が浮かび上がって くる効果
ランダム	様々な効果をランダムに
オフ	切り替え効果なし

5 十字キー (▲▼) で「効果音」を選ぶ

画面効果を「オフ」以外に設定すると、画面が切り替わるときに流れる音のオン(☑) /オフ(□) を切り替えることができます。

- オ字キー(▲▼)で「スタート」を選ぶ
- **のKボタンを押す**設定した表示間隔と画面効果でスライドショウが始まります。

・ スライドショウは、**OK** ボタン以外のどれかのボタンを押して終了するま

- で何度も繰り返します。
 ・ 動画は表示間隔の設定にかかわらず、すべて再生されてから次の画像に移ります。ただし、動画の再生中に十字キー(▶)を押すと、すぐに次の画像へ移ります。
- 画面効果を「ランダム」に設定したときには、手順3で選んだ表示間隔に 固定され、効果音もオフになります。

AV機器と接続する ☞ p.137

画像を回転表示する

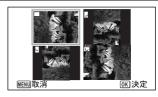
∄ 撮影後に ▶ ボタンを押す

撮影した画像が画像モニターに表示されます。

- **2** 再生モードパレットから、十字キー(▲▼ ◀▶)で◇(画像回転) を選ぶ
- 3 OKボタンを押す

回転方向を4種類 (0° / 右90° / 左90° / 180°) から選ぶ画面が表示されます。

4 十字キー (▲▼ ◀▶) で回転方向を 選び、OK ボタンを押す 回転した状態で画像が保存されます。



XE

- ・ 動画は回転表示できません。
- プロテクトされた画像は、回転表示はできますが、回転された状態は保存されません。

再生画像を拡大する

画像を再生するときに、最大10倍まで拡大表示できます。

1 ▶ モードに入り、十字キー(◀▶)で拡大表示したい画像を選ぶ

2 ズーム/図/QボタンのQ側を押す

画像が大きく(1.1~10倍)表示されます。ズーム/図/QボタンのQ側を押し続けると連続的に大きさが変わります。

「クイック拡大」(p.177) を ♥ (オン) に設定していると、Q.側を押すだけで 一気に10倍まで拡大します。

画像のどの部分を拡大しているかを画面 左下のガイド表示の+マークで確認でき ます。

拡大表示中にできる操作

十字キー	拡大位置を移動する
(▲▼◀▶)	
ズーム/■/Q	画像を拡大する
ボタン右 (Q)	(最大10倍まで)
ズーム/■/Q	画像を縮小する
ボタン左(国)	(最小1.1倍まで)



ガイド表示

3 OKボタンを押す

1画面表示に戻ります。



動画は拡大表示できません。

失敗したり、不要になった画像を消去します。

1画像ずつ消去する

1画像ずつ消去します。



2

プロテクトされている画像は消去できません (p.135)。

1 ▶ モードに入り、十字キー (◀▶) で消去したい画像を選ぶ

⋒ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

3 +字キー (▲) で「消去」を選ぶ



4 OK ボタンを押す

消去されます。

選択して消去する

6画面表示/12画面表示で複数の画像を選択し、まとめて削除します。



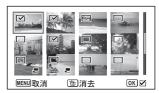
プロテクトされている画像は消去できません (p.135)。

- **2** 面ボタンを押す 画像に□が表示されます。



オ字キー(▲▼◀▶)で削除する画像に移動し、OKボタンを押す

画像が選択され、♥が表示されます。 ズーム/♥/QボタンのQ側を押すと、押している間だけ選択した画像が1画面表示され、削除したい画像かどうかを確認できます(ボタンから指を離すと、6画面表示/



12画面表示に戻ります)。ただし、プロテクトされた画像は1画面表示できません。

4 面ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

- **5** 十字キー (▲) で「消去」を選ぶ
- **OK ボタンを押す** 選択した画像が消去されます。

まとめて消去する

保存されているすべての画像を消去します。



プロテクトされている画像は消去できません (p.135)。

1 ■モードでMENUボタンを押す

「、、設定」メニューが表示されます。

□モードで**MENU**ボタンを押したときは、十字キー(▶)を1回または2回押します。

2 十字キー (▲▼) を押し、「全画像 消去」を選ぶ



3 +字キー(▶)を押す

すべての画像の消去を確認する画面が表示されます。

+字キー(▲)で「全画像消去」を選ぶ

5 OK ボタンを押す

すべての画像が消去されます。

消去できないようにする(プロテクト)

記録した画像を誤って消去しないようにプロテクト(保護)します。

- 1 ▶ モードに入り、十字キー(◀▶)でプロテクトする画像を選ぶ
- **2** 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で O¬¬(プロテクト)を選ぶ
- 3 OKボタンを押す

「1画像」または「全画像」を選択する画面が表示されます。

4 十字キー(▲)で「1画像」を選ぶ



5 OK ボタンを押す

「この画像にプロテクト設定を行います」とメッセージが表示されます。 別の画像をプロテクトする場合は、十字キー (◀▶) で画像を選びます。



✔ OK ボタンを押す

選択した画像がプロテクトされます。

他の画像をプロテクトする場合は、手順 $4\sim7$ を繰り返します。終了する場合は「キャンセル」を選びます。



- ・プロテクトを解除するときは、手順6で「解除」を選びます。
- プロテクトされている画像には、再生時に□が表示されます。

p.135の手順4で「全画像」を選ぶ



- 2 OKボタンを押す
- **3** 十字キー (▲) で「プロテクト」を 選ぶ



4 OK ボタンを押す

すべての画像がプロテクトされ、手順1の画面に戻ります。

- **5** 十字キー (▲▼) で「キャンセル」を選び、OK ボタンを押す 再生モードパレットに戻ります。
- 注意

フォーマットをすると、プロテクトされている画像も消去されます(p.162)。



手順3で「解除」を選ぶと、すべての画像のプロテクト設定が解除されます。

AV機器と接続する

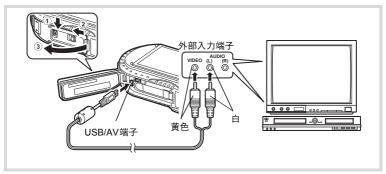
ビデオ端子またはHDMI端子を備えたテレビなどと接続し、画像を再生することができます。



- 接続中はカメラの電源ランプが点灯します。
- 長時間使用するときは、別売のACアダプターキット(K-AC117)のご使用をお勧めします。(p.36)
- 複数の映像入力端子があるAV機器で画像を見る場合は、ご使用のAV機器 の使用説明書をご確認の上、カメラを接続する映像入力端子を選択してく ださい。
- ・ ビデオ出力とHDMI出力を同時に行うことはできません。
- AV機器に接続している間は、カメラの画像モニターは表示されません。
- AV機器と接続した場合、カメラで音量調整はできません。AV機器側で音量を調節してください。
- AV機器と接続した場合、リモコン(別売)を使って、画像の送り戻しができます。

ビデオ端子に接続する

別売のAVケーブル(I-AVC7)を使用すると、テレビなどのビデオ入力端子を備えた機器をモニターにして撮影や再生ができます。



- **AV機器とカメラの電源を切る**
- 2 ロックレバーを①の方向にスライドさせて、ロックを解除する
- **3** 開閉レバーを②の方向にスライドさせ、③の方向にバッテリーカバーを開ける

USB/AV端子にAVケーブルを接続する

AV ケーブルのもう一方の端子(映像:黄色、音声:白)を、AV 機器の映像入力端子と音声入力端子に接続する

ステレオ音声の機器に接続するときは、音声端子をL(白)に差し込んでください。

6 AV機器の電源を入れる

カメラを接続した機器と画像を映し出す機器が別の場合は、両方の電源を入れます。

複数の映像入力端子があるAV機器(テレビなど)で画像を見る場合は、ご使用のAV機器の使用説明書をご確認の上、カメラを接続している映像入力端子を選択してください。

/ カメラの電源を入れる



4

- ・国や地域によってはビデオ出力方式が初期設定(「NTSC」)になっている と画像を再生できない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」 に切り替えてください(p.174)。
- 本機のAV出力は、通常の解像度での出力になります。1926 や1286、1286で 撮影された動画をハイビジョンの解像度で見るには、HDMI出力するか (p.139)、パソコンに転送して再生してください。

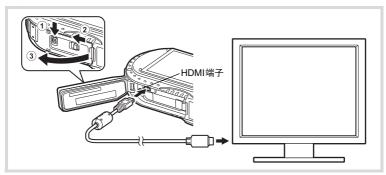


端子を使わない時は、バッテリーカバーをしっかり閉じておいてください。 <バッテリーカバーの閉じ方>

バッテリーカバーを閉じ、開閉レバーを②と反対方向にスライドさせ、ロックレバーを①と反対方向にカチッと音がするまでスライドさせる

HDMI端子に接続する

市販のHDMIケーブルを使用し、HDMI端子を備えた機器に接続します。



- 1 AV機器とカメラの電源を切る
- 2 ロックレバーを①の方向にスライドさせて、ロックを解除する
- **3** 開閉レバーを②の方向にスライドさせ、③の方向にバッテリーカバーを開ける
- **HDMIケーブルをHDMI端子に接続する**
- HDMIケーブルのもう一方の端子を、AV機器のHDMI端子に接続する
- **6** AV機器とカメラの電源を入れる

AV機器にカメラの情報が表示されます。



- ・本機のHDMI端子はタイプD (Micro) です。ご使用の機器に合った市販の HDMIケーブルをご用意ください。
- 本機と AV 機器を市販の HDMI ケーブルで接続して動画を再生するには、 「HDMI出力形式を選択する」(p.174) で出力形式を設定してください。



端子を使わない時は、バッテリーカバーをしっかり閉じておいてください。 <バッテリーカバーの閉じ方>

バッテリーカバーを閉じ、開閉レバーを②と反対方向にスライドさせ、ロックレバーを①と反対方向にカチッと音がするまでスライドさせる

画像のサイズを変更する(リサイズ)

選択した画像の記録サイズと画質を変更して、元の画像よりもファイルサイズを小さくすることができます。SDメモリーカードまたは内蔵メモリーがいっぱいになって撮影できなくなったとき、画像をリサイズして上書きすれば、空き容量が増え、続けて撮影ができます。



- 12Mmで撮影された画像、動画はリサイズできません。
- 元の画像よりも大きいサイズ、高い画質は選択できません。
- **2** 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で 🗹 (リサイズ) を選ぶ
- 3 OKボタンを押す

記録サイズを選択する画面が表示されます。

「記録サイズ」と「画質」を選択する それぞれ、十字キー(◀▶)で選択します。 「記録サイズ」と「画質」の切り替えは、十 字キー(▲▼)で行います。



5 OK ボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

画像がプロテクトされている場合は、このときに新規保存され、確認画面は表示されません。

- **f** 十字キー (▲▼) で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ
- **OK ボタンを押す**リサイズされた画像が保存されます。

画像をトリミングする

画像周囲の不要な部分をカットして、別の画像として保存します。



12Mmで撮影された画像、動画はトリミングできません。

- **2** 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で□(トリミング)を選ぶ
- **3** OK ボタンを押す

トリミングを行う画面が表示されます。

画面にはトリミングできる最大の範囲が緑の枠で表示されます。この範囲を越 えてトリミングはできません。

4 トリミング範囲を決める

以下の操作で緑の枠を動かして、画面のど の部分をトリミングするか決めます。

ズーム/ 図 /Q ボタン	トリミングサイズの変更
十字キー (▲▼ ∢ ▶)	トリミング位置の移動
グリーン ボタン	トリミング範囲の回転 ・回転できるサイズのと きだけボタンが表示さ れます。



5 OK ボタンを押す

トリミングされた画像が新しいファイル名で保存されます。

トリミング後の記録サイズは、トリミングサイズに応じて自動的に設定されます。 元の画像と同じ画質で保存されます。

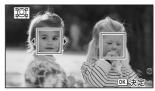
顔が小さく見えるように加工する

撮影時に顔検出機能 (p.96) で検出された人物の顔を小さく見えるように加工します。

- 1 ▶ モードで十字キー(◀▶)を押し、編集する画像を選ぶ
- **2** 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で譽(小顔フィルター)を選ぶ
- **3** OK ボタンを押す

補正できる顔に顔検出枠が表示されます。 検出枠が1つのみの場合は、手順6に進みます。

4 十字キー (▲▼ ◀▶) で加工する顔 を選択する緑色の枠が加工の対象となる顔です。



5 OK ボタンを押す

> = · · · · · 約5% = · · · · · · · 約7% = · · · · · · · · · · 約10%



7 OK ボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

画像がプロテクトされている場合は、このときに新規保存され、確認画面は表示されません。

- **8** 十字キー(▲▼)で上書き保存/新規保存を選ぶ
- **9** OK ボタンを押す
 ▶ モードに戻り、加工した画像が表示されます。





以下の場合は、加工できないことがあります。

- 画像に対して顔の占める割合が大きすぎる、または小さすぎる
- ・ 顔が画像の端に写っている
- この場合は、手順3で顔検出枠が表示されません。

デジタルフィルターを使う

選択した画像の色調を変えたり、特殊な加工を施します。

白黒/セピア	カラー画像を白黒画像、またはセピアのフィルターをかけた画 像にします。
トイカメラ	トイカメラで撮影したような画像にします。
レトロ	周りに白い縁を施して、昔の写真のような雰囲気の画像にします。元画像/アンバー/ブルーの3種類のフィルターがあります。
カラー	選択したカラーフィルターをかけた画像にします。赤/桃/紫/青/緑/黄の6種類のフィルターがあります。
色抽出	選択した色抽出フィルターをかけた画像にします。赤/緑/青の3種類のフィルターがあります。
色強調	晴天/新緑/花見/紅葉の色彩を強調する4種類のフィルターがあります。
ハイコントラスト	撮った写真のコントラストを調整します。
トゥインクル	夜景や水面の光の輝きなどハイライト部にクロス状の光条を表現し、キラキラした雰囲気を強調します。クロス/ハート/星の3種類のフィルターがあります。
ソフト	全体をぼかしたようなやわらかい画像に加工します。
フィッシュアイ	フィッシュアイ(魚眼レンズ)で撮ったような効果を画像に施 します。
明るさ	明るさを調整します。
ミニチュア	画像のボケ具合を操作してミニチュア風の写真に加工します。



動画、他のカメラで撮影した画像はデジタルフィルターで加工できません。再生モードパレットで機能を選択して**OK**ボタンを押すと、エラーメッセージが表示されます。

- 1 ▶ モードに入り、十字キー(◀▶)で編集する画像を選ぶ
- **2** 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で
 区(デジタルフィルター)を選ぶ

デジタルフィルターを選択する画面が表示されます。

- 1 白黒/セピア
- 2 トイカメラ
- 3 レトロ
- **4** カラー
- 5 色抽出
- 6 色強調
- 7 ハイコントラスト
- 8 トゥインクル
- 9 ソフト
- 10フィッシュアイ
- 11明るさ
- 12ミニチュア



5 画像の編集と印刷

5

十字キー (▲▼) で使用するデジタルフィルターを選ぶ

フィルターに応じた加工結果がプレビュー表示されます。

必要に応じて十字キー(◀▶)で効果を調整する

	十字キー (◀)	初期設定	十字キー(▶)
レトロ	ブルー	元画像	アンバー
トイカメラ	弱	標準	強
ハイコントラスト	弱	標準	強
フィッシュアイ	弱	標準	強
明るさ	暗い	標準	明るい
ミニチュア	上部	上下	下部

白黒/セピア	白黒↔セピア
カラー	赤↔桃↔紫↔青↔緑↔黄
色抽出	赤↔緑↔青
色強調	晴天↔新緑↔花見↔紅葉
トゥインクル	クロス↔ハート↔星

6

OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

画像がプロテクトされている場合は、このときに新規保存され、確認画面は表示されません。

オ字キー (▲▼) で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

8 OK ボタンを押す

フィルターで加工された画像が保存されます。

HDRフィルターで加工する

画像の中の明るすぎたり暗すぎたりする部分を調整して、ハイダイナミックレ ンジ画像のような加工をします。

- 1 ▶ モードに入り、十字キー(◀▶)で編集する画像を選ぶ
- 2 再生モードパレットから、十字キー (▲▼ ◀▶) でHDR (HDRフィ ルター)を選ぶ
- 3 OK ボタンを押す

加工結果がプレビュー表示されます。

4 OK ボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

画像がプロテクトされている場合は、このときに新規保存され、確認画面は表 示されません。

- 5 十字キー(▲▼)で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ
- ĥ OK ボタンを押す

加工された画像が保存されます。

魚拓フィルターを使う

撮影した画像を魚拓風に加工します。



■ (CALS) モードで撮影された画像や記録サイズが12mm 、3m、 **2m**m。 「1024」、「640」で撮影された画像、または動画、他のカメラで撮影された画像は 魚拓フィルターで加工できません。手順3でエラーメッセージが表示されま す。

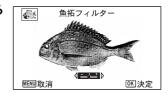
- 1 ▶ モードに入り、十字キー(◀▶)で編集する画像を選ぶ
- 2 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)でຝ່‱(魚拓フィ ルター)を選ぶ
- 3 OK ボタンを押す

加工結果がプレビュー表示されます。

4 十字キー (◀▶) で効果を調整する

効果は5段階で調整することができます。

<u>- · · ·</u> 弱 - <u>- · · ·</u> 中



5 OK ボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

画像がプロテクトされている場合は、このときに新規保存され、確認画面は表示されません。

- **f** 十字キー (▲▼) で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ
- 7 OKボタンを押す

加工された画像が保存されます。



- 加工された画像は、5M/4Mmの記録サイズで保存されます。
- 背景と魚の明暗比が少ないなど、元画像の条件によっては、魚の形がはっきりと出ないことがあります。

コラージュ画像を作成する

複数の撮影済み画像をレイアウトパターンに配置して、1つのコラージュ画像を 作ります。



■ (CALS) モードで撮影された画像や記録サイズが12m 四 (1024、640)で撮影された画像、または動画、他のカメラで撮影された画像はレイアウト編集できません。

- **1** 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で**□** (コラージュ)を選ぶ
- **2** OK ボタンを押す 項目選択画面が表示されます。



記録サイズを選ぶ

- **3** +字キー (▲▼) で「記録サイズ」を選ぶ
- **十字キー (▶) を押す**ポップアップが表示されます。

5 +字キー (▲▼) で記録サイズを選ぶ

3m と **2m** m から選びます。



OK ボタンを押す 項目選択画面に戻ります。

レイアウトパターンを選ぶ

- **7** +字キー (▲▼) で「配置」を選ぶ
- **8** 十字キー (▶) を押す ポップアップが表示されます。



- **9** +字キー (▲▼) でレイアウトパターンを選ぶ 2 / 2 / 2 / 3 / 3 / 3 / 3 / 3 / 4 / 5 /
- **OK ボタンを押す** 項目選択画面に戻ります。

背景を選ぶ

- **11** 十字キー(▲▼)で「背景」を選ぶ

14 OK ボタンを押す

項目選択画面に戻ります。

画像を配置する



6

画像の編集と印刷

- 🔁 (CALS)モードで撮影された画像や記録サイズが12m 📠、1024、640 で撮 影された画像、または動画、他のカメラで撮影された画像はレイアウト編集 できないため、選択候補として表示されません。
- アスペクト比16:9の画像を選択した場合、選択した各画像の上下に黒い帯 が表示されます。

15 +字キー (▲▼) で「画像選択」を選ぶ

16 十字キー(▶)を押す

選択可能な画像が表示されます。

17 十字キー(◀▶)でレイアウトする 画像を選び、OKボタンを押す

画像モニター左上に表示されるガイドで ハイライト表示されている位置に、選択し た画像が配置されます。



18 手順 17 を繰り返してレイアウトで指定されている枚数分配置す る

19 ■ボタンを押す

項目選択画面に戻ります。

レイアウト編集した画像を保存する

20 十字キー(▲▼)で「画像作成」を 選ぶ



21 OK ボタンを押す

保存するか確認する画面が表示されます。

- 22 +字キー(▲)で「保存」を選ぶ
- 23 OK ボタンを押す レイアウト編集した画像が保存されます。



保存された画像の画質は★★★ (S.ファイン)になります。

赤目を補正する

フラッシュ撮影で人物の目が赤く写った画像を補正します。



- 動画やカメラ側で赤目画像と特定できなかった画像は赤目補正できませ ん。手順3でエラーメッセージが表示されます。
- 赤目補正できるのは、このカメラで撮影した静止画像のみです。
- 1 ▶ モードに入り、十字キー(◀▶)で赤日補正する画像を選ぶ
- 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で ♀ (赤目補 正)を選ぶ
- 3 OK ボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

画像がプロテクトされている場合は、このときに新規保存され、確認画面は表 示されません。

4 十字キー(▲▼)で「ト書き保存」または「新規保存」を選ぶ

5 OK ボタンを押す

赤目補正された画像が保存されます。

オリジナルフレームを合成する

撮影した静止画に、オリジナルフレーム(飾り枠)を合成します。オリジナル フレームは、フレームの種類と色、位置を設定することができます。また、文 字スタンプを追加することもできます。

フレーム

オリジナル フレームの種類	ぼかし/縁取り
	□ (4方向) / □ (上下) / □ (左右) / □ (上) / □ (下) /□ (左) / □ (右)
カラー	白/グレー/黒/ピンク/パンプキン/濃赤/濃緑

5 文字スタンプ

入力可能な文字	A~Z、a~z、0~9、記号、スペース
	□ (左上) / □ (中央上) / □ (右上) / □ (左下) /□ (中央下) / □ (右下)
カラー	白/グレー/黒/ピンク/パンプキン/濃赤/濃緑



1024、640で撮影された画像、または動画は、オリジナルフレームが合成で きません。手順3でエラーメッセージが表示されます。

▶ モードで十字キー(◀▶)を押し、フレーム合成する画像を選ぶ

- **2** 再生モードパレットから、十字キー(▲▼ ◀▶)で.... (オリジナルフレーム) を選ぶ
- 3 OKボタンを押す

オリジナルフレームの種類を選択する画面が表示されます。

4 十字キー (▲▼) でオリジナルフレームの種類を選び、OK ボタンを押す

フレームを設定する画面が表示されます。





- **f** +字キー (▲▼) で枠の種類を選び、十字キー (◀) を押す
- 7レームと画像の位置を調整する

設定のしかたは「フレームと画像の位置を調整する」(p.152)をご覧ください。

- **10** 文字スタンプを設定する 設定のしかたは「文字スタンプを設定す

る」(p.153) をご覧ください。



5

11 OK ボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

画像がプロテクトされている場合は、このときに新規保存され、確認画面は表示されません。

12 十字キー(▲▼)で「上書き保存」/「新規保存」を選ぶ

13 OK ボタンを押す

オリジナルフレームが合成された画像が、 $\boxed{5M}$ $\boxed{4M}$ \boxed{M} の記録サイズで保存されます。

フレームと画像の位置を調整する

がリーンボタンを押す

フレーム位置調整画面が表示されます。

十字キー (▲▼ ∢ ▶)	フレームの枠の位置を 調整する
ズーム/■/Q ボタン右(Q)	枠を拡大
ズーム/■/Q ボタン左(■)	枠を縮小



2 グリーンボタンを押す

画像位置調整画面が表示されます。

十字キー (▲▼ ∢ ▶)	画像の位置を調整する
ズーム/ 国 /Q ボタン右(Q)	画像を拡大
ズーム/■/Q。 ボタン左(■)	画像を縮小



3 OK ボタンを押す

元の画面に戻ります。

文字スタンプを設定する

1 十字キー(▲▼ ◀►)で文字を選び、 OK ボタンを押す

選んだ文字が入力されます。 最大で52文字まで入力できます。

動画ボタン	大文字と小文字が切り 替わる
ズーム/ 国 /Q ボタン右(Q)	カーソルを右に移動す る
ズーム/■/Q ボタン左(■)	カーソルを左に移動する
し ボタン	文字を消去する

文字スタンプ	● A/a
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ 0123456789.,()[]<>@/:;!? *# +=\$%'"{}^~	
FRIENDS_	WT
面1文字消去 MENU取消	OK決定

- 2 +字キー(▲▼◀▶)で「確定」を選び、OKボタンを押す
- **3** 十字キー(▲▼)で「表示位置」を 選び、十字キー(▶)を押す



- **4** 十字キー (▲▼) で表示位置を選び、十字キー (◀) を押す
- **5** +字キー (▲▼) で「カラー」を選び、十字キー (▶) を押す
- **f** +字キー (▲▼) でカラーを選び、十字キー (◀) を押す

プレビュー画面を見る

グリーンボタンを押す プレビューが表示されます。



6

2 MENUボタンを押す

元の画面に戻ります。

3 OK ボタンを押す

p.152の手順11に進みます。

動画を編集する

撮影した動画中のひとコマを切り出して静止画として保存したり、動画を分割 したり、動画に静止画のタイトルを入れたりすることができます。

- 1 ▶ モードに入り、十字キー(◀▶)で編集する動画を選ぶ
- **2** 再生モードパレットから、十字キー(▲▼ ◀▶)で ※(動画編集) を選ぶ
- **3** OK ボタンを押す

動画編集を選択する画面が表示されます。 続けて以下に進んでください。



動画の1コマを静止画として保存する

- 4 動画編集を選択する画面で、「静止画保存」を選ぶ
- **5** OK ボタンを押す

静止画として保存するコマを選択する画面が表示されます。

- - ▲ 再生/一時停止
 - ▼ 停止して最初のコマに戻る
 - ◀ コマ戻し
 - ▶ コマ送り



✔ OK ボタンを押す

選択したコマが静止画として保存されます。

動画を分割する

- 4 動画編集を選択する画面で、「動画分割」を選ぶ
- **OK ボタンを押す**分割位置を選択する画面が表示されます。

- ▲ 再生/一時停止
- ▼ 停止して最初のコマに戻る
- コマ戻し
- ▶ コマ送り



7 OK ボタンを押す

分割位置を確認する画面が表示されます。



9 OK ボタンを押す

指定位置で分割した動画がそれぞれ新しいファイル名で保存され、元の動画は 削除されます。



プロテクトされている動画は、分割できません。



- ・ 分割できるのは、2秒 (31コマ) 以上の動画です。
- ・ 分割位置は、30コマ単位(31、61、91・・・コマ目)での選択になります。

動画にタイトル画像を入れる

4 編集方法を選択する画面で「タイトル画像追加」を選ぶ

5 OK ボタンを押す

タイトル画像を選択する画面が表示されます。

f 十字キー(◀▶)でタイトル画像を選ぶ

タイトル画像に設定できる画像だけが表示されます。

7 OK ボタンを押す

タイトル画像の位置を確認する画面が表示されます。

> □ □ 動画の前にタイトル画像を入れる □ □ 動画の後ろにタイトル画像を入れる



9 OK ボタンを押す

選択した静止画がタイトル画像として保存されます。



- プロテクトされている動画には、タイトル画像は入れられません。
- タイトル画像追加後の動画ファイルが26分以上となる場合には、タイトル画像を追加できません。



- 動画の前にタイトル画像を入れた場合:動画再生時には、静止画が3秒間再生され、そのあとで動画が再生されます。サムネイルは登録した静止画が使用されます。
 - 動画の後ろにタイトル画像を入れた場合:動画再生時には、動画が再生され、そのあとで静止画が3秒間再生されます。サムネイルは元の動画のサムネイルが使用されます。
- 動画と同じアスペクト比の静止画のみタイトル画像に設定できます。

画像をコピーする

内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像をコピーします。カメラにSDメモリーカードが入っていないと、この機能は選択できません。



SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源を切ってください。

- **1** 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で 品 (画像コピー) を選ぶ
- **2** OK ボタンを押す

コピー方法を選択する画面が表示されます。

内蔵メモリーからSDメモリーカードにコピーする場合

内蔵メモリー内のすべての画像をSDメモリーカードにコピーします。画像をコピーする前に、SDメモリーカードに充分な空き容量があることを確認してください。

3 +字キー (▲) を押して 「●●SD」を選ぶ



4 OK ボタンを押す

すべての画像がSDメモリーカードにコピーされます。

SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合

SDメモリーカード内の画像を1つずつ選んで、内蔵メモリーにコピーします。

- **3** +字キー (▲▼) を押して「SD **●** 」を選ぶ
- 4 OKボタンを押す
- **5** +字キー (◀▶) でコピーする画像 を選ぶ



6 OK ボタンを押す

選択した画像が内蔵メモリーにコピーされます。

他の画像をコピーする場合は、手順3~6を繰り返します。終了する場合は「キャンヤル」を選びます。

Χŧ

SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合は、新しいファイル 名で画像がコピーされます。

印刷の設定をする

このカメラで撮影した画像を印刷するには、次の方法があります。

- 1 プリントサービス店を利用する
- 2 SDメモリーカードスロットのあるプリンターを利用して、SDメモリーカード から直接印刷する
- 3 お手持ちのパソコンのソフトウェアを利用して印刷する

DPOFを設定する

DPOF (Digital Print Order Format) とは、デジタルカメラで撮影した静止画像 に、プリントのための情報を記録するためのフォーマットです。撮影した静止 画にDPOFを設定すると、DPOF対応プリンターやプリントサービス店でDPOF の設定に従ったプリントができます。

動画ファイルには、DPOF は設定できません。

5

「日付写し込み」(p.104) で日付/時刻を写し込んだ画像には、DPOF設定 で「日付」を▼ (オン) にしないでください。▼ (オン) にすると、日付 が重なって印刷されます。

1画像ずつ設定する

各画像ごとに、以下の項目を設定します。

枚数	プリントする枚数を設定します。99枚まで設定できます。
日付	画像に日付をプリントするかしないかを設定します。

再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で 🚨 (DPOF) を選ぶ

2 OK ボタンを押す

「1画像」または「全画像」を選択する画面が表示されます。

十字キー (▲▼) で 「1画像 | を選ぶ



OK ボタンを押す

「この画像にDPOF設定を行います」とメッセージが表示されます。 別の画像にDPOFを設定する場合は、十字キー(◀▶)で画像を選択します。 すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付の♥(オン) /□(オフ)が表示されます。

5 十字キー(▲▼)でプリント枚数を 設定する



f グリーンボタンを押し、日付の ☑ (オン) /□(オフ)を設定する

マ (オン)日付をプリントする

□ (オフ)日付をプリントしない その他の画像にもDPOFを設定したい場 合は、十字キー(◀▶)で画像を選び、手 順5~6を繰り返します。



OK ボタンを押す

設定が保存され、手順3の画面に戻ります。



プリンターやプリントサービス店のプリント機器によっては、DPOF設定で 「日付」をオンにしても日付がプリントされないことがあります。



DPOF設定を解除する場合は、手順5で枚数を「00」に設定して、OKボタ ンを押します。

全画像を設定する

カメラに保存されているすべての画像に同じ「枚数」「日付」の設定を適用しま す。

1 p.159の手順3で「全画像」を選ぶ

2 OK ボタンを押す

「すべての画像にDPOF設定を行います」とメッセージが表示されます。

3 プリント枚数と日付の☑(オン)/ □(オフ)を設定する

設定のしかたは「1画像ずつ設定する」の 手順5~6 (p.159) をご覧ください。



4 OK ボタンを押す

設定した値で全画像の設定が保存され、DPOF設定の最初の画面に戻ります。



- ・全画像設定では、すべての画像に同じプリント枚数が設定されます。プリントをする前に、必ず枚数の設定が正しいか確認してください。
- ・「全画像」で設定を行うと、1画像ずつの設定は解除されます。

カメラを設定する

設定メニューを設定する

カメラの設定は主に「**↑**設定」メニューから行います。機能の設定方法は各機能の説明を参照してください。

- 1 ▶ モードでMENUボタンを押す
 - 「入設定」メニューが表示されます。
 - **ロ**モードで**MENU**ボタンを押したときは、十字キー(▶)を押します。
- **2** +字キーで設定する項目を選び、設定をする
- 3 設定完了後、MENUボタンを押す 設定が保存され、前の画面に戻ります。

設定を保存して撮影をしたいとき

3 シャッターボタンを半押しする 設定が保存され、撮影できる状態になります。



■モードから「N設定」メニューを表示した場合は、■ボタンを押して ロモードに移行することもできます。

変更を取り消してメニュー操作を続けたいとき

3 設定の途中でMENUボタンを押す

変更が取り消されメニュー項目を選択できます。



MENUボタンの機能は、画面の状態によって異なります。ガイド表示を参照してください。

MENU 終了 メニュー操作を終了し、元の画面に戻ります。

MENU

現在の設定のまま、ひとつ前の画面に戻ります。

MENU 取消 現在の選択を保存しないでメニュー操作を終了し、ひとつ前の画面に戻ります。

フォーマットする

SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに保存されているすべてのデータを消去 します。

未使用または他のカメラやデジタル機器で使用したSDメモリーカードは、必ず このカメラでフォーマットしてからご使用ください。



- SDメモリーカードのフォーマット中は、カードを取り出さないでくださ い。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- フォーマットを行うと、プロテクトされた画像や、このカメラ以外で記録 したデータも消去されます。ご注意ください。
- パソコンなどこのカメラ以外の機器でフォーマットされた SD メモリー カードはそのままでは使用できません。必ずカメラでフォーマットしてく ださい。
- SDメモリーカードが挿入されていると、SDメモリーカードがフォーマッ トされます。内蔵メモリーをフォーマットする場合は、必ずSDメモリー カードを抜いてから操作してください。
- 1 「\ 設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「フォーマット」を選ぶ
- 2 十字キー(▶)を押す 「フォーマット」画面が表示されます。

十字キー(▲)で「フォーマット」

3 を選ぶ

フォーマット すべてのデータが 消去されます フォーマット キャンセル OKI決定

4 OK ボタンを押す

> フォーマットが開始されます。 フォーマットが終わると、**△**モードまたは**▶**モードに戻ります。

サウンドの設定を変更する

操作音の音量と音の種類を変更できます。

- 1 「入設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「サウンド」を選ぶ
- 2 十字キー(▶)を押す

「サウンド」画面が表示されます。



操作音量/再生音量を変更する

- 3 十字キー(▲▼)を押して「操作音量」を選ぶ
- 4 十字キー(◀▶)を押して音量を調節する 音量を M にすると起動音・シャッター音・操作音・セルフタイマー音は鳴りま せんん
- 5 手順3~4と同様の操作で「再生音量」を設定する

音の種類を変更する

- 3 **十字キー(▲▼)を押して「起動音」を選ぶ**
- 4 十字キー(▶)を押す ポップアップが表示されます。
- 5 十字キー(▲▼)で音の種類を選ぶ 「1」「2」「3」「4」「オフ」から選択します。
- ĥ OK ボタンを押す
- 7 手順3~6と同様の操作で「シャッター音」「操作音」「セルフタイ マー音」を設定する

初期設定 (p.45) で設定した日付と時刻を変更します。また、カメラに表示する日付の表示形式を設定します。

1 「N設定」メニューから、十字キー (▲▼) で「日時設定」を選ぶ

2 +字キー (▶) を押す

「日時設定」画面が表示されます。

日時設定 表示スタイル ▶年/月/日 24h 日付 2014/01/01 時刻 00:00 設定完了

3 +字キー(▶)を押す

選択枠が「年/月/日」に移動します。

初期設定や、前回の設定によっては、「月/日/年」または「日/月/年」で表示されていることもあります。

4 十字キー (▲▼) で日付の表示スタイルを選ぶ

「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選択します。

5 十字キー (▶) を押す

選択枠が「24h」に移動します。

f 十字キー (▲▼) で「24h」(24時間表示) または「12h」(12時間表示) を選ぶ

/ 十字キー (▶) を押す

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

8 +字キー (▼) を押す

選択枠が「日付」に移動します。

9 +字キー (▶) を押す

手順4で設定した表示スタイルに従って、選択枠が下記の項目に移動します。

「年/月/日」の場合 西暦年

「月/日/年」の場合 月

「日/月/年」の場合 日

以下の操作手順は、「年/月/日」に設定した場合です。他の表示スタイルに設定した場合でも、操作方法は同様です。

10 十字キー (▲▼) で西暦年を設定する

設定

11 十字キー(▶)を押す

選択枠が「月」に移動します。十字キー(▲▼)で月を設定します。月を設定 後は、同様の操作で日を設定します。

12 手順7~11と同様の操作で、時刻を設定する

手順6で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM/PMが切り替わります。

- 13 十字キー(▼)で「設定完了」を選ぶ
- 14 OKボタンを押す

日時の設定が保存され、「₹設定」メニューに戻ります。

手順14で**OK**ボタンを押すと、0秒にセットされます。時報に合わせて**OK**ボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定ができます。

決まった時刻にアラームを鳴らす

指定した時刻にアラームを鳴らします。

毎日同じ時刻にアラームを鳴らすか、設定した時刻に1回アラームを鳴らすかを 選ぶことができます。

アラームを設定する

- **┚ 「\設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「アラーム」を選ぶ**

☆ アラーム 14:14
アラーム → オフ
時刻 00:00
設定完了

3 十字キー (▶) を押す ポップアップが表示されます。

十字キー (▲▼) でアラームの設定を選ぶ 「オフ」「1回」「毎日」から選択します。

- **5** OK ボタンを押す
- **6** 十字キー(▼)を押す

選択枠が「時刻」に移動します。

選択枠が「時間」に移動します。

9 OK ボタンを押す

10 +字キー (▼) を押す

選択枠が「設定完了」に移動します。

11 OK ボタンを押す

アラームを「オフ」に設定した場合、設定が保存され、「**→**設定」メニューに戻ります。

アラームを「1回」「毎日」に設定した場合、「アラームを設定しました」と表示された後電源がオフになります。



アラームを確認する

「\ 設定」メニューで、十字キー(▲▼)を押して「アラーム」を選ぶ「アラーム」が (オン)になっていることを確認します。



6

アラームを止める

電源オフの状態で指定した時刻になると、スタ イルウォッチ画面が表示され、アラームが1分 間鳴ります。

1分間経過するか、鳴っている間にどれかのボ タンを押すと、アラームは停止します。





4

- カメラの電源がオンになっている場合は、指定した時刻になってもアラー ムは鳴りません。
- インターバル撮影を実行している間は、アラームが設定されていても、ア ラームは鳴りません。

ワールドタイムを設定する

「日時を設定する」(p.45) や「日時を変更する」(p.164) で設定した日時は、 **企** (現在地)の日時として設定されます。「ワールドタイム」を設定しておくと、海 外で使用するとき、画像モニターに**ナ**(目的地)として設定した国や地域の日 時を表示できます。

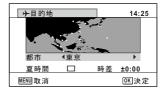
目的地を設定する

- 「\設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「ワールドタイム」 を選ぶ
- 2 十字キー(▶)を押す 「ワールドタイム」画面が表示されます。

ワールドタイム	
時刻切替	▶ ₼
→ 目的地 東京	D资品 14:25
△現在地 東京	D部 14:25
MENU 🍮	

- 3 十字キー(▲▼)でナ(目的地)を選ぶ
- 十字キー(▶)を押す 「目的地」画面が表示されます。現在設定されている都市が地図上で点滅表示さ れます。

選択した都市の現在時刻・位置・時差が表示されます。



- **f** 十字キー (▲▼) で「夏時間」を選ぶ
- **8** OKボタンを押す 目的地の設定が保存されます。



6

手順3で公(現在地)を選ぶと現在地の都市と夏時間を設定できます。

目的地の日時をカメラに表示させる(時刻切替)

- 1 「\」メニューから、十字キー (▲▼) で「ワールドタイム」を選ぶ
- オ字キー(▲▼)で「時刻切替」を選ぶ
- 4 十字キー (▶) を押す

ポップアップが表示されます。

- **5** 十字キー (▲▼) でナ(目的地) / △ (現在地) を切り替える
 - → 目的地の都市の時刻を表示
- **OK ボタンを押す** 設定が保存されます。

ワールドタイムに切り替えた場合は、 モードにしたときに画像モニターに目的 地の日時が表示されていることを示す♪ アイコンが表示されます。



メニューの文字サイズを設定する

カーソルで選んでいるメニュー項目の文字サイズを、「標準」(通常表示) / 「大きい」(拡大表示) から設定できます。

- 1 「、、設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「文字サイズ」を選ぶ

- サイズを選ぶ

標準/大きいから選択します。



4 OKボタンを押す 設定が保存されます。

表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。

- **1** 「****設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「Language/言語」 を選ぶ
- **2** 十字キー (▶) を押す 「Language/言語」画面が表示されます。
- **3** 十字キー (▲▼ **◆**▶) で表示させたい言語を選ぶ
- 4 OK ボタンを押す

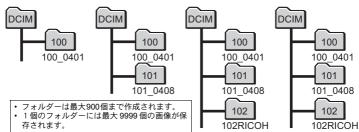
選択した言語でメニューやメッセージが表示されるようになります。

フォルダー名の付け方を変更する

画像が保存されるフォルダー名の付け方を変更できます。「日付」に設定すると 写真は撮影日ごとに違うフォルダーに保存されます。

選択項目	作成されるフォルダー名称
日付(初期値)	xxx_mmdd (3桁のフォルダー番号_月日) ※ 日付の表示スタイルが「日/月/年」に設定されている場合は、 xxx_ddmm (3桁のフォルダー番号_日月) になります。 撮影日ごとにフォルダーが作成され、その日付の撮影が保存されます。
RICOH	xxxRICOH (xxxは3桁のフォルダー番号) フォルダーがいっぱい (9999枚) になるまで同じフォルダーに保存されます。
_USER	xxxAAAAA (xxxは自動で付与される3桁のフォルダー番号、AAAAAは入力した5文字の英数字) フォルダーがいっぱい(9999枚)になるまで同じフォルダーに保存されます。

「日付」で4/1に撮影 「日付」で4/8に撮影 4/10/C RICOHIC 「RICOHIで4/15に 変更 撮影 101 0408 100 0401 102RICOH フォルダーを作成 フォルダーを作成 新しいフォルダー フォルダーを作成 は作成されない 101 0408 100 0401 102RICOH 102RICOH フォルダーに保存 フォルダーに保存 フォルダーに保存 フォルダーに保存



フォルダー名の付け方を選択する

- 1 「、、設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「フォルダー名」を選ぶ
- **2** 十字キー (▶) を押す ポップアップが表示されます。
- 3 十字キー (▲▼) でフォルダー名の付け方を選ぶ
- **OK ボタンを押す** 設定が保存されます。

フォルダー名を自分で作る

画像を保存するフォルダー名を作ることができます。

入力できるのはアンダーバーを含む半角英数字5文字です。

作成されるフォルダー名は、3桁のフォルダー番号の後に、入力した5文字の英数字が表示される形になります。

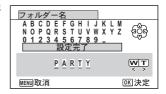
- ¶ 「フォルダー名の付け方を選択する」の手順3で、「_USER」を選ぶ



- **3** 十字キー (▲▼ ◀▶) で入力する文字を選び、OK ボタンを押す 1文字目が確定し、2文字目にカーソルが移動します。
- 季順3を繰り返して、5文字すべてを入力します。

「A」を選択している状態で、十字 キー(◀)を押すか、「_」を選択し ている状態で、十字キー(▼▶)を 押す

選択枠が「設定完了」に移動します。



6 OK ボタンを2回押す

フォルダー名が設定され、「◀設定」メニューに戻ります。



- ・ズームボタンを使って、入力する文字列の位置を変更できます。
- ・設定したフォルダー名が「→設定」メニューに表示されます。

ファイル名の付け方を変更する

保存される画像のファイル名の付け方を変更できます。

選択項目	作成されるファイル名
	RIMGxxxx (xxxxは自動で付与される4桁の通し番号) カメラ固有の設定番号の後ろに通し番号が続きます。
USER	AAAAxxxx (xxxxは自動で付与される4桁の通し番号) 入力した4文字の英数字の後ろに通し番号が続きます。

ファイル名の付け方を選択する

- 1 「ヘ設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「ファイル名」を選ぶ
- **2 十字キー (▶) を押す** ポップアップが表示されます。
- 3 十字キー(▲▼)でファイル名の付け方を選ぶ
- **OK ボタンを押す** 設定が保存されます。

ファイル名を自分で設定する

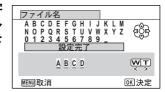
撮影する画像ファイルの命名方法を自分で設定することができます。 入力できるのはアンダーバーを含む半角英数字4文字です。撮影された画像ファイル名は、入力した4桁の英数字の後ろに4桁の通し番号が表示されます。

- **1** 「ファイル名の付け方を選択する」の手順3で、「USER」を選ぶ



- **3** 十字キー (▲▼ ◀▶) で入力する文字を選び、OK ボタンを押す 1文字目が確定し、2文字目にカーソルが移動します。
- 4 手順3を繰り返して、4文字すべてを入力する
- 「A」を選択している状態で、十字 キー(◀)を押すか「_」を選択している状態で、十字キー(▼▶)を 押す

選択枠が「設定完了」に移動します。



6 OK ボタンを2回押す

ファイル名が設定され、「▲設定」メニューに戻ります。

ズームボタンを使って、入力する文字列の位置を変更できます。 設定したファイル名はリセットをしても初期化されません。

6

ビデオ出力方式を選択する

カメラとAV機器を接続して撮影や再生をするときのビデオ出力方式を、NTSCとPALから選択します。

- 1 「ヘ設定」メニューから、十字キー (▲▼) で「ビデオ出力」を選ぶ
- **3 十字キー(▲▼)で出力方式を選ぶ** 接続するAV機器のビデオ出力方式に合わせて選択します。
- 4 OK ボタンを押す

設定が保存されます。



国や地域によってはビデオ出力方式が初期設定(「NTSC」)になっていると 画像を再生できない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」に切 り替えてください。

AV機器と接続する ☞p.137 都市別のビデオ出力方式 ☞p.212

HDMI出力形式を選択する

カメラとAV機器をHDMIケーブルで接続して再生するときの出力解像度を設定します。初期設定はオートです。

- 1 「\ 設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「HDMI出力」を選ぶ
- **2 十字キー(▶)を押す** ポップアップが表示されます。
- **3 十字キー (▲▼) で出力方式を選ぶ** 接続するAV機器のHDMI仕様に合わせて選択します。
- **OK ボタンを押す** 設定が保存されます。



選択されているビデオ出力方式でポップアップの表示内容が一部変わります。

変更が必要な場合、先にビデオ出力方式を変更してからHDMI出力を設定してください。

以下にビデオ出力方式と選択できるHDMI出力の組み合わせを示します。

	ビデオ出力方式		
	NTSC	PAL	
	オート (TVとカメラ双方で対応する 最大の解像度を自動選択)		
設定できる解像度	1080i (1920×1080i)		
	720p(1280×720p)		
	480p (720×480p)	576p (720×576p)	

Eve-Fiを設定する

市販のEye-Fiカードを使って、画像を無線LAN経由で自動的にパソコンなどに 転送することができます。転送のしかたについては、「Eye-Fiカードを使って画 像を転送する」(p.196) をご覧ください。初期設定は□(オフ)です。

- **1** 「N設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「Eye-Fi」を選ぶ
- **2** +字キー (◀▶) で☑ /□を切り替える
 - ☑ Eye-Fiカードを使った通信を開始する
 - □ Eve-Fiカードを使った通信をしない
- **3** OK ボタンを押す

設定が保存されます。



Eye-Fi通信を行うためには、Eye-Fiカードに無線LANアクセスポイントや転送先を設定しておく必要があります。設定のしかたについては、Eye-Fiカード付属の使用説明書をご覧ください。

画像モニターの明るさを7段階で設定できます。

1 「N設定 |メニューから、十字キー(▲▼)で「LCDの明るさ |を選ぶ

2 十字キー (◀▶) で明るさを調整する

> 暗 標進

明

節電機能を使う(エコモード)

一定時間操作しないときに、画像モニターの明るさが自動的に暗くなるように 設定することで、バッテリーの消耗を軽減します。節電機能が働き、画像モニ ターが暗くなった場合は、何かのボタン操作をすると、元の明るさに戻ります。

- 1 「入設定 | メニューから、十字キー (▲▼) で 「エコモード | を選ぶ
- 2 十字キー(▶)を押す ポップアップが表示されます。
- 3 十字キー(▲▼)でエコモードに切り替わるまでの時間を選ぶ 「2分」「1分」「30秒」「15秒」「5秒」「オフ」から選択します。
- 4 OK ボタンを押す

設定が保存されます。



6

- 以下の場合は、エコモードになりません。
 - ・ 🖳 、 🖷 で撮影中
 - 再牛モード中
 - 動画撮影中
 - ・パソコン接続中
 - ACアダプター使用時
 - メニュー表示中
 - ・
 ⑤(デジタル顕微鏡) モード時
- ・「5秒」に設定されている場合、電源を入れた後に何も操作しないと、15秒 後にエコモードになります。

オートパワーオフ機能を使う

一定時間操作しないときに、自動的に電源が切れるように設定できます。

- **1** 「**** 設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「オートパワーオフ」を選ぶ
- **2** 十字キー (▶) を押す ポップアップが表示されます。
- **3** 十字キー (▲▼) でオートパワーオフになるまでの時間を選ぶ 「5分」「3分」「オフ」から選択します。
- **4 OK** ボタンを押す 設定が保存されます。



以下の場合は、オートパワーオフになりません。

- ・ □、 闡で撮影中
- 動画撮影中
- ・ スライドショウ/動画再生中
- ・パソコン接続中
- Eve-Fi通信で画像を転送中

クイック拡大を設定する

▶モードで画像を再生中に、ズーム/図/Q ボタンのQ 側を一度押すだけで再生画像を最大倍率の10倍まで拡大する「クイック拡大」を使用するかどうかを設定します。

- 1 「、、設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「クイック拡大」を選ぶ
- **2** +字キー (◀▶) で▽ (オン) /□ (オフ) を切り替える
 - ☑ (オン) クイック拡大を使用する
 - □ (オフ) クイック拡大を使用しない

ガイド表示を設定する

撮影モードパレットと再生モードパレットのガイド表示をする/しないを設定 します。

- 1 「N設定」メニューから、十字キー (▲▼) で「ガイド表示」を選ぶ
- **2** +字キー (◀▶) で☑ (オン) /□ (オフ) を切り替える
 - ☑ (オン) 説明を表示させる
 - □ (オフ) 説明を表示させない

ピクセルマッピングを行う

ピクセルマッピングは、撮像素子の画素に欠けがあった場合に補完処理をする機能です。画像のドットがいつも同じ所で欠けるようになったら、ピクセルマッピングを実行してください。



- ピクセルマッピングは □ モードからのみ実行できます。 □ モード時に MENUボタンを押して「\ 設定」メニューを表示してもピクセルマッピン グは選択できません。
- 1 「N設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「ピクセルマッピング」を選ぶ
- 2 +字キー (▶) を押す

「ピクセルマッピング」画面が表示されます。

オ字キー(▲)で「ピクセルマッピング」を選ぶ

ピクセルマッピング 撮像素子を確認し 再調整を行います ピクセルマッピング キャンセル

OK 決定

4 OKボタンを押す

補完処理が行われます。



電池容量が少ない場合、「電池容量がたりないためピクセルマッピングを行えません」と画像モニターに表示されます。ACアダプターキットK-AC117 (別売)を使用するか、容量が十分残っているバッテリーを使用してください。

起動画面を変更する

カメラの電源を入れたときに表示する起動画面を設定します。

起動画面には、次の画像が選択できます。

- 撮影モードとボタンのガイドを表示する「ガイド表示起動画面」
- プリインストール画面(1種類)
- 撮影した画像(設定が可能な画像のみ)
- **1** 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で (起動画面設定) を選ぶ
- 2 OKボタンを押す

起動画面を選択する画面が表示されます。

3 十字キー(◀▶)を押して、起動画面を選ぶ

起動画面に設定できる画像だけが表示されます。その他に、プリインストール画面とガイド表示起動画面が選択できます。



4 OK ボタンを押す

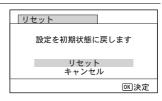
設定が保存されます。



- 設定した起動画面は、元の画像を消去したり、SDメモリーカードや内蔵メモリーをフォーマットしても消去されません。ただし、元の画像を消去した後や、フォーマット後に起動画面を変更すると、その画像は消去されます。
- 「オフ」を選ぶと起動画面は表示されません。
- 再生起動モードで電源を入れたときは、起動画面は表示されません。
- 動画は記動画面には使えません。

カメラの設定内容を工場出荷時の状態に戻します。リセットされる項目については「初期設定一覧」(p.206) をご覧ください。

- 1 「\設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「リセット」を選ぶ
- **2** 十字キー (▶) を押す
 「リセット」画面が表示されます。
- **3** 十字キー(▲)で「リセット」を選ぶ



4 OK ボタンを押す

設定がリセットされます。

6 ダイレクト起動を設定する

電源がオフのときに電源ボタン以外のボタンを押して各機能を起動させるダイレクト起動を設定します。

再生起動	オンに設定すると、電源オフ時に ID ボタンの長押しで再生 モードで起動することができます。
LEDライト	オンに設定すると、電源オフ時にグリーンボタンの長押しで LEDライトを点灯できます。
スタイルウォッチ	オンに設定すると、電源オフ時に OK ボタンの長押しで画像モニターに時計を表示できます

- 1 「、、設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「ダイレクト起動」を選ぶ
- **2 +字キー(▶)を押す** 「ダイレクト起動」画面が表示されます。

180

3 十字キー (▲▼) で設定する項目を 選ぶ

ダイレクト起動		
再生起動	4 ⊠	>
LEDライト スタイルウォッ	グ チ 図	
MENU) 🍮		

4 十字キー (◀▶) で☑ /□を切り替える

☑ :ダイレクト起動を許可する□ :ダイレクト起動を許可しない



初期値はすべてオンになっています。

スタイルウォッチを使う

カメラを時計のように使うことができます。電源がオフのときに**OK** ボタンを長押しすると、画像モニターに時計を表示します。

1 OK ボタンを長押しする

電源がオンになり、画面に時計が表示されます。

約10秒経過すると、自動的に電源がオフに なります。

また、電源ボタンを押すと、すぐに電源がオフになります。





OK ボタンを押してもスタイルウォッチを表示させないようにするときは「設定」メニューの「ダイレクト起動」で「スタイルウォッチ」を「□(オフ)に設定します。(p.180)

マクロ照明用LEDを点灯する

カメラをライトのように使うことができます。電源がオフのときにグリーンボタンを長押しするとLEDが点灯します。

がリーンボタンを長押しする

LEDが点灯します。「オートパワーオフ」で設定した時間が経過すると自動的 に消灯します。

また、電源ボタンを押すと、すぐに電源がオフになります。



- グリーンボタンを押しても LED ライトを点灯させないようにするときは 「設定」メニューの「ダイレクト起動」で「LEDライト」を「□(オフ)に 設定します。(p.180)
- •「オートパワーオフ」がオフに設定されている場合は、自動的には消灯しません。
- 電源ボタンを押して、消灯させてください。

画像を自動的に回転して再生する

再生時に、画像を自動回転させるかどうかを設定します。 初期値は☞ (オン)です。

1 「\ 設定」メニューから、十字キー (▲▼) で「画像の自動回転」 を選ぶ

2 +字キー (◀▶) で☑ (オン) /□ (オフ) を切り替える

☑ (オン) 画像を自動的に回転する□ (オフ) 画像を回転しない

設定が保存されます



圧力センサーを使う

圧力センサーを利用して、現在地の気圧や高度を測定できます。 電源がオフのときは、サブディスプレイに測定した情報を表示します(p.30)。 電源がオンのときは、画像モニターに表示します(p.21)。

表示する情報の種類を設定する(センサー表示)

サブディスプレイに表示する情報の種類を設定します。 現在の時刻、現在の時刻と気圧、または現在の時刻と高度を表示できます。

- ¶
 「N設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「圧力センサー」を選ぶ
- 2 +字キー (►) を押す
 「圧力センサー」画面が表示されます。
- **3** +字キー(▲▼)で「センサー表示」を選ぶ

4 +字キー (▶) を押す

ポップアップが表示されます。

5 +字キー (▲▼) で設定を選ぶ

オフ:時刻のみを表示する 気圧:時刻と気圧を表示する 高度:時刻と高度を表示する

圧力センサー	
センサー表示 ◆オフ	
使用環境	
設定リセット	
MENU ◆	OK決定

6 OK ボタンを押す

設定が保存されます。



- ・高度は気圧から計算しています。気象条件によっては、実際の高度と異なることがあります。
- ・「気圧」または「高度」を選択したときは、「使用環境」を設定してください。

カメラを使用する場所を設定する

「センサー表示」で「気圧」または「高度」を選択したときは、カメラを使用する場所を設定します。より正確に高度や水深を測定できます。



水中でカメラを使用する場合は、事前に陸上で「水中」に設定してください。

- 1 「、、設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「圧力センサー」を選ぶ
- 2 +字キー (►) を押す
 「圧力センサー」画面が表示されます。
- **3** 十字キー (▲▼) で「使用環境」を選ぶ
- 4 十字キー (▶) を押す
- 5 +字キー (▲▼) で設定を選ぶ



6 OK ボタンを押す

「地上」を選択したとき

十字キー (◀▶) で桁を選択し、十字キー (▲▼) で数値を選択します。高度 は-300~4000mで入力します。

高度が入力できたら、**OK**ボタンを押します。

設定が保存されます。

「水中」を選択したとき

設定が保存されます。



設定した高度を初期値に戻すときは、「圧力センサー」画面で「設定リセッ ト」を選択してください。

7

パソコンと接続する

カメラのUSB接続モードを設定する

カメラをUSBケーブルで接続するときの接続先を設定します。



必ずパソコンと接続する前に設定してください。USBケーブルでカメラとパソコンが接続された状態では設定できません。

- 1 カメラの電源を入れる
- **2** 「****設定」メニューから、十字キー(▲▼)で「USB接続」を選ぶ
- **オープ・オー (▶) を押す**ポップアップが表示されます。
- **4** 十字キー (▲▼) で「MSC」を選ぶ
- **5** OK ボタンを押す 設定が保存されます。

MSC & PTP

MSC (Mass Storage Class/マスストレージクラス)

パソコンにUSB接続された機器を、記憶装置として扱うための汎用のドライバプログラムです。USB機器をそのドライバで制御するための規格のことを指すこともあります。

USB Mass Storage Class対応の機器は、接続するだけで、専用のドライバをインストールせずにパソコンからファイルのコピーや読み書きを行うことができます。

PTP (Picture Transfer Protocol / ピクチャートランスファープロトコル)

USBを通じてデジタル画像の転送やデジタルカメラの制御を行うためのプロトコルで、ISO 15740として国際標準化されています。

PTP対応の機器同士では、デバイスドライバをインストールせずに、画像データの転送を行うことができます。

このカメラでは、特に指定がない限り「MSC」を選択した状態でパソコンと接続してください。

カメラとパソコンを接続する

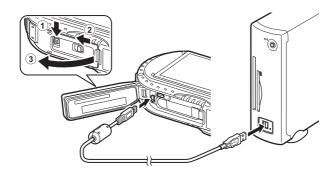
付属のUSBケーブルで、カメラとパソコンを接続します。

1 パソコンの電源を入れる

2 カメラの電源を切る

3 USBケーブルでカメラとパソコンを接続する

USBケーブル端子の<⊃を、バッテリーの方向に向けて接続してください。 正しく接続されると、電源ランプが点滅します。



4 カメラの電源を入れる

電源ランプの点滅が点灯に変わり、カメラがパソコンに認識されます。



画像の転送中に電池が消耗すると、画像データが壊れることがあります。カメラをパソコンに接続するときはACアダプターキット(K-AC117)(別売)のご使用をお勧めします(p.36)。



カメラと接続できるパソコンについては、p.188を参照してください。

パソコンからカメラを取り外す

MediaImpression などのアプリケーションでカメラを使用中の場合は、アプリケーションを終了しないとカメラを取り外すことはできません。

Windows

- **1** デスクトップ右下のタスクバーの
 「ホットプラグアイコン)を
 クリックする
- 2 接続されているカメラの取り出しをクリックする

メッセージが表示されます。

☆ デバイスとプリンターを開く(O)
□ の取り出し

- リムーバブル ディスク (L:)

3 USBケーブルをパソコンとカメラから取り外す

Macintosh

- デスクトップの「NO NAME」をゴミ箱にドラッグする
 SDメモリーカードにボリュームラベル名が付いている場合は、その名称のアイコンをゴミ箱にドラッグします。
- **2** USBケーブルをMacintoshとカメラから取り外す



カメラまたはパソコンからUSBケーブルを取り外すと、カメラは自動的に再生モードに切り替わります。

付属ソフトウェアを使用する

付属のCD-ROMには、次のソフトウェアが収録されています。

画像閲覧・管理・編集ソフト 「Medialmpression 3.6.2 LE」(Windows)

「MediaImpression 2.2 LE」 (Macintosh)

対応言語:英語/フランス語/ドイツ語/スペイン語/ポルトガル語/イタリア語/オランダ語/スウェーデン語/ロシア語/韓国語/中国語 [繁体字/簡体字]/日本語



Windows版のMediaImpressionは、動画の編集ができます。

システム環境

カメラで撮影した画像をパソコンで楽しむには、以下のシステム環境が必要です。



- 対象OSがプリインストールされたパソコンで、最新のバージョンにアップデートされているものに限ります。
- すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- 推奨環境は、動画の再生・編集をするのに必要な最低環境です。

Windows[®]

OS	Windows Vista [®] , Windows [®] 7, Windows [®] 8, Windows [®] 8.1
CPU	Intel [®] Pentium [®] IV 1.6 GHz , AMD Athlon TM XP 1800+ , または同等のプロセッサー (Intel [®] Core TM 2 Duo E6300, AMD Athlon TM 64 X2 5000+ 以上のプロセッサーを推奨)
メモリー	512 MB(2GB以上を推奨)
ハードディスク	300 MB以上の空き容量(1GB以上を推奨)

グラフィックス	128MB ビデオメモリーを搭載するIntel [®] GMA X3100/ NVIDIA GeForce [®] MX440/ATI Radeon TM 9200または同 等のグラフィックス (256MBビデオメモリーを搭載するIntel [®] GMA 4500HD/ NVIDIA GeForce [®] 8600GT/ATI Radeon TM HD 3800また はそれ以上を推奨)
モニター	1024 x 768 ピクセル, 16-bit カラーモニター またはそれ 以上

Macintosh

	_
os	Mac OS X 10.6, 10.7, 10.8
CPU	Power PC G4 800 MHz 、または同等のプロセッサー
	(Intel [®] Core TM 2 Duo 以上のプロセッサーを推奨)
メモリー	512 MB(1GB以上を推奨)
ハードディスク	300 MB以上の空き容量(1GB以上を推奨)
グラフィックス	64MBビデオメモリーを搭載するNVIDIA GeForce [®] FX 5200 Ultra または同等のグラフィックス (128MBビデオメモリーを搭載するIntel [®] GMA 950/ NVIDIA GeForce [®] 7300GT/ATI Radeon TM X1600または それ以上を推奨)
モニター	1024 x 768 ピクセル, 16-bit カラーモニター またはそれ 以上

ソフトウェアのインストール

画像閲覧・管理・編集ソフト「MediaImpression」をインストールします。



- ・お使いのパソコンに必要なシステム環境を整えてから、インストールして ください。
- 複数のアカウントを設定している場合は、管理者権限でログオンしてから インストールしてください。

ここでは、Windows 7でのインストール手順を例に説明しています。

- 1 パソコンの雷源を入れる
- **夕 付属のCD-ROMをパソコンのCD/DVDドライブにセットする** インストール画面が表示された場合は、手順5へ進みます。
- **3** スタートメニューから「コンピュータ」をクリックする
- 4 CD/DVDドライブのアイコンをダブルクリックする インストール画面が表示されます。
- **5** 「MediaImpression 3.6.2 LE」をクリックする



「設定言語の選択」画面で「日本語」を選択し、「OK」をクリックする

セットアップ画面が表示されます。画面の指示に従い、インストール作業を進めてください。

| 関連付けるファイル形式を選択し、 「次へ」をクリックする

チェックを付けると、その形式のファイルはすべてMedialmpressionで開きます。他のアプリケーションで開く場合は、クリックしてチェックを外してください。



8 「完了」をクリックする インストールが完了します。



ダ インストール画面の「Exit」をクリックする

パソコンからCD-ROMを取り出し、再起動してください。

Macintosh

- 1 Macintoshの電源を入れる
- **2** 付属のCD-ROMを、MacintoshのCD ∕ DVDドライブにセットする
- **♂** CD-ROMのアイコンをダブルクリックする
- 「Software Installer」のアイコンをダブルクリックする
 インストール画面が表示されます。
- 「Medialmpression 2.2 LE」をク リックする

セットアップ画面が表示されます。画面の指示に従い、インストール作業を進めてください。



6 「閉じる」をクリックする インストールが完了します。



プロインストール画面の「Exit」をクリックする 画面が閉じます。

ユーザー登録する

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただき ますよう、お願い申し上げます。

パソコンがインターネットに接続できる環境にあれば、インストール画面で、「ユーザー登録」をクリックします。

右図のような地図画面が表示された場合は、「Japan」をクリックしてください。弊社ホームページのユーザー登録画面が表示されます。画面の指示に従って、登録の作業を行ってください。

ユーザー登録画面が表示されない場合は、下記 アドレスから直接アクセスしてください。



https://login.ricoh-imaging.co.jp/customer/menu.aspx

WindowsでMedialmpressionを使用する

- **オメラとパソコンを接続する** p.186の手順2~4を参照してください。
 - p.186の手順2~4を参照してください。 「自動再生」画面が表示されます。
- 2 「メディアファイルをローカルディスクにインポート」をクリックする MediaImpressionが起動し、インポート画面が表示されます。



7

「自動再生」画面が表示されない場合

- 1 デスクトップの「MediaImpression 3.6.2 LE」のアイコンを ダブルクリックする
- 2 「PhotoImpression」をクリックする
- 3「インポート」をクリックする

「インポート先」のフォルダーマーク をクリックし、保存する場所を指定 する

すべての画像を転送する場合は、手順5に進みます。



4 転送する画像を選択する

複数選択する場合は、Ctrlキーを押しながら選択します。

5 「インポート」をクリックする

転送が完了するとメッセージが出ます。 転送された画像は、転送されたことを表す 矢印マークが表示されます。





- Medialmpressionの詳しい使い方は、ヘルプで調べることができます。画面右上の「メニュー」から「ヘルプ」をクリックすると、ヘルプ画面が表示されます。
- 同梱のソフトウェア「MediaImpression 3.6.2 LE」では、一部のSNS系サイトへの画像アップロード機能は、ご使用いただけません。

MacintoshでMedialmpressionを使用する

カメラとMacintoshを接続する

p.186の手順2~4を参照してください。

2 「アプリケーション」フォルダー内の「MediaImpression 2.2 LE」アイコンをダブルクリックする

MediaImpression 2.2 LE が起動し、スタートページが表示されます。



Mediaimpressi on 2.2 LE.app

3 「インポート」をクリックする インポート画面が表示されます。



4 転送する画像を選択する

複数選択する場合は、コマンドキーを押し ながら選択します。

転送先を指定する場合は、フォルダーマー クをクリックして指定します。

「インポートオプション」にチェックが付いていると、転送した画像にマークが表示されます。



7

「インポート」をクリックする



転送が完了するとメッセージ画面が出るの で、「終了」をクリックします。

画像がパソコンに転送され、メディアブラ ウザ画面が表示されます。





- ・インポート画面でカメラの画像が表示されない場合は、「メディアの取得元」で「NO NAME」(またはボリュームラベル名)を指定します。
- Medialmpressionの詳しい使い方は、ヘルプで調べることができます。メニューバーの「ヘルプ」から「ArcSoft Medialmpressionヘルプ」をクリックすると、ヘルプ画面が表示されます。
- 同梱のソフトウェア「MediaImpression 2.2 LE」では、一部のSNS系サイトへの画像アップロード機能は、ご使用いただけません。

Eye-Fiカードを使って画像を転送する

無線LAN内蔵メモリーカード(Eye-Fiカード)をカメラにセットすると、画像を無線LAN経由で自動的にパソコンなどに転送することができます。

1 Eye-Fi カードに無線 LAN アクセスポイントや転送先などを設定する

設定のしかたについては、Eye-Fiカード付属の取扱説明書をご覧ください。

- 2 カメラの電源を切る
- 3 設定したEye-Fiカードをカメラにセットする
- 4 カメラの電源を入れる
- **5** 「****設定」メニューの「Eye-Fi」を ✓ (オン) にする

画像が、自動的に転送されます。カメラの設定のしかたは「Eye-Fiを設定する」 (p.175) をご覧ください。

画像モニターには次のアイコンが表示されます。

Eye-Fi •>)	通信中 「Eye-Fi」がw に設定されていて、通信中かアクセスポイントを探 しているとき
Eye-Fi •	通信待機中 「Eye-Fi」がw に設定されていて、通信していないとき
Eye-Fi	Eye-Fi通信禁止 「Eye-Fi」が□に設定されているとき
Eye-Fi	バージョンエラー Eye-Fiカードのバージョンが古いか、ライトプロテクトされている とき



- エンドレスモードには非対応です。
- Eye-Fiカードは、最新のファームウェアに更新してご使用ください。



- 新しいEye-Fiカードを始めて使用するときは、カードをフォーマットする前にカード内のEye-Fi Managerのインストールファイルをパソコンにコピーしてからフォーマットしてください。
- ・ 画像は無線LANにより転送されるので、航空機内など無線通信の使用が制限または禁止されている場所では、Eye-Fiカードを使用しないか、Eye-Fi 設定を□(オフ)にしてください。
- バージョンの古いEye-Fiカードをカメラにセットすると、エラーメッセージが表示されます。
- 以下の場合は、画像は転送されません。
 - ・ 使用可能な無線LANアクセスポイントが見つからないとき
 - ・ 電池の容量が少ないとき (■ 黄色または 赤色表示)
- ・大量の画像を転送すると、転送に時間がかかる場合がありますので、別売のACアダプターキット(K-AC117)のご使用をお勧めします。
- 画像の転送中は、オートパワーオフ機能は働きません。
- 大きな動画ファイルなどを転送すると、カメラ内が高温となり、回路保護のために、強制的に電源がオフになることがあります。
- 無線LANによる画像転送を行うには、アクセスポイントの利用とインターネット環境および設定が必要です。詳しくは、ホームページをご覧ください。(http://www.eyefi.co.jp)
- Eve-Fiカードの使用方法は、Eve-Fiカードの使用説明書をご覧ください。
- Eye-Fiカードに関する不具合は、カードの製造元へお問い合わせください。
- ごのカメラには Eye-Fi カードの通信機能をオン/オフする機能がありますが、Eye-Fiカードのすべての機能を保証するものではありません。
- Eye-Fiガードの使用が認められているのは、カードをご購入された国のみです。使用する国の法律を遵守してください。

各撮影モードの機能対応

 \bigcirc : 設定・変更できます。 \times : 設定・変更できません。 -: 設定・変更が反映されません。

機能	撮影モード	AUTO PICT	P	Tv	HDR	2		į		Ü
ズームボタン	ズーム操作	O*2	0	0	0	0	0	O*3	0	O*3
	% オート	0	0	×	×	×	×	×	0	X
フラッシュ	発光禁止	0	0	0	0	0	0	0	0	0
モード	4 強制発光	0	0	0	×	0	×	X	0	×
C 1.	®A オート+赤目	0	0	×	×	×	×	×	0	×
	☞ 強制+赤目	0	0	0	X	0	×	X	0	X
	口 標準	0	0	0	0	0	×	0	0	0
ドライブ	じぬ セルフタイマー	0	0	0	0	0	×	0	0	0
モード	🖳 闡 連続撮影/高速連写	X	0	0	X	×	×	X	0	X
C 1	ůů₃s リモコン	0	0	0	0	0	×	0	0	0
	🖲 オートブラケット	X	0	0	X	0	×	X	0	X
	AF 標準	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	🖔 マクロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フォーカス	器 1cmマクロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
モード	PF パンフォーカス	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	▲ 無限遠	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	MF マニュアルフォーカス	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(p.200へ続く)

* ■ * = = = = = = = = = = = = = = = = = =	<u> </u>	9	,2 %)	HS	ķ	S		(4)	€	Ç.	*		•
0	0	0	○*38	○*38	○*38	○*4	O*4	0	0	0	0	○*5	○*6
0	0	0	×	×	×	×	×	0	0	0	X	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	×	×	×	×	×	0	0	0	X	0	×
0	0	0	×	×	×	×	×	0	0	0	×	0	×
0	0	0	×	×	×	×	×	0	0	0	X	0	×
0	0	×	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	×	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	×	×	×	×	×	×	0	0	0	×	0	×
0	0	×	×	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×
0	0	×	×	×	×	×	×	0	0	0	×	0	×
0	0	0	0	0	0	×	×	0	0	0	×	0	0
0	0	0	0	0	0	×	×	0	0	0	×	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	X	0	×
0	0	0	0	0	0	×	×	0	0	0	×	0	0
0	0	0	0	0	0	X	X	0	0	0	0	0	×
0	0	0	×	0	0	×	×	0	0	0	×	0	×

○: 設定・変更できます。 ×: 設定・変更できません。 —: 設定・変更が反映されません。

機能	_	撮影モード	AUTO PICT	P	Tv	HDR	2		ä	۱	
	画像仕	<u>:</u>	X*8	0	0	X*8	0	0	0	X*8	X*8
	記録サ	イズ	0	0	0	0	0	0	O*10	0	O*10
	画質		0	0	0	0	0	0	X*17	0	X*17
	ホワイ	トバランス	X*19	0	0	0	0	0	0	X*19	X*19
		AFエリア	×*20	0	0	0	0	0	O*21	0	O*21
	AF	オートマクロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		AF補助光	0	0	0	0	0	0	×*7	0	×*7
	測光方	式	X*23	0	0	0	0	0	X*23	×*23	X*23
	感度		0	0	X*24	X*24	0	O*13	X*24	0	X*24
	感度A	UTO調整範囲	0	0	X*26	O*13	0	O*13	X*26	0	X*26
	露出補	正	X*28	0	0	0	0	0	0	0	0
	D-Ran	ge設定	X*7	0	0	X*7	0	○*9	0	0	0
	手ぶれ	.補正*1	0	0	0	O*34	0	X*35	0	0	0
		顔検出オン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
「✿撮影」		スマイルキャッチ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
メニュー	顔検出	自分撮りアシスト/自 分撮りアシスト+スマ イルキャッチ	O*30	O*30	○*30	○*30	○*30	○*30	×	O*30	×
		顔検出オフ	×	0	0	0	0	0	0	0	0
		き検出	0	0	0	×*7	0	0	×*7	0	×*7
		ルズーム	O*37	O*37	O*37	0	O*37	O*37	0	O*37	0
		クビュー	0	0	0	0	0	0	-	0	-
		メモリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ンボタン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	コント	シャープネス/彩度(調色)/ コントラスト			0	0	0	0	0	×*29	×*29
	日付写	し込み	0	0	0	0	0	0	X*12	0	X*12
	超解像		0	0	0	0	0	×*7	0	0	0
	電子水	準器	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マクロ		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	コンバ	ージョンレンズ	0	0	0	0	0	0	0	0	0

*1: 動画はMovie SR、静止画はShake Reduction

*2: デジタルズーム、インテリジェントズーム 使用時は (花) 判定になりません

*3: デジタルズームは使用可。光学ズームは撮影前は使用可、動画メニューの「撮影中の光学ズーム」が が (オン) のときは、撮影中も使用可。インテリジェントズームは使用不可

*4: 光学ズームとインテリジェントズームのみ可、デジタルズームは使用不可

*5: 光学ズームのみ可、デジタルズームとイン テリジェントズームは使用不可

*6: 光学ズームとデジタルズームのみ可、イン

テリジェントズームは使用不可

*7: □ (オフ) 固定 *8: 鮮やかに固定 *9: シャドー補正のみ可 *10: 動画メニューで設定

*11: **2M** ISB 固定 *12: オフ固定 *13: 上限感度1600 *14: **3M** / **2M** ISB 固定

*15: <u>1280</u>固定 *16: <u>12M</u>ISB 固定

→ *	<u> </u>	9	₽ S	HS	,	⊗		(4)	•	O 5	*		•
X*8	×*8	0	0	0	0	0	0	0	X*8	X*8	X*8	0	×*8
0	0	0	×	×*32	×*33	×*11	O*10	0	0	0	0	×*15	×*16
0	0	0	×*17	×*17	×*17	0	×*17	0	0	0	0	0	×*18
X*19	X*19	0	0	0	0	0	0	0	×*19	×*19	×*19	×*19	×*19
0	0	0	O*21	O*21	O*21	0	O*21	0	0	0	×*20	0	×*20
0	0	0	0	0	0	×	×	0	0	0	×	0	×*22
0	0	0	×*7	×*7	×*7	0	0	0	0	0	×	0	×*22
×*23	×*23	0	×*23	×*23	×*23	0	×*23	0	×*23	×*23	×*23	×*23	×*23
0	0	0	×*24	×*24	×*24	O*13	×*24	×*24	0	0	×*25	0	X*24
0	0	0	×*26	×*26	×*26	O*13	×*26	×*27	0	0	I	×*27	×*26
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×*28
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×*39
0	0	×*7	×*7	×*7	0	0	0	○*34	0	0	○*34	○*34	×*36
0	0	0	0	0	0	×	×	0	0	0	0	0	0
0	0	X	X	0	0	×	×	0	0	×	0	0	×
O*30	○*30	O*31	O*31	×	×	×	×	○*30	○*30	×	○*30	×	×
0	×	0	0	0	0	0	0	0	0	×	0	0	×
0	0	0	×*7	×*7	×*7	×*7	×*7	0	0	0	0	0	X*22
O*37	O*37	O*37	0	0	0	×*7	0	0	O*37	O*37	O*37	×*7	×*22
0	0	0	_	_	_	0	_	0	0	0	0	0	X*22
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	×
×*29	×*29	0	0	0	0	0	0	0	×*29	×*29	×*29	×*29	×*29
0	0	0	X*12	X*12	X*12	0	X*12	0	0	0	0	0	X*7
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	X*22
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	X*7
0	0	0	0	0	0	X*22	X*22	0	0	0	0	0	X*7
0	0	0	0	0	0	X*7	X*7	0	0	0	0	0	X*7

*17: ★★★ (S.ファイン) 相当に固定

*18: ★★ (ファイン) 固定

*19: AWB固定

*20: [] (マルチ) 固定

■(2) (自動追尾) 不可 *21:

*22: ☑ (オン) 固定

*23: ◎ (分割測光) 固定

*24: AUTO固定

*25: 最低感度固定

*26: 125-1600で自動設定

*27: 125-6400で自動設定

*28: ±0.0固定

*29: 標準に固定

*30: マクロ照明がオンのときは不可*31: 図(自分撮りアシスト)のみ可

*32: 1280×720固定 *33 : 640×360固定

*34: デュアルは選択不可 *35 :

デュアル固定センサーシフト固定 *36 :

*37: 感度が3200/6400のときは、□(オ フ)固定

・ デ学ズーム、デジタルズームは撮影前は使用可。インテリジェントズームは使用不可 *38:

*39: オート固定

カメラを使用中に、画像モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

メッセージ	内容
した	バッテリーの残量がありません。バッテリーを充電してください (p.34)。
カードの空き容量があ りません	SDメモリーカードに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。
カードの空き容量が足 りません	新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を 消去してください(p.38、p.132)。
画像をコピーできませ ん	撮影済み画像の記録サイズまたは画質を変えると、保存できる可能性があります (p.140)。
カードが異常です	SDメモリーカードの異常で、撮影/再生ともにできません。パソコン上では画像を表示またはコピーできる場合もあります。
内蔵メモリーがフォー マットされていません	内蔵メモリーの内容が壊れています。内蔵メモリーを フォーマットしてください。
カードがフォーマット されていません	フォーマットされていないSDメモリーカードがセットされているか、パソコンなどでフォーマットされたSDメモリーカードがセットされています (p.162)。
カードがロックされて います	SD メモリーカードがライトプロテクトされています (p.6)。
圧縮に失敗しました	画像の圧縮に失敗しました。画質/サイズを変えて、もう 一度撮影または保存してください。
画像がありません	SDメモリーカード、内蔵メモリーに再生できる画像が保存されていません。
動画記録を中止します	動画撮影時にカメラ内部の温度上昇が限界を超えた場合に表示されます。
消去中です	画像を消去中に表示されます。
再生できません	このカメラでは再生できない画像を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。
フォルダーが作成でき ません	最大のフォルダー番号(999)で最大のファイル番号(9999)が使用されているため、画像を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットしてください(p.162)。
プロテクトされていま す	プロテクトされた画像を消去しようとした場合に表示されます。
記録中です	画像がまだ記録中なのに、▶ モードに切り替えたとき/プロテクト/DPOF設定記録中に表示されます。画像または設定の記録が終了したら表示が消えます。

8 付録

_	
メッセージ	内容
処理中です	画像処理などに時間がかかり5秒以上スルー画像が表示できないとき、またはSDメモリーカード/内蔵メモリーをフォーマット中に表示されます。
内蔵メモリーの空き容量がありません	ファイルを保存するときに、内蔵メモリーの空き容量がない場合に表示されます。
処理できる画像があり ません	画像ファイルが1つもない場合に表示されます。
この画像を処理できません	実行できないファイルの場合に表示されます。
カードが入っていませ ん	SDメモリーカードが挿入されていない場合に、再生モードパレットで「画像コピー」を選び、OKボタンを押すと表示されます。
内蔵メモリーの空き容量が足りません 画像をコピーできません	コピーに必要な空き容量が内蔵メモリーに残っていない 場合に表示されます。
正しく処理できません でした	赤目補正処理に失敗した場合に表示されます。
電池容量がたりないた めピクセルマッピング を行えません	ピクセルマッピング時に電池容量が足りない場合に表示されます。バッテリーを交換する (p.32) か、ACアダプターキットK-AC117 (別売) を使用してください (p.36)。
これ以上選択できませ ん	コラージュで選択可能な枚数を超えた場合に表示されま す。
カメラが高温になりま した 電源をオフします	カメラ内部の温度が上限を超えた場合に表示されます。
電池容量がたりないた め操作を実行できませ ん	GPS測位開始、ログの取得、保存、破棄時に電池容量が足りない場合に表示されます。

現象	原因	対処方法
	バッテリーが入ってい ない	バッテリーが入っているか確認し、入っ ていなければ入れてください。
電源が入らない	バッテリーの入れかた を間違えている	バッテリーの挿入方向を確認してください。⊕⊖表示に従ってバッテリーを入れ直してください(p.32)。
	バッテリーの残量がな い	バッテリーを充電してください。
	パソコンに接続してい る	パソコンに接続しているときは、画像モニターは常にオフになります。
画像モニターに何 も表示されない	テレビに接続している	テレビに接続しているときは、画像モニターは常にオフになります。
	画像モニターがオフに セットされている	OK ボタンを押すと、画像モニターがオンになります。
	画像モニターの明るさ が暗く設定されている	「 へ 設定」メニューの「LCDの明るさ」で 明るさを調整してください(p.176)。
画像モニターの表示が見にくい	節電機能(エコモード) が働いている	節電機能が働いていると、一定時間操作しないときに、画像モニターの明るさが自動的に暗くなります。何かのボタン操作をすると、元の明るさに戻ります。「↑フ」に設定することで、節電機能す働かないようにすることもできます(p.176)。
	フラッシュが充電中	フラッシュ充電中は撮影できません。充 電が完了すると撮影できます。
シャッターが切れ ない	SDメモリーカードま たは内蔵メモリーに空 き容量がない	空き容量のあるSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください (p.38、132)。
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。
撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で 撮るものまでの距離が 遠い	被写体までの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。フラッシュの光 が届く範囲で撮影してください。

現象	原因	対処方法
	オートフォーカスの苦 手なものを撮影しよう としている	いったん撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定 (シャッターボタン半押し) したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります (p.60)。またはマニュアルフォーカスを使用してください (p.84)。
ピントが合わない	AFエリアに被写体が 入っていない	画像モニター中央のAFエリアに、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものが、AFエリアにない場合は、いったん撮りたいものをAFエリアに入れて、ピントを固定(シャッターボタン半押し)したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	フラッシュの発光方法 が③(発光禁止)になっ ている	% (オート) または 5 (強制発光) に設定してください (p.82)。
フラッシュが発光 しない	ドライブモードが ・ (連 続 を)、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	これらのモードではフラッシュは発光 しません。



静電気などの影響により、まれにカメラが正しい動作をしなくなることがあります。このような場合には、バッテリーを入れ直してみてください。入れ直してから再度、電源を入れてカメラが正常に動作すれば故障ではありませんので、そのままお使いいただけます。

各メニュー項目の中で、初期設定値があるものの表示内容を示します。

ラストメモリ設定

する : カメラの電源を切っても現在の設定(ラストメモリ)が保存される

しない :カメラの電源を切ると初期設定に戻る

※ :「する」/「しない」は「モードメモリ」(p.119)の設定による

- :該当なし

リセット設定

する : リセット (p.180) で初期設定に戻る しない : リセットしても設定が保存される

- : 該当なし

●「四撮影」メニュー項目

名称		初期設定 (撮影モード: P)	ラストメ モリ設定	リセット 設定	参照
画像仕上		鮮やか	する	する	p.86
記録サイス	ζ.	<u>12м</u> (3608×2592)	する	する	p.87
画質		★★ (ファイン)	する	する	p.88
ホワイト/	バランス	AWB (オート)	*	する	p.89
	AFエリア	[](マルチ)	する	する	p.85
AF	オートマクロ	☑ (オン)	する	する	p.85
	AF補助光	☑ (オン)	する	する	p.86
測光方式		◎ (分割)	*	する	p.91
感度		AUTO (125~1600)	*	する	p.92
感度AUTC)調整範囲	125~1600	*	する	p.93
露出補正		±0.0	*	する	p.93
D-Range	ハイライト補正	オート	する	する	p.94
設定	シャドー補正	オート	する	する	p.94
Shake Reduction		センサーシフト	する	する	p.95
顔検出		◎(顔検出オン)	*	する	p.96
まばたき検出		☑ (オン)	する	する	p.99
デジタルス	ベーム	☑ (オン)	*	する	p.63
クイックヒ		☞ (オン)	する	する	p.99

8 付録

名称		初期設定 (撮影モード: P)	ラストメ モリ設定	リセット 設定	参照
	顔検出モード	□ (オフ)	する	する	
	フラッシュモード	☑ (オン)	する	する	
	ドライブモード	□ (オフ)	する	する	
	フォーカスモード	□ (オフ)	する	する	
	ズーム位置	□ (オフ)	する	する	
T 12	MF位置	□ (オフ)	する	する	
モード メモリ	ホワイトバランス	□ (オフ)	する	する	p.119
<i>y</i> . L <i>y</i>	感度	□ (オフ)	する	する	
	露出補正	□ (オフ)	する	する	
	測光方式	□ (オフ)	する	する	
	デジタルズーム	☑ (オン)	する	する	
	DISPLAY	□ (オフ)	する	する	
	ファイルNo.	☑ (オン)	する	する	
グリーン:	ボタン	グリーンモード	する	する	p.100
シャープ	ネス	 (標準)	する	する	p.103
彩度		 - - - - - - - - - -	する	する	p.103
調色		 • (白黒)	する	する	p.103
コントラスト		 - - - - - - - - - -	する	する	p.104
日付写し込み		オフ	する	する	p.104
超解像		☑ (オン)	する	する	p.105
マクロ照明		□ (オフ)	する	する	p.105
電子水準	器	☑ (オン)	する	する	p.106
コンバー	ションレンズ	□ (オフ)	する	する	p.106

●「鷽動画」メニュー項目

名称	初期設定	ラストメ モリ設定		参照
記録サイズ	1928₀ (1920 × 1080 • 30fps)	する	する	p.111
Movie SR	☑ (オン)	する	する	p.112
風切音低減	□ (オフ)	する	する	p.112
撮影中の AF	□ (オフ)	する	する	p.113
撮影中の光学ズーム	□ (オフ)	する	する	p.113

	名称	初期設定	ラストメ モリ設定	リセット 設定	参照	
USER ± −	 ド登録	キャンセル	する	する	p.72	
	操作音量	3	する	する		
	再生音量	3	する	する	p.163	
		オフ	する	する		
サウンド	シャッター音	1	する	する		
	操作音	1	する	する		
	セルフタイマー音	1	する	する		
	表示スタイル(日付)	初期設定による	する	しない		
	表示スタイル (時刻)	24h	する	しない	p.45	
日時設定	日付	2014/01/01	する	しない	p.164	
	時刻	初期設定による	する	しない		
	アラーム	オフ	する	する	- 405	
アラーム	時刻	00:00	する	する	p.165	
	時刻切替	☎ (現在地)	する	する		
	日的地 (都市)	初期設定による	する	しない		
ワールド	目的地(夏時間)	□ (オフ)	する	しない	p.167	
タイム	現在地(都市)	初期設定による	する	しない		
	現在地(夏時間)	□ (オフ)	する	しない		
文字サイ		標準	する	しない	p.169	
Language	e/言語	初期設定による	する	しない	p.42 p.169	
フォルダ		日付	する	する ^(※1)	p.170	
ファイル		RIMG	する	する	p.172	
USB接続		MSC	する	する	p.185	
ビデオ出		初期設定による	する	しない	p.174	
HDMI出力		オート	する	する	p.174	
Eve-Fi		□ (オフ)	する	する	p.175	
LCDの明	るさ	(標準)	する	する	p.176	
エコモー	ĸ	5秒	する	する	p.176	
オートパ	<u>.</u> ワーオフ	3分	する	する	p.177	
クイック:			する	する	p.177	
ガイド表		☑ (オン)	する	する	p.178	
リセット		キャンセル	_	_	p.180	
全画像消	 去	キャンセル	_	_	p.134	
ピクセル	マッピング	キャンセル	T —	_	p.178	
	再生起動 LEDライト	☑ (オン)	する	する	p.180	
タイレク	LEDライト	☑ (オン)	する	する	p.180	
ト起動	スタイルウォッチ	☑ (オン)	する	する	p.180	
フォーマ		キャンセル	_	_	p.162	
		•			-	

8 付録

名称		初期設定	ラストメ モリ設定	リセット 設定	参照	
画像の自動	動回転		オン	する	する	p.182
	GPS測位		オフ	する	する	
(%3)	000 E #	ログの取得	記録間隔:15秒 記録時間:1時間	する	する	GPS
GPS ^(※2)	GPSログ	ログの保存	保存	_	_	ガイド
		ログの破棄	キャンセル	_	_	
	自動時刻修正		オフ	する	する	
電子コン パス ^(※2)	キャリブレ	ーション	_	_	_	GPS ガイド
	センサー表:	示	オフ	する	する	p.182
圧力セン サー ^(※2)	使用環境	地上	0000m	する	する	p.182
サー ^(※2)	使用垛児	水中	_	する	する	p.182
	設定リセッ	\	_	_	_	p.182

^(※1) 作成したフォルダー名を除く

^(※2) RICOH WG-4 GPSのみ

スライド

ショウ

名称

表示間隔

画面効果

効果音

デフォルト

する

する

p.179

初期設定

3秒

ワイプ

☑ (オン)

ラストメ リセット

設定

する

する

する

モリ設定

する

する

する

参照

p.128

起動画面設定

● キーによる操作

名称	名称 機能 初期設定		ラストメ モリ設定	リセット 設定	参照	
▶ボク	タン	動作モード	▶モード		_	_
ズーム' ボタ		ズーム位置	広角端	*	しない	p.62
	•	ドライブモード	口(標準)	*	する	p.76 ~ p.79
十字	•	撮影モード	跚(オートピク チャー)	する	する	p.65
	•	フラッシュモード	タ A (オート)	*	する	p.82
	٨	フォーカスモード	AF (標準)	*	する	p.83
MENU ボタン メニュー表示		メニュー表示	静止画撮影モード: 「□撮影」メニュー 動画モード: 「曾動画」メニュー 再生モード: 「八き歌座」メニュー 再生モード:	1	1	p.52
OK ボ	OK ボタン 情報表示 通		通常表示	*	する	p.21
	グリーン ボタン 機能呼び出し グリーンモード		する	する	p.69	
動画ボ	タン	動作モード	動画撮影を開始	_	_	p.110

都市名:「初期設定」(p.42) やワールドタイム (p.167) で設定できる都市 ビデオ出力方式:「初期設定」で設定した都市のビデオ出力方式

地域	都市名	ビデオ 出力方式	地域	都市名	ビデオ 出力方式
北米	ホノルル	NTSC	アフリカ・	イスタンブール	PAL
	アンカレジ	NTSC	西アジア	カイロ	PAL
	バンクーバー	NTSC		エルサレム	PAL
	サンフランシスコ	NTSC		ナイロビ	PAL
	ロサンゼルス	NTSC		ジッダ	PAL
	カルガリー	NTSC		テヘラン	PAL
	デンバー	NTSC		ドバイ	PAL
	シカゴ	NTSC		カラチ	PAL
	マイアミ	NTSC		カブール	PAL
	トロント	NTSC		マーレ	PAL
	ニューヨーク	NTSC		デリー	PAL
	ハリファックス	NTSC		コロンボ	PAL
中南米	メキシコシティ	NTSC	1	カトマンズ	PAL
	リマ	NTSC		ダッカ	PAL
	サンティアゴ	NTSC	東アジア	ヤンゴン	NTSC
	カラカス	NTSC		バンコク	PAL
	ブエノスアイレス	PAL		クアラルンプール	PAL
	サンパウロ	PAL		ビエンチャン	PAL
	リオデジャネイロ	NTSC		シンガポール	PAL
ヨーロッパ	リスボン	PAL		プノンペン	PAL
	マドリード	PAL		ホーチミン	PAL
	ロンドン	PAL	1	ジャカルタ	PAL
	パリ	PAL	1	香港	PAL
	アムステルダム	PAL	1	北京	PAL
	ミラノ	PAL		上海	PAL
	ローマ	PAL	1	マニラ	NTSC
	コペンハーゲン	PAL	1	台北	NTSC
	ベルリン	PAL	1	ソウル	NTSC
	プラハ	PAL	1	東京	NTSC
	ストックホルム	PAL	1	グアム	NTSC
	ブダペスト	PAL	オセアニア	パース	PAL
	ワルシャワ	PAL	11	アデレード	PAL
	アテネ	PAL	11	シドニー	PAL
	ヘルシンキ	PAL	11	ヌーメア	PAL
	モスクワ	PAL	11	ウェリントン	PAL
アフリカ・	ダカール	PAL	11	オークランド	PAL
西アジア	アルジェ	PAL	11	パゴパゴ	NTSC
	ヨハネスブルグ	PAL	1	•	

主な仕様

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ
有効画素数	約1600万画素
撮像素子	1/2.3型CMOS
記録画素数	静止画 16M (4608×3456)、12M EBI (3456×3456)、12M EBI (4608×2592)、 7M (3072×2304)、5M EBI (372×1728)、 5M (2592×1944)、4M EBI (2592×1464)、 3M (2048×1536)、2M EBI (1920×1080)、 1024 (1024×768)、640 (640×480)
	 ※ デジタル顕微鏡モード時は 2M ma ※ 高速連写時は 5m / 4M ma ※ CALSモード時は 1280 固定 ※ オリジナルフレーム時は 5m / 4M ma
	動画 1926 (1920x1080・30fps)、1286 (1280x720・60fps) 1286 (1280×720・30fps)
感度	オート、マニュアル(ISO 125、200、400、800、1600、3200、6400) ※高感度モード時はAUTO(125~6400)に固定
記録方式	静止画 JPEG(Exif2.3準拠)、DCF2.0準拠、DPOF対応、 PRINT Image Matching III対応
	動画 MPEG-4 AVC/H.264、約60fps / 約30fps (フレーム/秒)、ステレオ音声付、Movie SR (動画手ぶれ補正)
画質	静止画 ★★★ (S.ファイン)、★★ (ファイン)、★ (エコノミー)
	動画 ★★★ (S.ファイン) 固定 ※変更不可
記録媒体	内蔵メモリー(約70MB)、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、 SDXCカード

- 撮影枚数は目安です。SDメモリーカードや被写体により実際の撮影枚数は異なることがあります。
- 1280 (1280×960) は (CALS) モード時だけの記録サイズです。

動画

	カギノエリ	2GB
	内蔵メモリー	SDメモリーカード
1920 (1920×1080 ⋅ 30fps)	26秒	16分21秒
1280 (1280×720 ⋅ 60fps)	34秒	16分29秒
1286 (1280×720 · 30fps)	41秒	26分00秒

- この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。
- ・動画で連続記録できるのは1回につき25分までです。

オート、太陽光、マニュアル焦点距離開放絞り	日陰、白熱灯、蛍光灯(昼光色、昼白色、白色)、 4.5~18.0mm (35mm判換算值:約25~100mm相当)
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
開放絞り	(3311111年) 关并但,约23 10011111111111111
	F2.0 (W) ~F4.9 (T)
レンズ構成	7群9枚(非球面レンズ4枚使用)
ズーム方式	電動式
4倍	
3m:約9倍、2m	図:約6倍、[5M]:約7.1倍、400図:約7.1倍、 「図3:約9.6倍、『1024』:約18倍、 (光学ズームと合わせたズーム倍率)
最大約7.2倍 (光学 ム倍率)	4倍ズームと合わせ、最大28.8倍ズーム相当のズー
静止画	センサーシフト方式 (SR : Shake Reduction)、デュアル(SR×電子式併用)、 高感度ぶれ軽減モード
動画	電子式(Movie SR)
広視野角3.0型(ワ	イド) 約46万ドットLCD(ARコート(カバーのみ))
1コマ、6画面、12 ルダー表表示、ル 大表示、 画の カーパー カーパー カーパー カーパー カーパー カーパー カーパー カーパ	一
オートフォーカス	、マクロ、1cmマクロ、パンフォーカス、無限遠、
方式	撮像素子によるTTLコントラスト検出方式 マルチ(9点AF)/スポット/自動追尾切替可
フォーカス範囲	標準 : 0.4m~∞ (ズーム全域) マクロ : 0.1m~0.5m (ズーム全域) 1cmマクロ : 0.01m~0.3m (ズーム域の中間部 から望遠側) ※無限遠、パンフォーカス、マニュアルフォーカ ス切替可 ※顔検出中のみ、顔検出AF可
フォーカス ロック	シャッターボタン半押しによる
測光方式	撮像素子によるTTL測光(分割、中央重点、スポット)
露出補正	±2EV(1/3EVステップで設定可能)
検出数:1	
鏡、風景、花、ポ 画、ハイスピード サーフ&スノー、	、プログラム、シャッター優先、USER、HDR、手マーメード、マーメードなービー、デジタル顕微 ・トレート、インターバル撮影、インターバル動 ・カメラ、早送り動画、1cmマクロ動画、高感度、 キッズ、ペット、スポーツ、夜景、夜景ポートレー CALS、グリーン
	TM Subject Subject

デジタルフィルター	白黒/セピア、トイカメラ、レトロ、カラー(赤、桃、紫、青、緑、黄)、色抽出(赤、緑、青)、色強調(晴天、新緑、花見、紅葉)、ハイ コントラスト、トゥインクル(クロス、ハート、星)、ソフト、フィッ
	シュアイ、明るさ、ミニチュア
動画	連続録画時間 約1秒~25分(ただし内蔵メモリー/SDメモリーカードの容量いっぱいまで)
シャッター速度	1/4000~1/4秒(メカニカルシャッターと電子シャッターの併用)、 1/2000~4秒(シャッター優先、夜景モード時)
内蔵フラッシュ	発光モード 自動発光、発光禁止、強制発光、自動発光+赤目軽減、強制発光+赤目軽減
	調光範囲 広角時 約0.2~10.4m (感度オートの条件において) 望遠時 約0.2~4.2m (感度オートの条件において)
ドライブモード	1コマ撮影、セルフタイマー撮影(約10秒後、約2秒後)、連続撮影、 高速連写、リモコン撮影(即、約3秒後)、オートブラケット撮影
セルフタイマー	電子制御式、制御時間:約10秒、約2秒
時計機能	ワールドタイム 世界75都市に対応 (28タイムゾーン)
	スタイル 電源オフ時に OK ボタン長押しで時刻表示(約10秒 ウォッチ
	アラーム 指定時間にアラームと同時にスタイルウォッチを表示
電源	専用リチウムイオンバッテリーD-LI92、ACアダプターキット (別売)
電池寿命	撮影可能枚数 ※撮影可能枚数は CIPA 規格に準じた測定条件によ 約240枚 る目安であり、使用条件により変わります。(CIPA 規格抜粋:画像モニター ON、フラッシュ使用率 50%、23℃)
	再生時間 ※ 時間は当社の測定条件による目安であり、使用条約200分 件により変わります。
	動画撮影時間 ※時間は当社の測定条件による目安であり、使用条約65分 件により変わります。
外部インターフェイス	USB 2.0 (ハイスピード対応) / USB/AV端子 / HDMI端子 (タイプD (Micro))
ビデオ出力方式	NTSC / PAL(モノラル音)
防水・防塵性能	JIS防水保護等級8級、JIS防塵保護等級6級(IP68)準拠 水深14m、連続2時間の水中撮影が可能
耐衝擊性能	MIL-Standard 810F Method 516.5-Shockの測定方法に準じた、当社独自の基準(高さ:2.0m、落下面:厚さ5cm合板)での落下テストをクリア ※本製品をぶつけたり落下させたりなどの衝撃を与えた場合、防水性能は保証しません。 ※すべての条件で無破損・無故障を保証するものではありません。
外形•寸法	約125(幅)×64.5(高)×32(厚)mm(操作部材、突起部を除く)
質量(重さ)	RICOH WG-4 GPS:
,_ ,_ ,	本体約216g(バッテリー、SDメモリーカード含まず) 約236g(バッテリー、SDメモリーカード含む) RICOH WG-4:
	本体約209g (バッテリー、SDメモリーカード含まず) 約229g (バッテリー、SDメモリーカード含む)
主な付属品	専用バッテリー、充電用電源アダプター(ACプラグつき)、USBケーブル、ソフトウェア(CD-ROM)、カラビナストラップ、マクロスタンド、使用説明書、簡単ガイド、GPS機能活用ガイド(RICOH WG-4 GPSのみ)、保証書

記号	
ロ モード	51
▶モード	51
▶ボタン	47, 49
「凸撮影」メニュー	
「骨動画」メニュー	56, 207
「 へ 設定」メニュー	56, 208
●グリーンモード	69
面消去	
Q.拡大表示	
T望遠	
Tv シャッター優先	71
USERユーザー	72
w 広角	62
端 オートピクチャー	66
🖭 プログラム	66
HDR HDR	
■手持ち夜景	66
焓動画	109
マーメード	107
□マーメードムービー	107
	74
■ 風景	
*花	
3ポートレート	67
❷ インターバル撮影	75
🖏 インターバル動画	114
鷽 ハイスピードカメラ	117
♣早送り動画	
🦓 1cmマクロ動画	118
(4) 高感度	67
♣サーフ&スノー	67
美 キッズ	67
№ペット	74
҈なポーツ	67
彌夜景	67
☆ 不 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	67
※ 花火	67

¶ 料理	
CALS	
■スライドショウ◇画像回転	
◇ 画塚四転 ※ 小顔フィルター	
②	
■ コラージュ	
HDR HDRフィルター	
オリジナルフレーム	. 150
왕動画編集	
■リサイズ	
回トリミング	.141
爲画像コピー	. 156
○ プロテクト	
■ 起動画面設定	
	. 179
数字	
1cmマクロ	
6画面表示/12画面表示	. 123
A	
ACアダプター	
AFエリア	85
AF 補助光	86
AV機器と接続する AVケーブル	
C	. 130
•	
CALSモード	67
D	
DPOF設定	. 158
D-Range設定	94
E	
Eye-Fi175,	196
H	
HDMI	.174

HDRフィルター145	オートマクロ	85
L	音の種類	163
LEDライト105, 181	オリジナルフレーム	150
M	音量を変更	163
	か行	
Macintosh189	カードチェック	40
MediaImpression188	回転表示	
MENU ボタン48, 50	ガイド表示	
Movie SR(動画手ぶれ補正)112	顔検出	
MSC185	拡大表示Q	,
0	風切音低減	
OK ボタン48, 50	画質	
P	画像回転	
PTP185	画像コピー	
	画像仕上	
S	画像の自動回転	
SDメモリーカード38	画像モニターの明るさ	
Shake Reduction95	画素数	
U	カラーフィルター	
USB接続185	カレンダー表示	
W	簡単撮影モード	
Windows	感度	
	感度AUTO調整範囲	
あ行	起動画面(設定)	
赤目軽減 🖫 🕻 (フラッシュ)82	強制発光 \$ (フラッシュ)	
赤目補正149	強制+赤目® (フラッシュ).	
明るさフィルター143	魚拓フィルター	
圧力センサー182	記録サイズ	
アラーム165	クイック拡大	
色強調フィルター143	クイックビュー	
色抽出フィルター143	グリーンボタン回	
インストール189	グリーンボタン設定	
インターバル撮影75	グリーンモード	
インターバル動画114	蛍光灯	
エコモード176	言語設定	
オート~(フラッシュ)82	現在地	167
オート AWB	光学ズーム	113
(ホワイトバランス)89	高速連写	78
オート+赤目 ®4(フラッシュ)82	小顔フィルター	142
オートパワーオフ177	コピー	156
オートブラケット 🖳79	コラージュ	146

付録

コントラスト104	設定を保存119
コンバージョンレンズ104	設定をリセット180
	節電機能
さ行	即电機能
再生(静止画)121	
再生(動画)122	全押し(シャッターボタン)60
再生起動モード41	全画像消去134
再生モードパレット127, 210	センサー表示182
彩度103	測光方式91
サウンドの設定163	ソフトフィルター143
撮影可能枚数214	た行
撮影情報21	ダイレクト起動180
撮影中の AF エリア113	超解像
撮影中の光学ズーム113	調色
撮影メニュー54, 206	デジタル顕微鏡モード74
撮影モード65	デジタルズーム
撮影モードパレット66	デジタルフィルター143
サブディスプレイ30	手ぶれ
時刻切替	手ぶれ補正95. 112
システム環境188	テレビと接続する137
自動追尾	電源ボタン40, 47, 49
自分撮りアシスト97	電子コンパス24
シャープネス103	電子水準器
シャッターボタン47, 49, 60	トイカメラフィルター143
シャッター ボタン	トゥインクルフィルター143
シャドー補正94	動画タイトル155
十字キー48, 49	動画編集153
仕様213	動画ボタン47, 110 動画メニュー56, 207
使用環境183	
消去 亩121, 132	動画を再生
初期化162	動画を撮影109
初期設定42, 206	動画を分割155
白黒/セピアフィルター143	ドライブモード75, 76, 78, 79
水中で撮影107	トリミング141
ズーム/ W/T 62	な行
ズームボタン47, 49	内蔵メモリー156
スタイルウォッチ181	日時設定45, 164
スマイルキャッチ96	は行
スライドショウ128	ハイコントラストフィルター143
静止画として保存(動画)154	ハイコントラストフィルター143 ハイライト補正94
設定メニュー56, 208	ハイフィト伸止94 発光禁止③ (フラッシュ)82
設定リセット183	元ル宗正() (ノノツンユ)02

バッテリーの残量表示	36
バッテリーを充電	34
バッテリーをセット	32
花モード	
半押し(シャッターボタン)	60
パンフォーカス PF	83
ピクセルマッピング	178
ピクチャートランスファー	
プロトコル	
ヒストグラム	28
日付写し込み	
日付ごとに保存	
ビデオ出力方式174	
表示言語	
標準 AF	83
ピントの合わせ方	
ファイル名	172
フィッシュアイフィルター	
フィルター	143
風景モード	66
フォーカスモード	83
フォーマット	162
フォルダー表示	
フォルダー名	170
付属ソフトウェア	188
フラッシュモード	82
プリントサービス店	158
フレームレート	111
プロテクト 0	
分割測光 ❷	
ペットモード	74
防水・防塵	107
防水・防塵・耐衝撃	
保護	
ホワイトバランス	89
ま行	
マーメードムービーモード	107
マーメードモード	107
マクロ 🕏	83
マクロ照明	
マスストレージクラス	185

マニュアル品	
ホワイトバランス)	90
マニュアルフォーカス MF	83, 84
まばたき検出	61, 99
ミニチュアフィルター	
無限遠▲	83
メニューの操作	
メニューの文字サイズ	169
Eードメモリ	
文字サイズ	
文字スタンプ	
や行	
、] ユーザー登録	102
ューザーモード	
	12
ら行	
Jサイズ	
Jセット	
Jモコン	
料理モード	
ノトロフィルター	
車続撮影	
零出補正	93
b行	
フールドタイム	167
, ,, , , , , ,	

付録

アフターサービスについて

- 1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買 い上げ店か当社のサービスセンターまたは当社サービス窓口にお申し出くださ い。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品 ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取り の記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正 確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。
- 2. 保証期間中「ご購入後1年間」は、保証書「販売店印および購入年月日が記入され ているもの] をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料にな ります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様 にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送 方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
- 3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
 - 使用上の誤り(使用説明書記載以外の誤操作等)により生じた故障。
 - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
 - 火災・天災・地変等による故障。
 - 保管上の不備(高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等)や 手入れの不備(本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等)による故障。

 - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正され た場合。
- 4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。
- 5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。 従って本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても 修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
- 6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、お持 ちの保証書と交換に発行いたしますので、使用説明書記載のお客様窓口にご持参 またはご送付ください。[保証期間中のみ有効]
- 7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

リコーイメージングホームページアドレス http://www.ricoh-imaging.co.ip/

本製品に関するお問い合わせ

http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/

<お客様相談センター>

営業時間 9:00~17:30 (平日)

プナビダイヤル 0570-001313

10:00~17:00 (土・日・祝日)

「市内通話料金でご利用いただけます」 休業日

年末年始およびビル点検目

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、TEL:03-4330-0008(代)にお掛けください。

修理受付

http://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair.html

<修理受付センター/ピックアップリペアサービス申し込み>

営業時間:9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・弊社特別休業日 休業)

プルナビダイヤル 0570-001301

□ 「市内通話料金でご利用いただけます」

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、TEL:03-4330-0014 にお掛けください。

※ピックアップリペアサービスは、全国(離島など一部地域を除く)どこでも修理品梱包 資材のお届け・修理品の引き取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供するサー ビスです(全国均一料金)。インターネットからもお申し込みいただけます。 なお、弊社修理受付後のお問い合わせは、東京サービスセンターにて承ります。

<修理受付窓口>【宅配】【郵送】 TEL: 03-5764-2666 FAX: 03-5764-2667 営業時間:9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・弊社特別休業日 休業)

〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1 TRC物流ビル(BE5-5) リコーロジスティクス内 ※お預かりの修理内容のお問い合わせ等は、東京サービスセンターにて承ります。

〈東京サービスセンター〉【窓口】

TEL: 03-3960-5140 FAX: 03-3960-5147

営業時間:9:00 ~ 17:30 (土・日・祝日・弊社特別休業日 休業)

〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11へリオス II ビル3F

<大阪サービスセンター>【窓口】【宅配】【郵送】TEL:06-6271-7996 FAX:06-6271-3612

営業時間:9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・弊社特別休業日 休業)

〒 542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2F

ショールーム・ギャラリー

<リコーイメージングスクエア新宿> TEL: 03-3348-2941 ※修理受付も承ります

営業時間:10:30 ~ 18:30 (火曜日・ビルの施設点検日・年末年始 休業)

〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB(中地下1階)

<リコーイメージングスクエア銀座> TEL: 03-3289-1521 営業時間:11:00 ~ 19:00 (火曜日・ビルの施設点検日・年末年始 休業)

〒104-0061 東京都中央区銀座5-7-2 三愛ドリームセンター 9F

リコーイメージング株式会社

〒174-8639 東京都板橋区前野町2-35-7

☆什様および外観の一部を予告なく変更することがあります。 54783